

令和 7 年度
高岡市多文化共生プラン改訂に向けた事前調査
報告書

令和 8 年 3 月
高 岡 市

目次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査方法	1
(1) 調査の対象者及び調査方法.....	1
(2) 回収結果.....	1
(3) 調査項目.....	2
(4) 調査機関.....	3
(5) 調査結果の見方	3
II. 外国籍市民調査結果.....	7
1. 回答者属性.....	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 国籍	8
(4) 在留資格.....	10
(5) 日本での誕生について	12
(6) 日本で誕生した人の生まれた年	12
(7) 日本での生活開始	13
(8) 日本での滞在年数	14
(9) 高岡市での滞在年数.....	15
(10) 就業・通学状況.....	15
(11) 就労している業種	17
2. 住居・同居者などについて	18
(1) 居住形態.....	18
(2) 同居人（複数回答）	20
(3) 高岡市に住むきっかけ	21
3. 日本語の能力について.....	22
(1) 日本語の能力	22
(2) 日本語での会話.....	23
(3) ひらがな・カタカナを読む.....	23
(4) 漢字を読む	24
(5) 日本語を書く	24
(6) 日本語の勉強の有無.....	25

(7) 日本語を学ぶ意志	26
(8) 日本語を学ぶ意志のある人の理由（最もあてはまるもの）	27
4. 生活の情報について	28
(1) 生活の情報収集について	28
(2) 高岡市からのお知らせの言語	29
(3) 高岡市からの情報発信媒体	30
(4) 困った時の相談相手	31
(5) ごみの分別に迷った時の対処法	32
5. 地域との関わりについて	33
(1) 地域（家の近く）の日本人との付き合いについて	33
(2) 日本人と付き合いのない理由	33
(3) 自治会の認知度	34
(4) 自治会に加入して良かったこと	35
(5) 自治会に未加入の理由	35
6. 地域活動について	36
(1) 地域活動の参加状況と参加意向	36
(2) 地域活動などの参加で難しいと感じたこと	37
(3) 地域行事などの参加がしやすくなるためにあればよいこと	38
7. 災害への備え・教育について	39
(1) 災害に対して備えているもの	39
(2) 能登半島地震の経験について	41
(3) 能登半島地震の時に困ったこと	41
(4) 病院などでことばが不安な時	42
(5) こどもの教育について	42
(6) 学校生活、子育てにおいて、習慣・宗教などが理由で困ったこと	43
8. 高岡市での暮らしやすさについて	44
(1) 高岡市での居住について	44
(2) 高岡市に住みたい理由	46
(3) 高岡市の外国籍市民への取り組みについて	47
(4) 高岡市の住みやすさについて	47
(5) 高岡市で生活するのにあればよいと思うもの	48
(6) 地域や職場で受けた差別について	49
(7) 高岡市に5年以上住んでいる方への調査	50
9. その他、ご意見	51

Ⅲ. 日本国籍市民調査結果	55
1. 回答者属性.....	55
(1) 性別	55
(2) 年齢	55
(3) 外国人との関わりについて	56
2. 外国籍市民の増加について	57
(1) 企業や地域の活動を担う人材が増えることについて	57
(2) 消費が増え地域経済の活性化につながることにについて	58
(3) 多様な価値観や文化に触れる機会が増え地域が活性化することにについて	59
(4) こどもたちの国際意識が育つことにについて	60
(5) 治安が悪化することにについて	61
(6) 日本人の仕事がなくなることについて	62
(7) 高岡らしさや日本らしさが失われることにについて	63
3. 外国籍市民の地域参画について	64
(1) 近所に住む外国籍市民との関わりについて	64
(2) 地域活動への関わりについて	65
(3) 地域の担い手として活躍してもらうための課題.....	67
(4) 外国籍市民とともに暮らしやすい社会にするためにできること	68
(5) 住みやすいまちづくりのために、外国籍市民にしてほしいこと	69
(6) 外国籍市民とともに暮らしやすくしていくために高岡市のすべきこと	70
4. 用語について	71
(1) 多文化共生について.....	71
(2) やさしい日本語について	72
5. その他、ご意見	73
Ⅳ. 資料 アンケート調査票.....	79
1. 外国籍市民向けアンケート	79
2. 日本国籍市民向けアンケート.....	91

I. 調査概要

I. 調査概要

1. 調査目的

高岡市内における外国籍市民、日本国籍市民を対象とし、外国籍市民をとりまく環境や生活の実態、外国人との共生に関する意識等を調査し、本市多文化共生プラン改訂に向けた基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査方法

(1) 調査の対象者及び調査方法

区分	内容
対象者	①高岡市に居住する 14 歳以上の外国籍市民 2,000 人
	②高岡市に居住する 14 歳以上の日本国籍市民 1,500 人
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	①外国籍市民：郵送依頼、オンライン回答
	②日本国籍市民：郵送依頼、郵送回答もしくはオンライン回答を選択 ※オンライン回答は、依頼状に掲載した二次元コードを読み込み回答
調査票の種類	①外国籍市民：英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語、やさしいにほんご、日本語
	②日本国籍市民：日本語
調査時期	令和8年1月～2月

(2) 回収結果

①外国籍市民						
発送数：2,000 郵便不達：33 回収合計：548 回収率：27.9%						
	英語	中国語	ポルトガル語	ベトナム語	やさしいにほんご	日本語
回収数	166	58	118	82	41	83

②日本国籍市民（発送数：1,500）			
発送数：1,500 郵便不達：6 回収合計：730 回収率：48.9%			
	郵送	WEB	
回収数	409	321	

(3) 調査項目

①外国籍市民調査項目	
基本属性	性別、年代、国籍、在留資格、住居地域、就業・通学状況、就業業種
日本での生活	日本での誕生の有無、日本での誕生者の誕生年、日本で誕生していない人の来日年、日本での滞在年数、高岡市での滞在年数、居住形態、同居者、高岡市に居住するきっかけ、必要な情報を得る方法、希望するお知らせの言語・情報媒体、困った時の相談者、ごみの分別方法を聞く人
日本語能力・学習	日本語の能力（会話、ひらがな・カタカナ・漢字の読解力、筆記）、日本語の学習について（学習方法、学ぶ理由・学ばない理由）
地域との関わり	日本人との付き合いの度合い、付き合いをもたない理由、自治会の認知度、自治会に入って良かったこと、自治会に入っていない理由、地域活動参加の有無（清掃・美化活動、祭りなどの交流行事、獅子舞などの祭礼行事、こどもの防犯パトロール、高齢者などの福祉活動、防災・避難訓練）、行事参加の難しさ
災害への備え	災害の備えについて、能登半島地震の被災について、能登半島地震の際に困ったこと
教育などについて	病院などで言葉が不安な場合、日本でのこどもの教育について
高岡市での暮らし	今後の居住希望、5年以上の居住者に住みたい理由、多文化共生事業の満足度、住みやすさの満足度、生活の際にあれば良いと思うもの、5年以上居住している人への満足度（公共施設、病院情報、学校・保育園などの情報、日本人の理解度）
自由記述	地域行事に参加しやすくなるためにあればよいこと、子育てなどで国籍・文化などが理由で困ったこと、地域や職場で国籍や文化などで差別的な態度などを受けたこと など

②日本国籍市民調査項目	
基本属性	性別、年代、住居地域
外国籍市民の増加について	各項目（企業・地域の活動を担う人材の増加、地域経済の活性化、多様な価値観・文化による地域活性化、こどもたちの国際意識の醸成、治安の悪化、日本人の仕事の喪失、高岡らしさの喪失）への所感
外国籍市民との関わりについて	関わりの有無、近所に住む外国籍市民との関わりの度合い、地域活動への関わりについて、地域活動に関わる際の課題、ともに暮らしやすくするためにできること、住みやすいまちづくりのために外国籍市民にしてほしいこと
用語について	「多文化共生」を知っているか、「やさしい日本語」を知っているか
高岡市への要望	外国籍市民とともに暮らしやすくしていくために高岡市にしてほしいこと など

（４）調査機関

株式会社ジェック経営コンサルタント

（５）調査結果の見方

- ・ 集計結果は各設問の標本数を 100%とした百分比（%）で表示した。原則として小数点第 2 位を四捨五入してあるため、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。また、この比率の合計が 100%にならないこともありうる。
- ・ 複数回答を認めた設問では、百分比（%）の合計は、100%を上回る場合がある。
- ・ 本文中の「n」はその設問についての有効回答数を示している。
- ・ クロス分析において回答者数が 30 以下の場合は、サンプル数が少ないため分析には使用せず参考値としている。
- ・ 本文中のグラフ、表中の選択肢表記は、見やすさに配慮するために、語句を簡略化している場合がある。

II. 外国籍市民調査結果

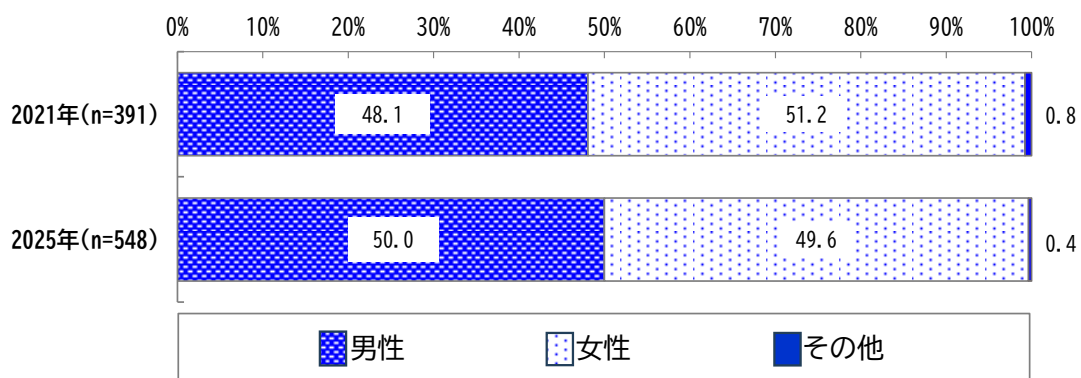
Ⅱ. 外国籍市民調査結果

1. 回答者属性

(1) 性別

性別は、「男性」が50.0%、「女性」が49.6%であった。

過去調査と比較すると、2021年調査から大きな変化はなかった。

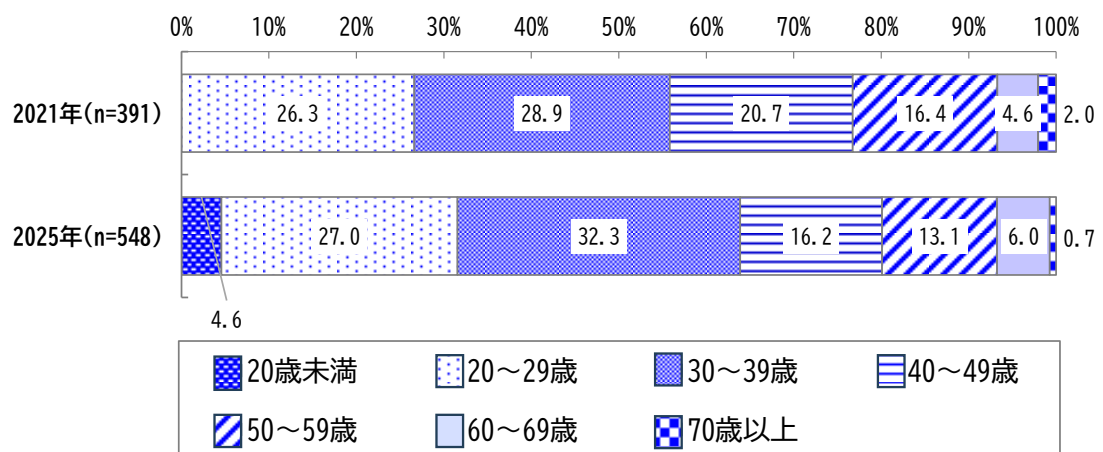


(2) 年齢

対象年齢は、「30～39歳」が32.3%と最も多く、次いで「20～29歳」が27.0%、「40～49歳」が16.2%の順となっている。

また、「20歳未満」が4.6%となっており、わずかであるが10代からの回答もあった。

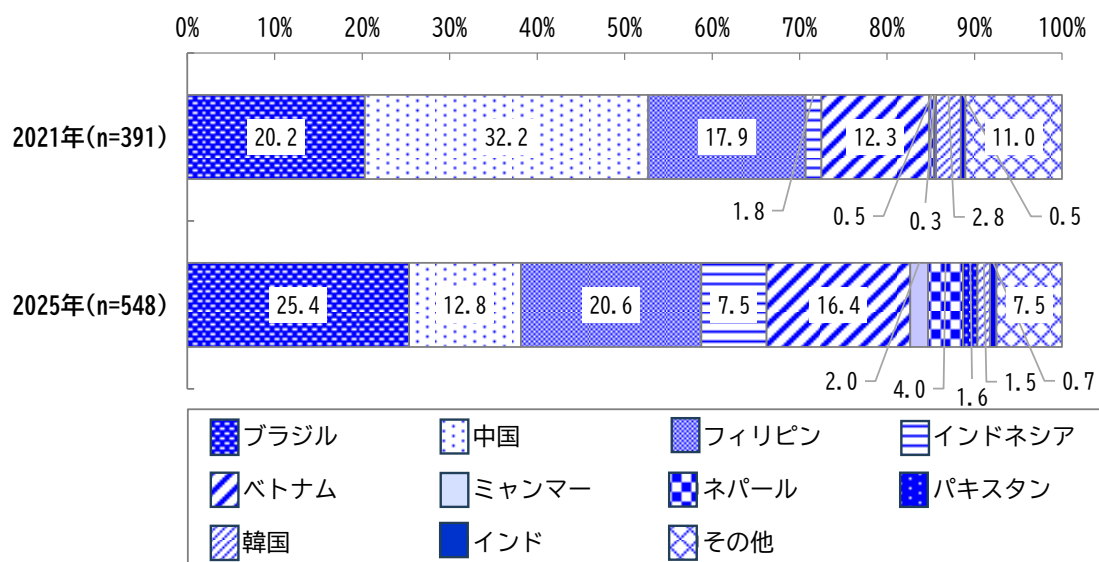
過去調査と比較すると回答年代の順位は変わらず、大きな変化はなかったが、年代別に比較すると、「30～39歳」が3.4ポイント多くなっており、「40～49歳」が4.5ポイント、「50～59歳」が3.3ポイント少なくなっている。



(3) 国籍

国籍は、「ブラジル」が25.4%と最も多く、次いで「フィリピン」が20.6%、「ベトナム」が16.4%の順となっている。

過去調査と比較すると、「ブラジル」が5.2ポイント、「ベトナム」が4.1ポイント多くなり、一方で、「中国」が19.4ポイント大幅に少なくなっている。



【年齢別】

国籍別に年齢層をみると、「インドネシア」(70.7%)、「ベトナム」(53.3%)では「20～29歳」が最も多く、特に「インドネシア」では7割を超えている。

一方、「ブラジル」は、「50～59歳」が最も多く、24.5%となっている。

50歳以上の高年層は、「ブラジル」が41.7%、「中国」が21.4%、「フィリピン」が17.7%と多くなっている。

単位 (%)

	調査数 (人)	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
合計	548	4.6	27.0	32.3	16.2	13.1	6.0	0.7
ブラジル	139	6.5	9.4	23.0	19.4	24.5	15.8	1.4
フィリピン	113	5.3	26.5	33.6	16.8	11.5	6.2	0.0
ベトナム	90	0.0	53.3	45.6	1.1	0.0	0.0	0.0
中国	70	7.1	4.3	32.9	34.3	20.0	1.4	0.0
インドネシア	41	4.9	70.7	22.0	2.4	0.0	0.0	0.0
ミャンマー	11	0.0	45.5	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0
ネパール	22	0.0	45.5	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0
その他国籍	62	4.8	16.1	25.8	27.4	17.7	4.8	3.2

【在留資格別】

国籍別に在留資格をみると、「ブラジル」(67.6%)、「中国」(57.1%)、「フィリピン」(33.6%)では「永住者」が最も多く、特に「ブラジル」は6割を超えている。

「ベトナム」は「技術・人文知識・国際業務」(32.2%)、「インドネシア」は「技能実習」(53.7%)が最も多くなっている。

単位 (%)

	調査数 (人)	定住者	永住者	日本人の 配偶者等	永住者の 配偶者等	技能実習	特定技能	技術・人文知識・ 国際業務	家族滞在	留学生	その他
合計	548	11.7	35.0	4.4	3.1	15.9	13.1	10.0	3.5	0.9	2.4
ブラジル	139	23.7	67.6	0.0	5.0	0.0	0.7	0.0	2.2	0.0	0.7
フィリピン	113	11.5	33.6	3.5	3.5	22.1	12.4	0.0	2.7	4.4	6.2
ベトナム	90	2.2	1.1	0.0	2.2	26.7	31.1	32.2	3.3	0.0	1.1
中国	70	2.9	57.1	12.9	4.3	7.1	4.3	7.1	1.4	0.0	2.9
インドネシア	41	0.0	0.0	2.4	0.0	53.7	36.6	2.4	2.4	0.0	2.4
ミャンマー	11	0.0	0.0	9.1	0.0	45.5	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0
ネパール	22	9.1	0.0	0.0	0.0	4.5	27.3	36.4	22.7	0.0	0.0
その他国籍	62	19.4	30.6	14.5	1.6	8.1	4.8	14.5	4.8	0.0	1.6

【高岡市在住年数別】

国籍別に高岡市在住年数をみると、「ブラジル」は「26年以上」が22.3%と最も多く、11年以上は6割を超えている。

「中国」(27.1%)と「フィリピン」(23.0%)は「6年以上～10年以内」が最も多い。

「ベトナム」「インドネシア」は5年以内が多くなっている。

単位 (%)

	調査数 (人)	0年以上～ 1年以内	2年以上～ 3年以内	4年以上～ 5年以内	6年以上～ 10年以内	11年以上～ 15年以内	16年以上～ 20年以内	21年以上～ 25年以内	26年以上
合計	548	14.2	28.1	10.0	17.2	7.7	7.1	7.8	7.8
ブラジル	139	4.3	9.4	5.0	16.5	11.5	12.2	18.7	22.3
フィリピン	113	15.0	21.2	13.3	23.0	8.0	8.0	6.2	5.3
ベトナム	90	20.0	52.2	13.3	13.3	0.0	1.1	0.0	0.0
中国	70	7.1	18.6	7.1	27.1	18.6	12.9	7.1	1.4
インドネシア	41	39.0	36.6	14.6	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0
ミャンマー	11	9.1	72.7	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ネパール	22	22.7	72.7	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他国籍	62	16.1	29.0	11.3	16.1	6.5	4.8	8.1	8.1

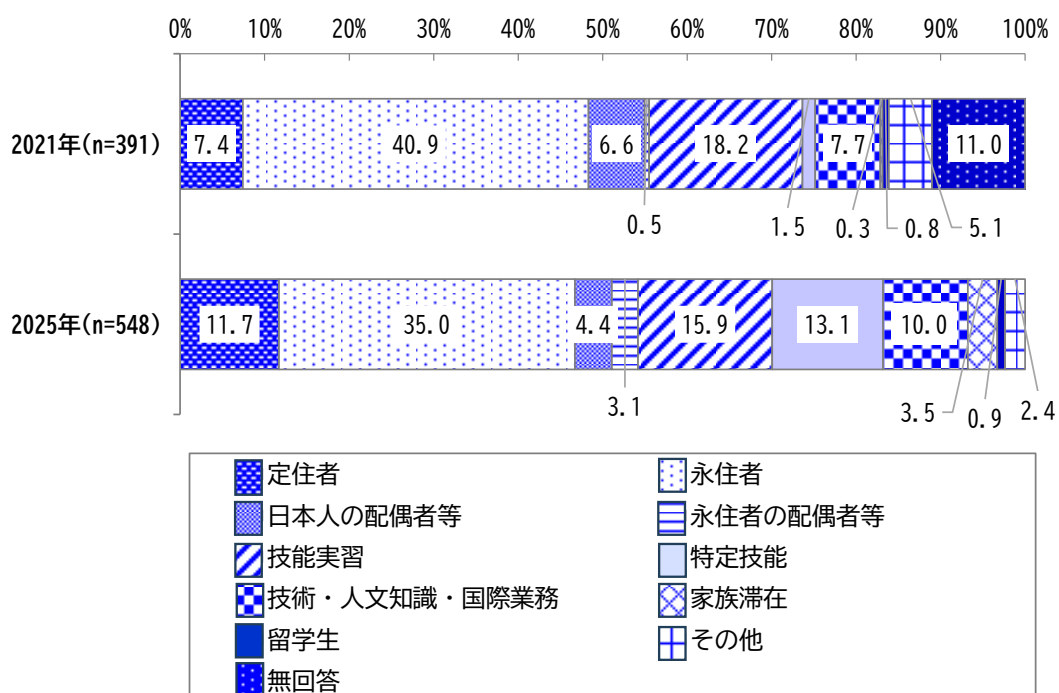
(4) 在留資格

在留資格は、「永住者」が35.0%と、最も多く、次いで「技能実習」が15.9%、「特定技能」が13.1%の順となっている。

高岡市に長く住むものと考えられる「定住者」、「永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」を合わせると、全体の54.2%となっている。

過去調査と比較すると、「永住者」が5.9ポイント少なくなっている。

一方で、「定住者」が4.3ポイント、「特定技能」が11.6ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、「技能実習」は71.2%、「特定技能」は52.8%と、「30歳未満」の年代が多い。一方、「永住者」は50歳以上が44.2%であり、高年層が多くなっている。

単位 (%)

	調査数 (人)	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
合計	548	4.6	27.0	32.3	16.2	13.1	6.0	0.7
定住者	64	10.9	21.9	28.1	28.1	9.4	0.0	1.6
永住者	192	6.3	7.8	17.7	24.0	28.1	15.1	1.0
日本人の配偶者等	24	0.0	8.3	29.2	33.3	25.0	0.0	4.2
永住者の配偶者等	17	5.9	17.6	47.1	0.0	17.6	11.8	0.0
技能実習	87	1.1	70.1	25.3	3.4	0.0	0.0	0.0
特定技能	72	1.4	51.4	38.9	8.3	0.0	0.0	0.0
技術・人文知識・国際業務	55	0.0	14.5	74.5	7.3	3.6	0.0	0.0
家族滞在	19	5.3	15.8	57.9	10.5	5.3	5.3	0.0
留学生	5	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13	15.4	7.7	53.8	15.4	0.0	7.7	0.0

【国籍別】

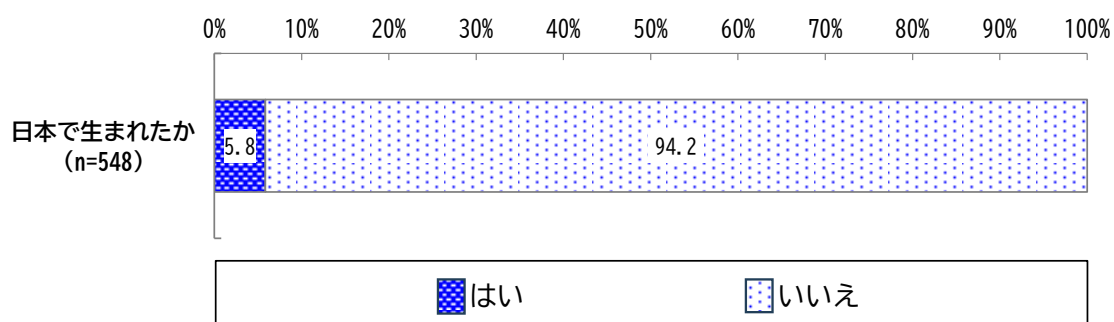
国籍別にみると、「定住者」の51.6%、「永住者」の49.0%が「ブラジル」となっている。「技能実習」は「フィリピン」が28.7%、「特定技能」、「技術・人文知識・国際業務」は「ベトナム」がそれぞれ、38.9%、52.7%となっている。

単位 (%)

	調査数 (人)	ブラジル	フィリピン	ベトナム	中国	インドネシア	ミャンマー	ネパール	その他国籍
合計	548	25.4	20.6	16.4	12.8	7.5	2.0	4.0	11.3
定住者	64	51.6	20.3	3.1	3.1	0.0	0.0	3.1	18.8
永住者	192	49.0	19.8	0.5	20.8	0.0	0.0	0.0	9.9
日本人の配偶者等	24	0.0	16.7	0.0	37.5	4.2	4.2	0.0	37.5
永住者の配偶者等	17	41.2	23.5	11.8	17.6	0.0	0.0	0.0	5.9
技能実習	87	0.0	28.7	27.6	5.7	25.3	5.7	1.1	5.7
特定技能	72	1.4	19.4	38.9	4.2	20.8	2.8	8.3	4.2
技術・人文知識・国際業務	55	0.0	0.0	52.7	9.1	1.8	5.5	14.5	16.4
家族滞在	19	15.8	15.8	15.8	5.3	5.3	0.0	26.3	15.8
留学生	5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13	7.7	53.8	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7

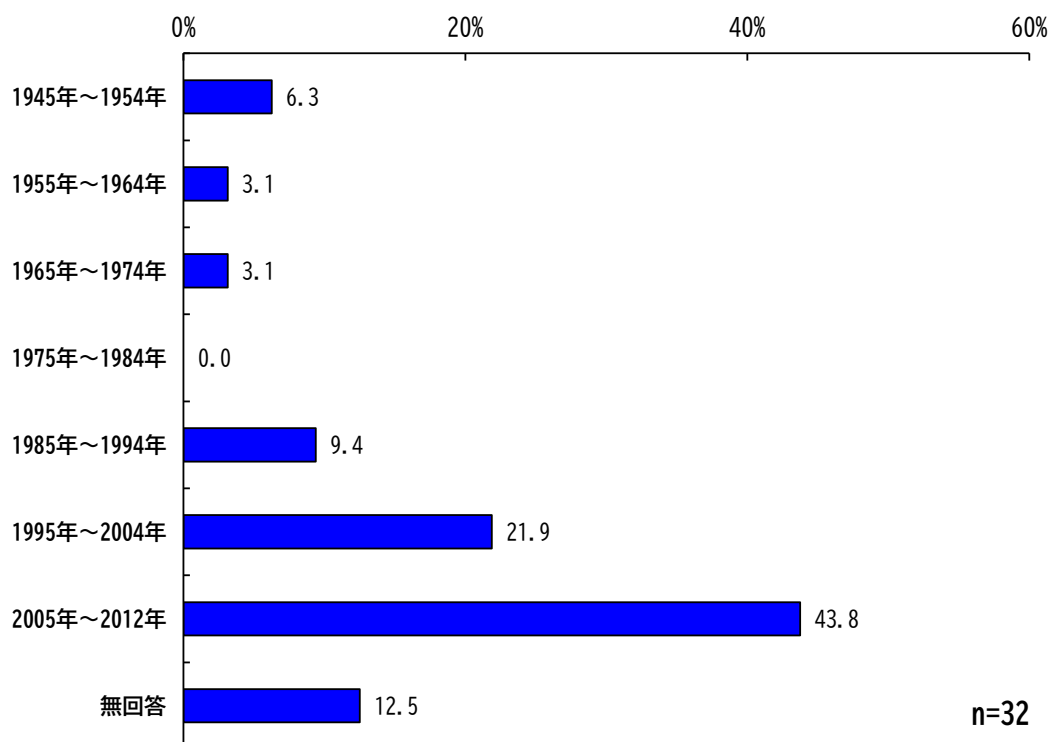
(5) 日本での誕生について

日本での誕生については、「はい」が5.8%、「いいえ」が94.2%と、日本で生まれていない人が多かった。



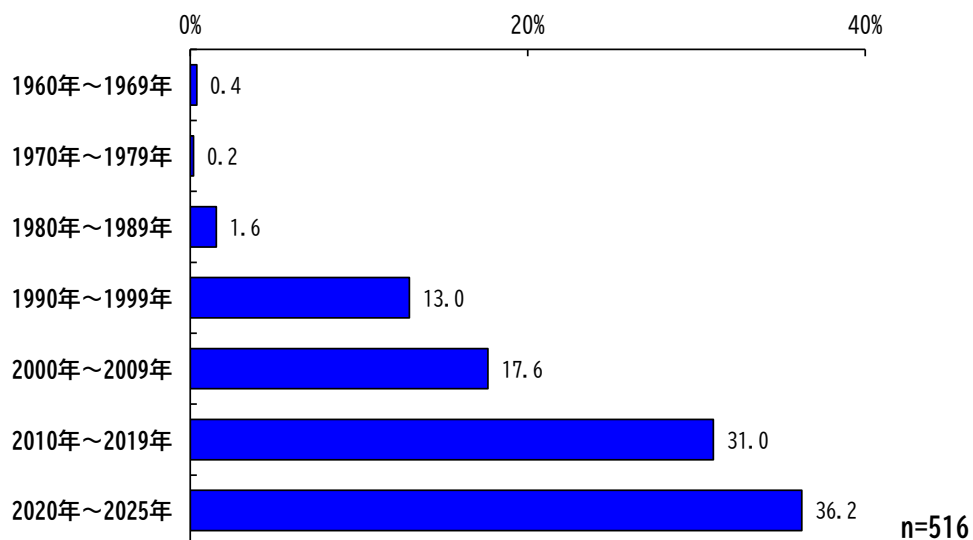
(6) 日本で誕生した人の生まれた年

日本で生まれた人に、西暦何年に生まれたかを尋ねたところ、「2005年～2012年」に生まれた人が43.8%と、対象者の半数近くであった。



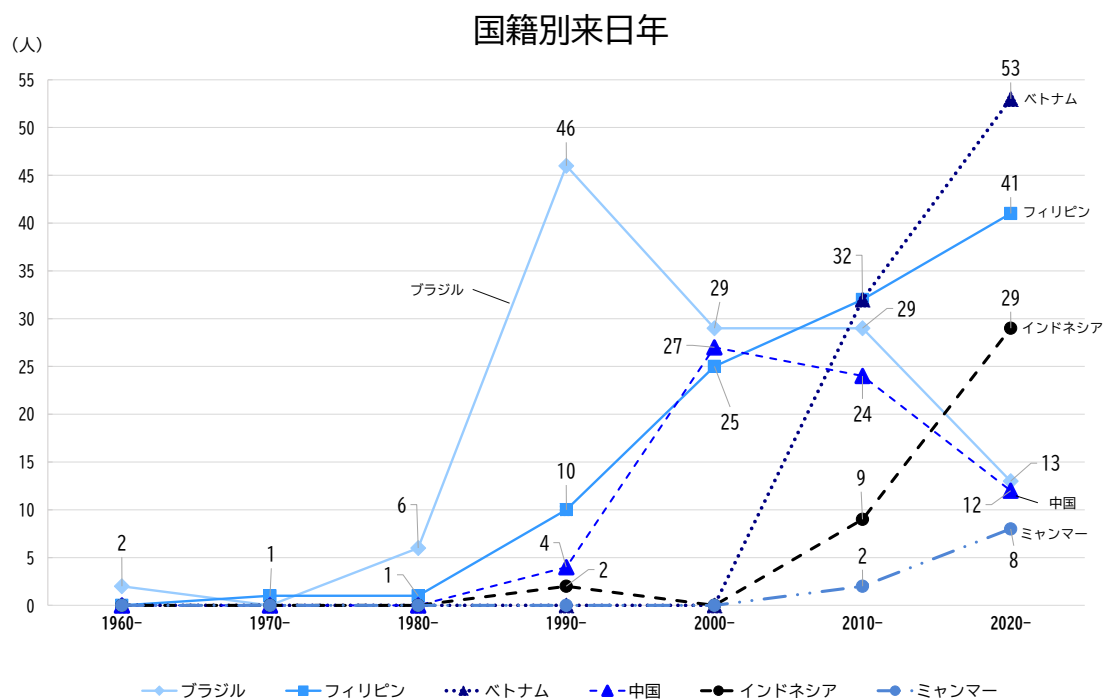
(7) 日本での生活開始

日本で生まれていない人に、西暦何年に日本での生活を開始したかを尋ねたところ、「2020年～2025年」が36.2%と最も多く、次いで「2010年～2019年」が31.0%である。



【国籍別来日年別（人）】

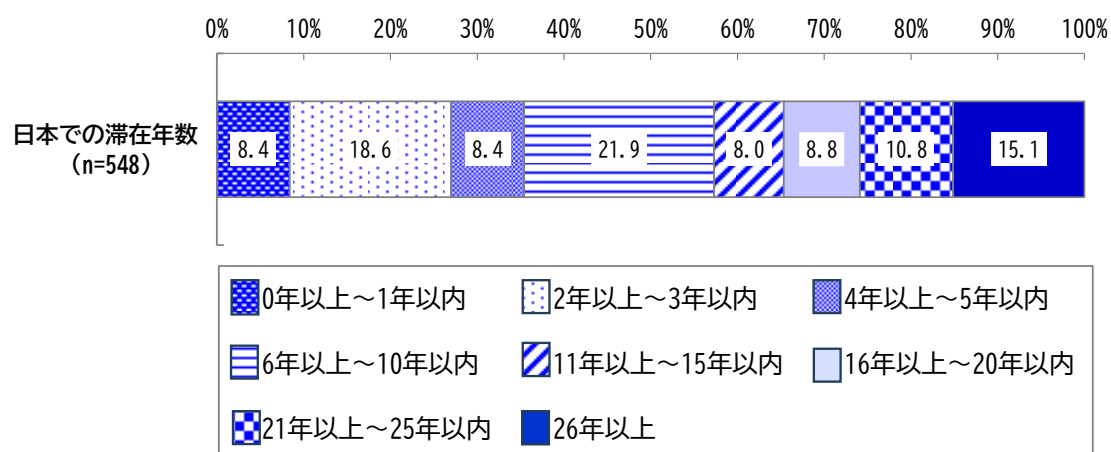
国籍別に来日年をみたところ、外国籍の方の来日が多くなり始めたのは1990年代からで、「ブラジル」からの来日が多い。2000年代は、「中国」が多くなり、近年の2020年代は、「ベトナム」、「フィリピン」「インドネシア」からの来日が多くなっている。



(8) 日本での滞在年数

日本での滞在年数は、「6年以上～10年以内」が21.9%と最も多く、次いで、「2年以上～3年以内」が18.6%、「26年以上」が15.1%の順となっている。

5年を分岐点としてみると、5年以内が35.4%、6年以上が64.6%となっている。



【国籍別】

国籍別にみると、「インドネシア」では5年以内が7割、「ベトナム」では6割を超えている。一方、「ブラジル」、「中国」では6年以上が8割を超えており、特に「ブラジル」は「26年以上」が41.0%と最も多くなっている。

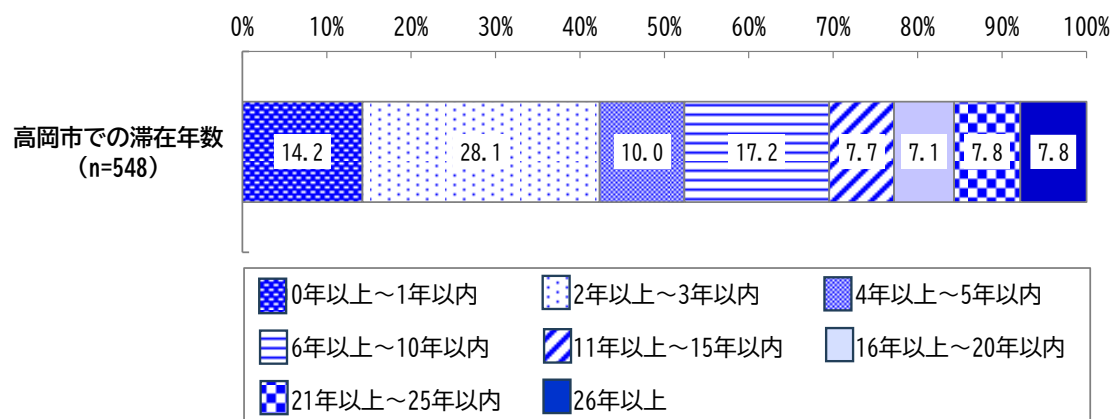
単位 (%)

	調査数 (人)	0年以上～ 1年以内	2年以上～ 3年以内	4年以上～ 5年以内	6年以上～ 10年以内	11年以上～ 15年以内	16年以上～ 20年以内	21年以上～ 25年以内	26年以上
合計	548	8.4	18.6	8.4	21.9	8.0	8.8	10.8	15.1
ブラジル	139	1.4	6.5	0.7	16.5	4.3	10.1	19.4	41.0
フィリピン	113	6.2	23.0	9.7	20.4	7.1	10.6	13.3	9.7
ベトナム	90	12.2	35.6	14.4	32.2	5.6	0.0	0.0	0.0
中国	70	5.7	10.0	2.9	20.0	18.6	20.0	18.6	4.3
インドネシア	41	29.3	29.3	19.5	19.5	0.0	2.4	0.0	0.0
ミャンマー	11	9.1	45.5	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0
ネパール	22	18.2	22.7	9.1	36.4	13.6	0.0	0.0	0.0
その他国籍	62	8.1	9.7	11.3	21.0	12.9	11.3	6.5	19.4

(9) 高岡市での滞在年数

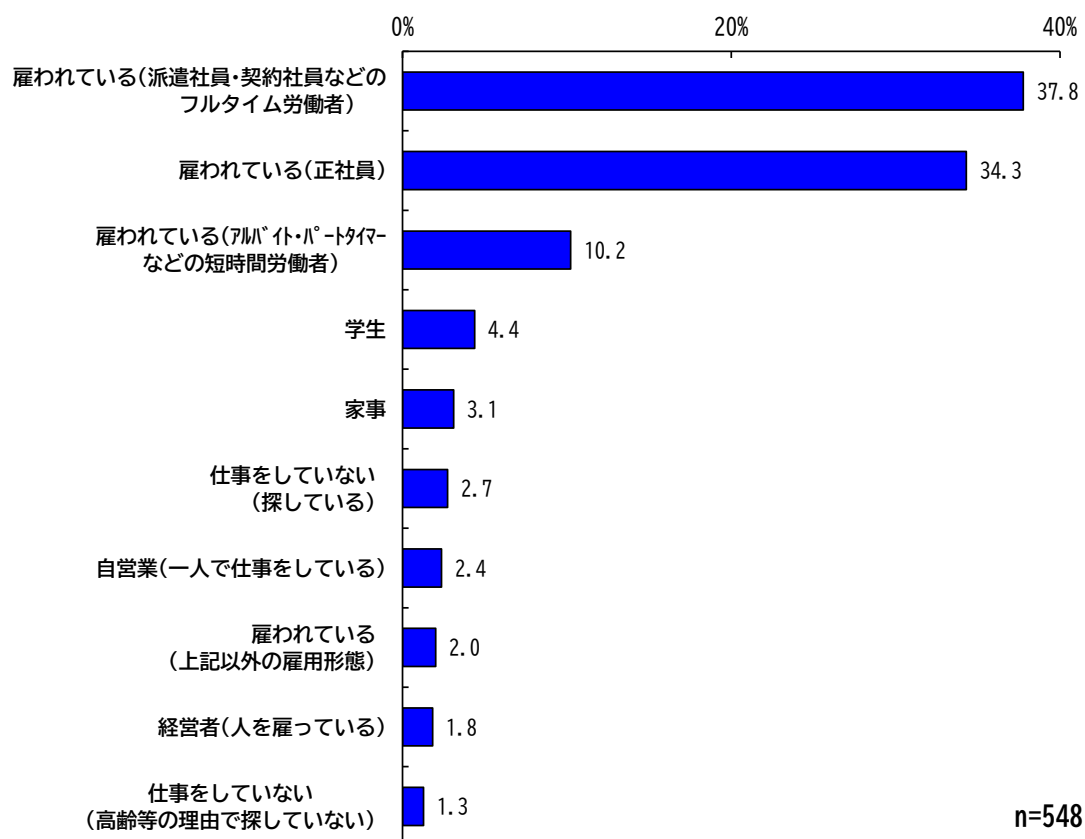
高岡市での滞在年数は、「2年以上～3年以内」が28.1%と最も多く、次いで「6年以上～10年以内」が17.2%となっている。

5年以内が52.3%、6年以上が47.6%となっている。



(10) 就業・通学状況

就業・通学状況は、「雇われている(派遣社員・契約社員などのフルタイム労働者)」が37.8%と最も多く、次いで「雇われている(正社員)」が34.3%となっている。



【在留資格別】

在留資格別にみると、「技術・人文知識・国際業務」（70.9%）、「定住者」（35.9%）、「永住者」（33.9%）は「雇われている（正社員）」が最も多く、特に「技術・人文知識・国際業務」は7割を超えている。

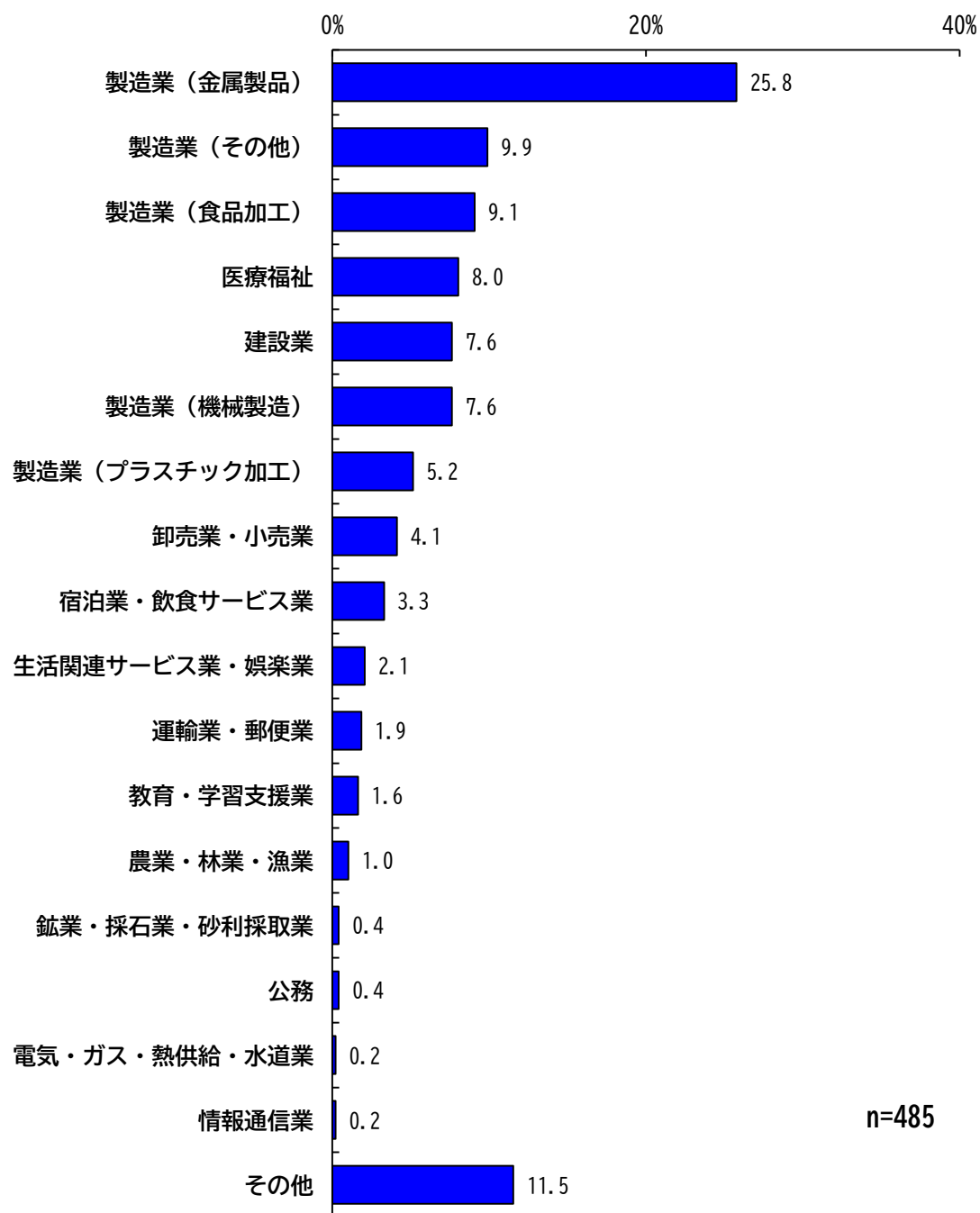
「技能実習」（69.0%）、「特定技能」（65.3%）は「雇われている（派遣社員・契約社員などのフルタイム労働者）」が最も多く、6割を超えている。

単位（％）

	調査数 (人)	雇われて いる(正 社員)	雇われて いる(派 遣社員・ 契約社員 などのフ ルタイム 労働者)	雇われて いる(アル バイト・ パートタ イマーな どの短時 間労働者)	雇われて いる (上記以 外の雇用 形態)	経営者 (人を 雇って いる)	自営業 (一人で 仕事を している)	学生	家事	仕事をし ていない (探して いる)	仕事をし ていない (高齢等 の理由で 探して いない)
合計	548	34.3	37.8	10.2	2.0	1.8	2.4	4.4	3.1	2.7	1.3
定住者	64	35.9	26.6	9.4	3.1	0.0	4.7	7.8	6.3	4.7	1.6
永住者	192	33.9	28.1	15.6	1.0	5.2	2.6	5.7	3.1	3.1	1.6
日本人の配偶者等	24	33.3	16.7	20.8	0.0	0.0	8.3	0.0	12.5	4.2	4.2
永住者の配偶者等	17	11.8	17.6	23.5	0.0	0.0	5.9	5.9	17.6	11.8	5.9
技能実習	87	25.3	69.0	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特定技能	72	31.9	65.3	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
技術・人文知識・国際業務	55	70.9	27.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家族滞在	19	10.5	5.3	52.6	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	15.8	5.3
留学生	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0
その他	13	30.8	46.2	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0

(11) 就労している業種

就労している人の業種は、「製造業（金属製品）」が 25.8%と最も多く、次いで「製造業（その他）」が 9.9%、「製造業（食品加工）」が 9.1%の順となっており、上位3つが全て製造業となっている。



【在留資格別】

在留資格別にみると、「製造業(金属製品)」は「定住者」が 33.3%、「技能実習」が 35.6%、「特定技能」が 29.2%、「永住者」が 23.5%となっている。

単位 (%)

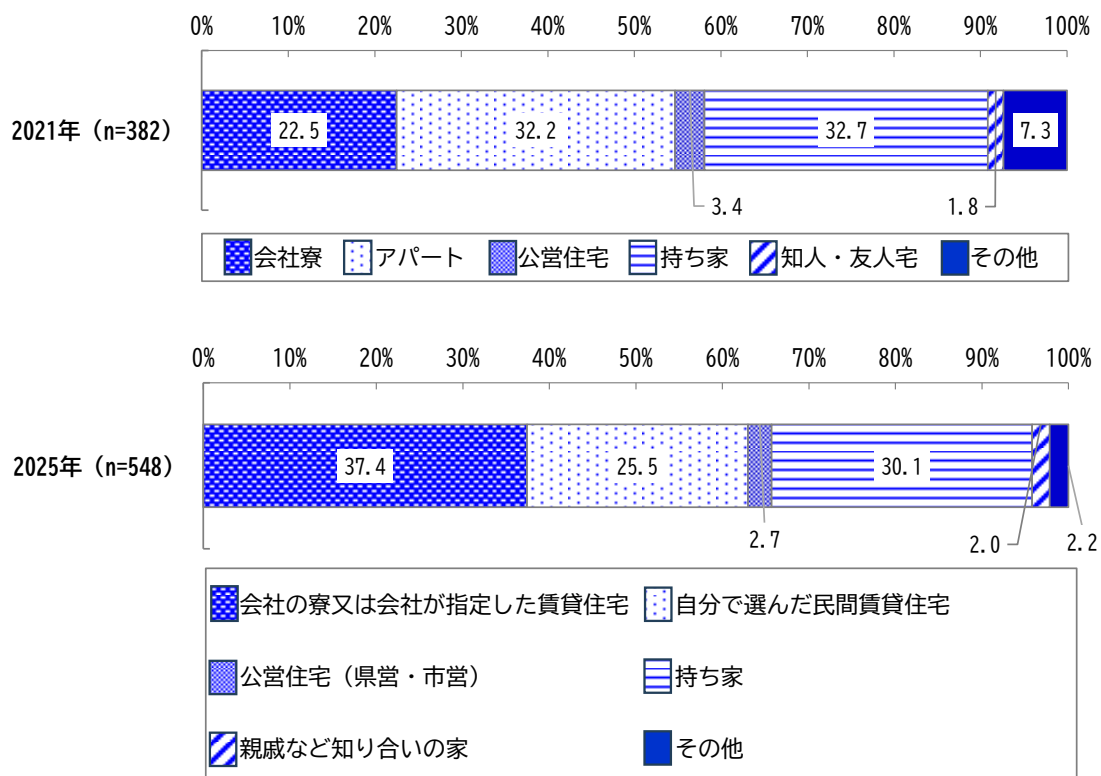
	調査数 (人)	農業・ 林業・ 漁業	鉱業・ 採石業・ 砂利 採取業	建設業	製造業 (金属 製品)	製造業 (食品 加工)	製造業 (プラス チック 加工)	製造業 (機械 製造)	製造業 (その他)	電気・ ガス・ 熱供給 ・水道業	情報 通信業	運輸業 ・郵便業	卸売業 ・小売業	宿泊業 ・飲食 サービス業	生活関 連サー ビス業・ 娯楽業	教育・ 学習支 援業	医療 福祉	公務	その他
合計	485	1.0	0.4	7.6	25.8	9.1	5.2	7.6	9.9	0.2	0.2	1.9	4.1	3.3	2.1	1.6	8.0	0.4	11.5
定住者	51	0.0	0.0	3.9	33.3	7.8	3.9	2.0	9.8	2.0	0.0	0.0	3.9	3.9	3.9	3.9	7.8	2.0	11.8
永住者	166	0.0	0.6	3.0	23.5	7.8	9.0	5.4	9.6	0.0	0.0	4.2	7.2	3.6	1.8	2.4	6.6	0.6	14.5
日本人の配偶者等	19	5.3	0.0	0.0	10.5	5.3	0.0	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0	10.5	10.5	5.3	0.0	15.8	0.0	21.1
永住者の配偶者等	10	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0
技能実習	87	3.4	0.0	16.1	35.6	20.7	3.4	4.6	5.7	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	5.7
特定技能	72	1.4	0.0	16.7	29.2	5.6	4.2	1.4	5.6	0.0	0.0	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	19.4	0.0	12.5
技術・人文知識・国際業務	55	0.0	0.0	3.6	16.4	0.0	1.8	38.2	20.0	0.0	0.0	1.8	1.8	1.8	3.6	3.6	0.0	0.0	7.3
家族滞在	13	0.0	0.0	0.0	15.4	23.1	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0	15.4
留学生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	11	0.0	0.0	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	9.1

2. 住居・同居者などについて

(1) 居住形態

居住形態は、「会社の寮又は会社が指定した賃貸住宅」が 37.4%と最も多く、次いで「持ち家」が 30.1%、「自分で選んだ民間賃貸住宅」が 25.5%となっている。

過去調査と比較すると、「会社の寮又は会社が指定した賃貸住宅」が 14.9 ポイント多くなっている。



【国籍別】

国籍別にみると、「インドネシア」（92.7%）、「ベトナム」（67.8%）、「フィリピン」（44.2%）、は「会社の寮又は会社が指定した賃貸住宅」が多く、「ブラジル」は46.0%が「自分で選んだ民間賃貸住宅」、「中国」は67.1%が「持ち家」となっている。

単位（%）

	調査数 (人)	会社の寮又は 会社が指定 した賃貸住宅	自分で選んだ 民間賃貸住宅	公営住宅 (県営・市営)	持ち家	親戚など 知り合いの家	その他
合計	548	37.4	25.5	2.7	30.1	2.0	2.2
ブラジル	139	4.3	46.0	2.9	42.4	3.6	0.7
中国	70	20.0	7.1	4.3	67.1	1.4	0.0
フィリピン	113	44.2	17.7	1.8	28.3	3.5	4.4
インドネシア	41	92.7	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0
ベトナム	90	67.8	24.4	6.7	0.0	0.0	1.1
ミャンマー	11	90.9	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
ネパール	22	59.1	31.8	0.0	0.0	0.0	9.1
その他国籍	62	21.0	30.6	0.0	41.9	1.6	4.8

【在留資格別】

在留資格別にみると、「永住者」は59.9%が「持ち家」、定住者は50.0%が「自分で選んだ民間賃貸住宅」となっている。

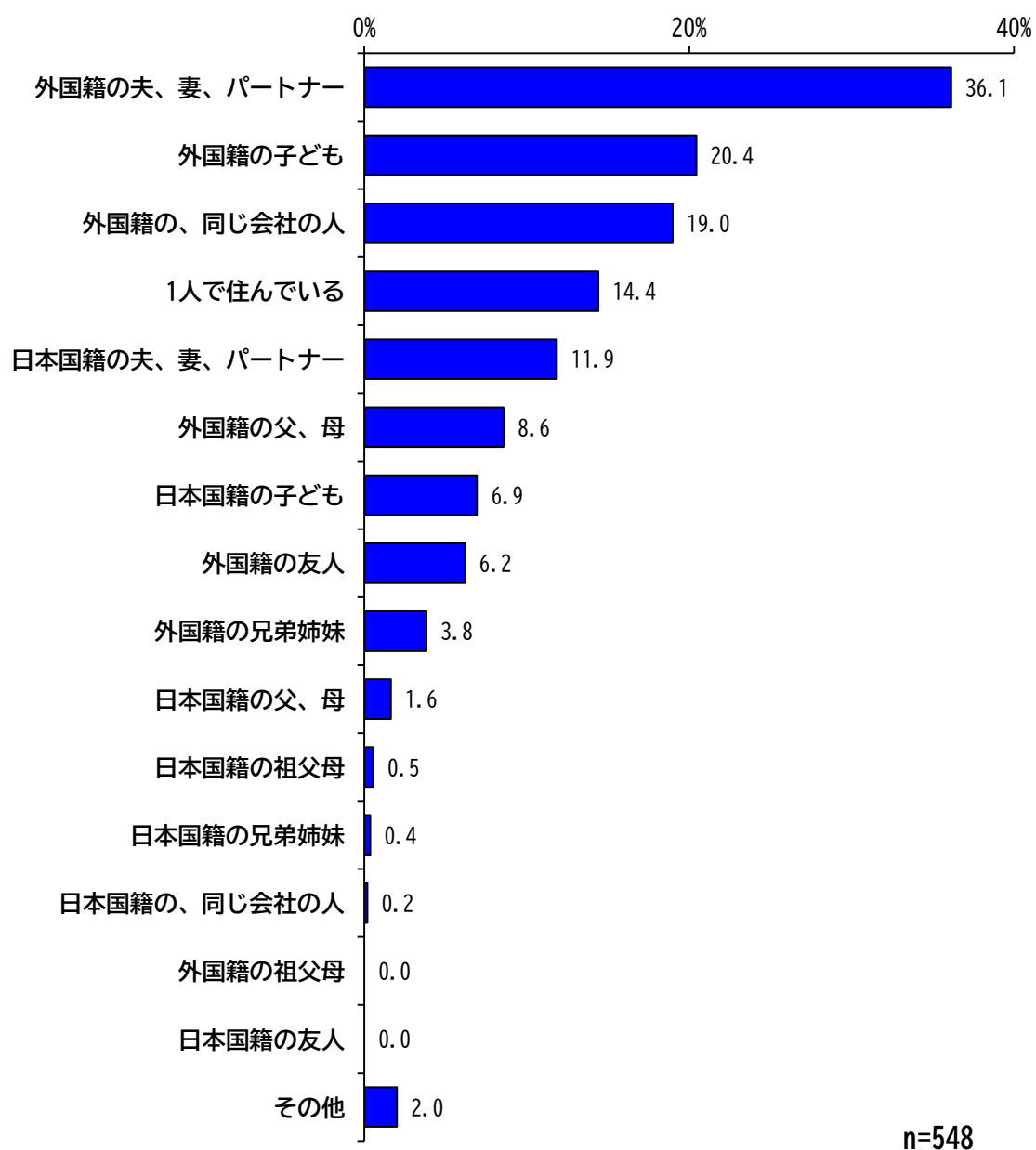
また、「技能実習」（97.7%）、「特定技能」（75.0%）、「技術・人文知識・国際業務」（58.2%）が「会社の寮又は会社が指定した賃貸住宅」となっている。

単位（%）

	調査数 (人)	会社の寮又は 会社が指定 した賃貸住宅	自分で選んだ 民間賃貸住宅	公営住宅 (県営・市営)	持ち家	親戚など 知り合いの家	その他
合計	548	37.4	25.5	2.7	30.1	2.0	2.2
定住者	64	10.9	50.0	6.3	26.6	1.6	4.7
永住者	192	3.6	29.2	2.6	59.9	3.1	1.6
日本人の配偶者等	24	0.0	8.3	0.0	83.3	4.2	4.2
永住者の配偶者等	17	11.8	29.4	0.0	41.2	17.6	0.0
技能実習	87	97.7	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1
特定技能	72	75.0	18.1	4.2	1.4	0.0	1.4
技術・人文知識・国際業務	55	58.2	36.4	1.8	3.6	0.0	0.0
家族滞在	19	47.4	36.8	5.3	10.5	0.0	0.0
留学生	5	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
その他	13	38.5	38.5	0.0	7.7	0.0	15.4

(2) 同居人（複数回答）

同居人は、「外国籍の夫、妻、パートナー」が36.1%と最も多く、次いで「外国籍の子ども」が20.4%、「外国籍の、同じ会社の人」が19.0%、「1人で住んでいる」が14.4%の順となっている。



【在留資格別】

在留資格別にみると、「定住者」（64.1%）、「永住者」（47.9%）では「外国籍の夫、妻、パートナー」が最も多く、次いで「外国籍の子ども」（45.3%、31.3%）が多い。

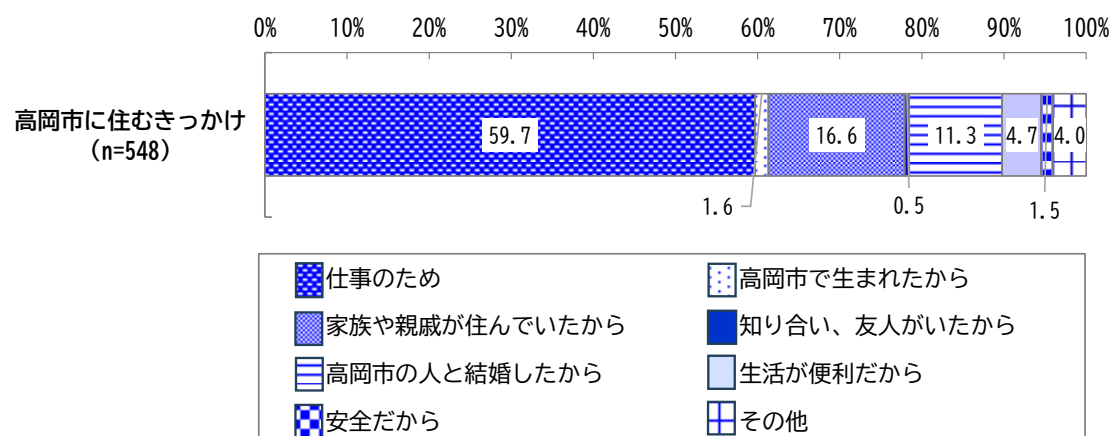
「技能実習」と「特定技能」では「外国籍の、同じ会社の人」（64.4%、43.1%）が多くなっている。

単位 (%)

	調査数 (人)	外国籍の 夫、妻、 パート ナー	日本 国籍の 夫、妻、 パート ナー	外国籍 の 子ども	日本国 籍の 子ども	外国籍 の 父、母	日本国 籍の 父、母	外国籍 の 祖父母	日本国 籍の 祖父母	外国籍 の 兄弟 姉妹	日本国 籍の 兄弟 姉妹	外国籍 の 友人	日本国 籍の 友人	外国籍 の、同 じ会社 の人	日本国 籍の、 同じ 会社 の人	1人で 住んで いる	その他
合計	548	36.1	11.9	20.4	6.9	8.6	1.6	0.0	0.5	3.8	0.4	6.2	0.0	19.0	0.2	14.4	2.0
定住者	64	64.1	3.1	45.3	7.8	21.9	0.0	0.0	0.0	9.4	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	4.7	3.1
永住者	192	47.9	19.3	31.3	13.5	13.0	4.2	0.0	1.0	5.2	1.0	1.0	0.0	0.5	0.0	12.5	0.0
日本人の配偶者等	24	8.3	91.7	4.2	25.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
永住者の配偶者等	17	70.6	11.8	41.2	5.9	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
技能実習	87	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	17.2	0.0	64.4	1.1	11.5	4.6
特定技能	72	9.7	0.0	2.8	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	9.7	0.0	43.1	0.0	31.9	2.8
技術・人文知識・国際業務	55	40.0	3.6	10.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	3.6	0.0	20.0	0.0	30.9	1.8
家族滞在	19	84.2	0.0	26.3	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0
留学生	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13	23.1	0.0	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	38.5	0.0	7.7	0.0

（３）高岡市に住むきっかけ

高岡市に住むきっかけは、「仕事のため」が 59.7%と最も多く、次いで「家族や親戚が住んでいたから」が 16.6%、「高岡市の人と結婚したから」が 11.3%の順となっている。



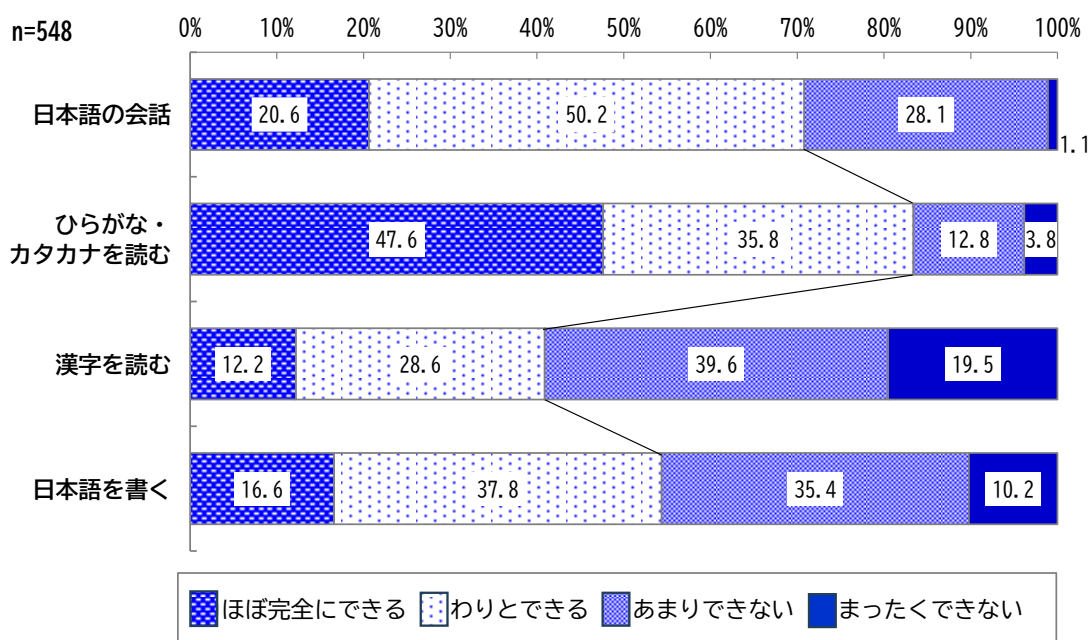
3. 日本語の能力について

(1) 日本語の能力

(質問) あなたは、日常生活や仕事においてどのくらい日本語を使えますか。

「日本語の会話」は「できる」(「ほぼ完全にできる」+「わりとできる」)が70.8%、「ひらがな・カタカナを読む」は「できる」(「ほぼ完全にできる」+「わりとできる」))が83.4%となっており、7割以上の人々が、会話やひらがな・カタカナを読むことが「できる」を選択している。

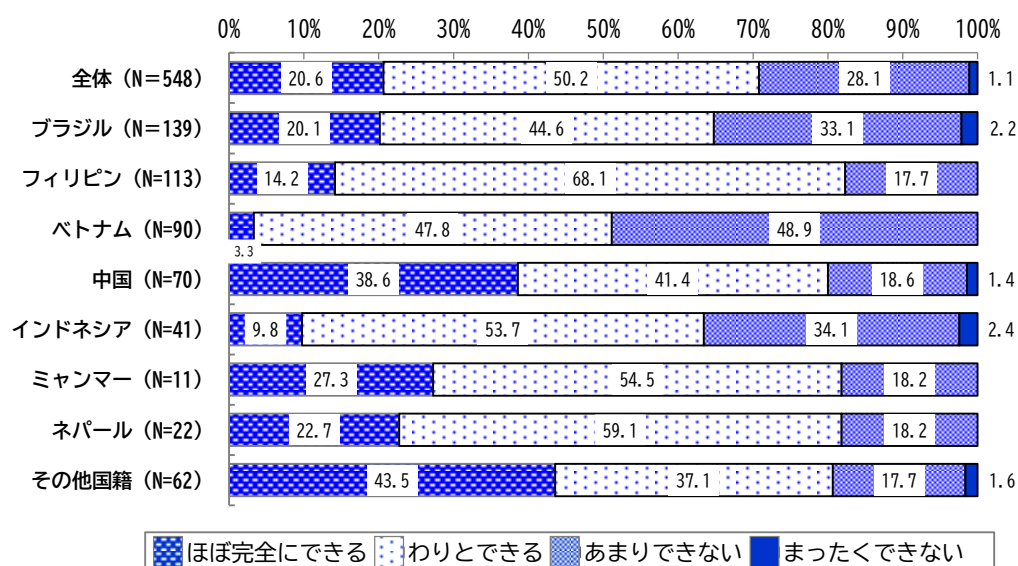
また、「漢字を読む」は40.8%、「日本語を書く」は54.4%が「できる」(「ほぼ完全にできる」+「わりとできる」)を選択している。



(2) 日本語での会話

【国籍別】

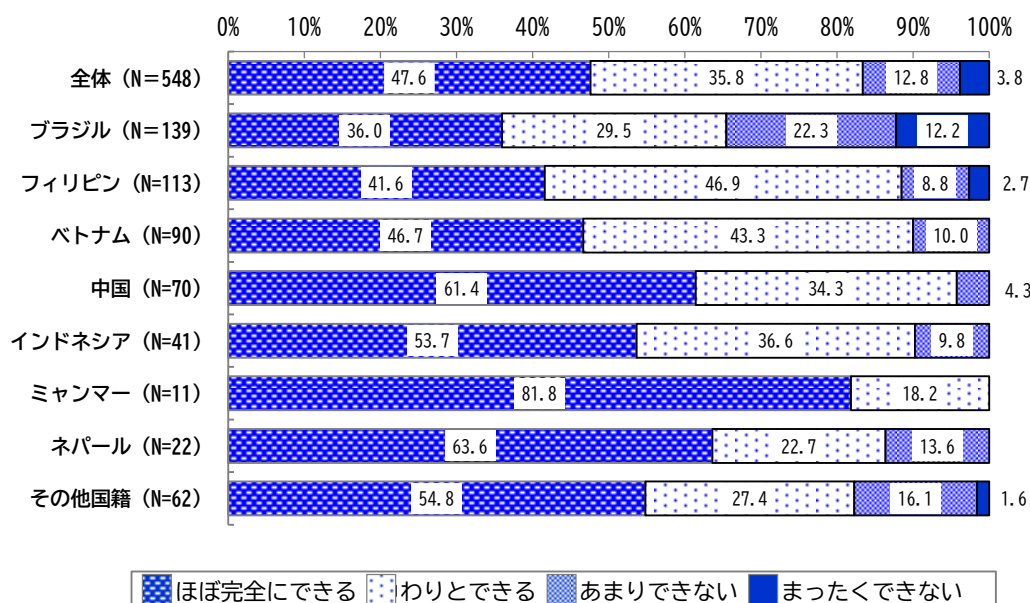
回答が多い5つの国籍の中では、「できる」（「ほぼ完全にできる」＋「わりとできる」）は、「フィリピン」が82.3%と最も多く、次いで「中国」が80.0%、「ブラジル」が64.7%、「インドネシア」が63.5%の順となっている。



(3) ひらがな・カタカナを読む

【国籍別】

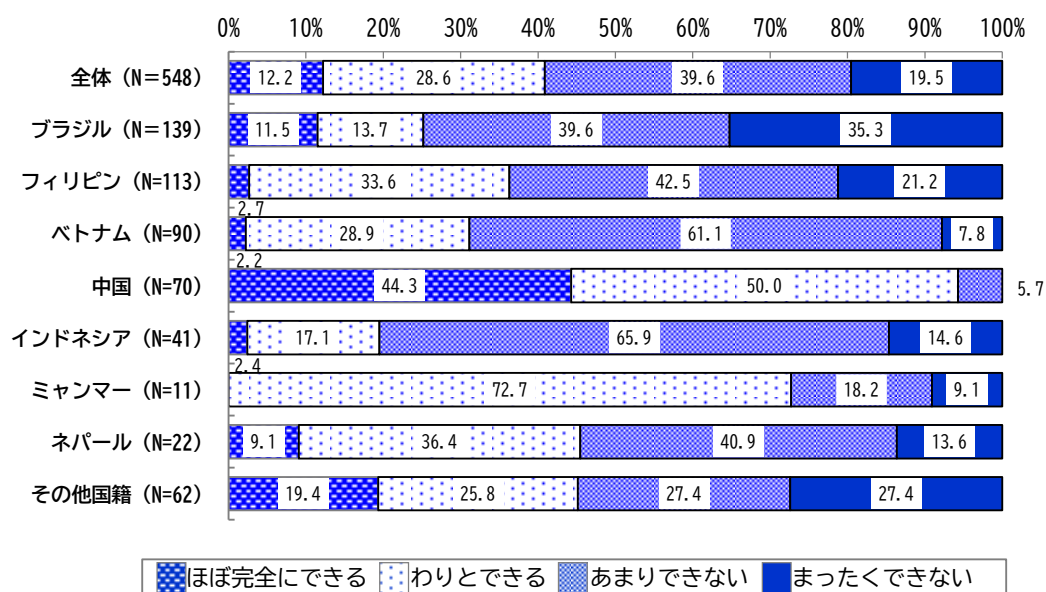
回答が多い5つの国籍の中では、「できる」（「ほぼ完全にできる」＋「わりとできる」）は、「中国」が95.7%と最も多く、次いで「インドネシア」が90.3%、「ベトナム」が90.0%、「フィリピン」が88.5%の順となっている。



(4) 漢字を読む

【国籍別】

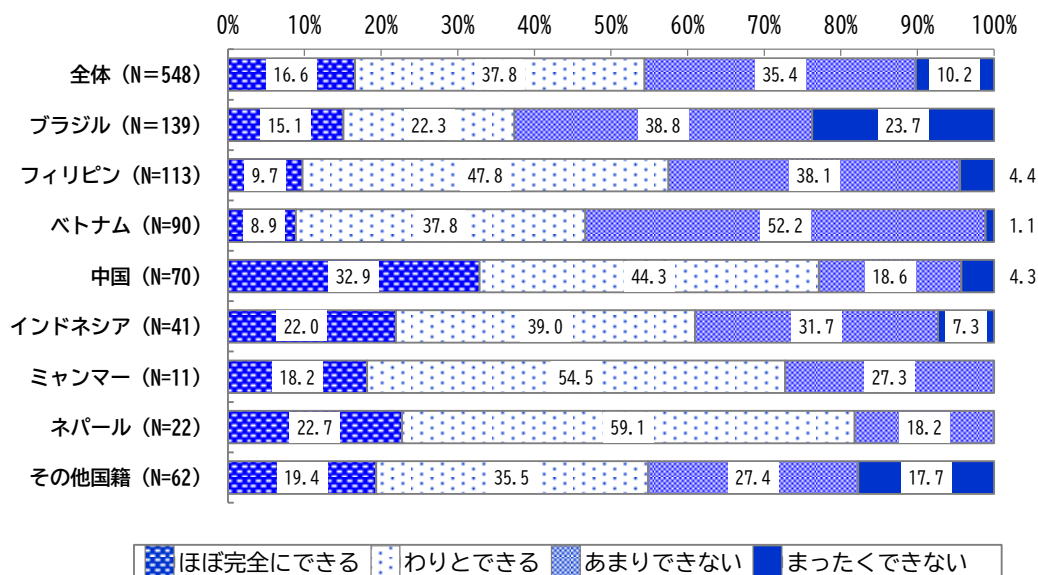
回答が多い5つの国籍の中では、「できる」（「ほぼ完全にできる」＋「わりとできる」）は、「中国」が94.3%と最も多く、次いで「フィリピン」が36.3%、「ベトナム」が31.1%、「ブラジル」が25.2%の順となっている。



(5) 日本語を書く

【国籍別】

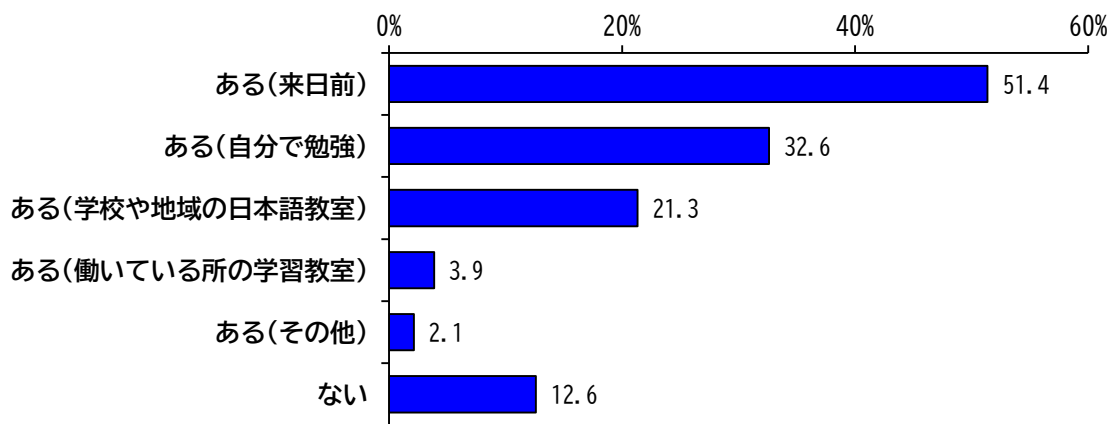
回答が多い5つの国籍の中では、「できる」（「ほぼ完全にできる」＋「わりとできる」）は、「中国」が77.2%と最も多く、次いで「インドネシア」が61.0%、「フィリピン」が57.5%、「ベトナム」が46.7%の順となっている。



(6) 日本語の勉強の有無

(質問) 日本語を勉強したことがありますか。(複数回答)

日本で生まれていない人の日本語の勉強の有無は、「ある(来日前)」が51.4%と最も多く、次いで「ある(自分で勉強)」が32.6%、「ある(学校や地域の日本語教室)」が21.3%の順となっている。



n=516

【在留資格別】

在留資格別にみると、「特定技能」(91.5%)、「技能実習」(87.1%)、「技術・人文知識・国際業務」(63.5%)は、「ある(来日前)」が多く6割を超えている。

「定住者」(44.6%)、「永住者」(33.1%)は、「ある(自分で勉強)」が多くなっている。

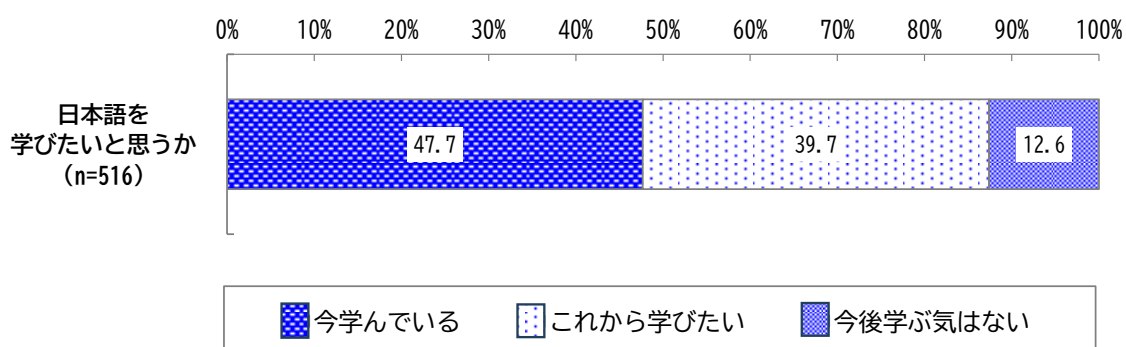
単位 (%)

	調査数 (人)	ある (来日前)	ある (学校や地 域の日本語 教室)	ある (働いてい る所の学習 教室)	ある(自分 で勉強)	ある (その他)	ない
合計	516	51.4	21.3	3.9	32.6	2.1	12.6
定住者	56	28.6	25.0	5.4	44.6	8.9	19.6
永住者	178	25.3	27.5	2.2	33.1	2.8	22.5
日本人の配偶者等	23	39.1	17.4	0.0	43.5	0.0	13.0
永住者の配偶者等	16	43.8	12.5	12.5	37.5	0.0	18.8
技能実習	85	87.1	11.8	5.9	21.2	0.0	2.4
特定技能	71	91.5	7.0	2.8	25.4	0.0	0.0
技術・人文知識・国際業務	52	63.5	34.6	3.8	34.6	0.0	5.8
家族滞在	19	36.8	21.1	0.0	52.6	5.3	10.5
留学生	5	20.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
その他	11	72.7	0.0	9.1	36.4	0.0	9.1

(7) 日本語を学ぶ意志

(質問) 日本語を学びたいと思いますか。

日本で生まれていない人の日本語を学ぶ意志の有無は、「今学んでいる」が47.7%と最も多く、次いで「これから学びたい」が39.7%、「今後学ぶ気はない」が12.6%の順となっている。



【在留資格別】

在留資格別にみると、「定住者」(55.4%)、「永住者」(50.6%)は、「これから学びたい」が最も多くなっている。

「技術・人文知識・国際業務」(73.1%)、「技能実習」(69.4%)、「特定技能」(56.3%)は、「今学んでいる」が多くなっている。

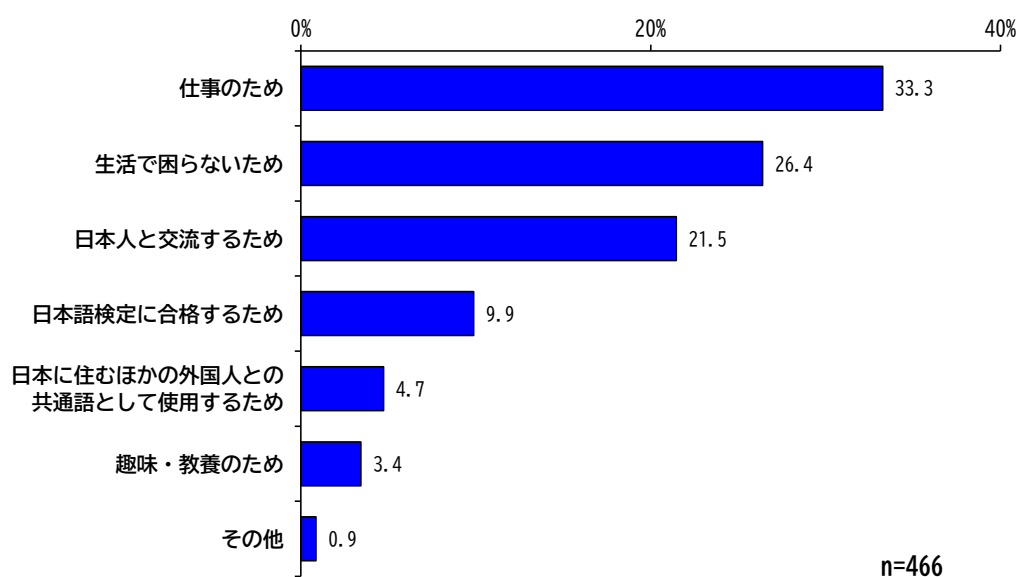
単位 (%)

	調査数 (人)	今学んでいる	これから学びたい	今後学ぶ気はない
合計	516	47.7	39.7	12.6
定住者	56	35.7	55.4	8.9
永住者	178	29.8	50.6	19.7
日本人の配偶者等	23	34.8	47.8	17.4
永住者の配偶者等	16	62.5	31.3	6.3
技能実習	85	69.4	23.5	7.1
特定技能	71	56.3	33.8	9.9
技術・人文知識・国際業務	52	73.1	13.5	13.5
家族滞在	19	36.8	63.2	0.0
留学生	5	80.0	20.0	0.0
その他	11	63.6	36.4	0.0

(8) 日本語を学ぶ意志のある人の理由（最もあてはまるもの）

（質問）「今学んでいる」「これから学びたい」を選んだ人は、次のうち、最も当てはまると思う理由を選択してください。

日本語を学ぶ意志のある人の理由は、「仕事のため」が33.3%と最も多く、次いで「生活で困らないため」が26.4%、「日本人と交流するため」が21.5%の順となっている。

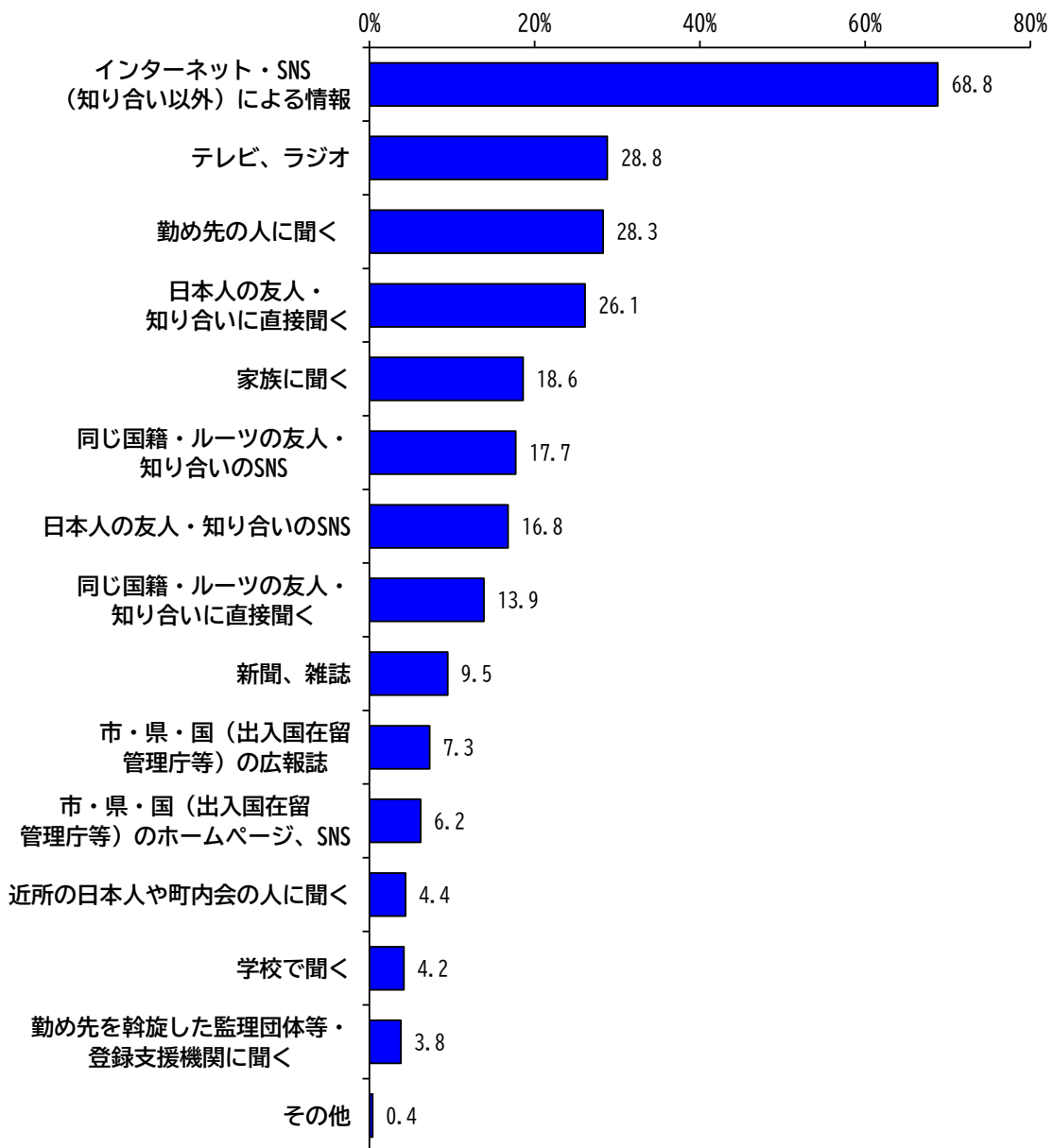


4. 生活の情報について

(1) 生活の情報収集について

(質問) 普段、どうやって生活に必要な情報を得ますか。(複数回答)

生活の情報収集は、「インターネット・SNS（知り合い以外）による情報」が 68.8%、次いで「テレビ、ラジオ」が 28.8%、「勤め先の人に聞く」が 28.3%の順となっている。



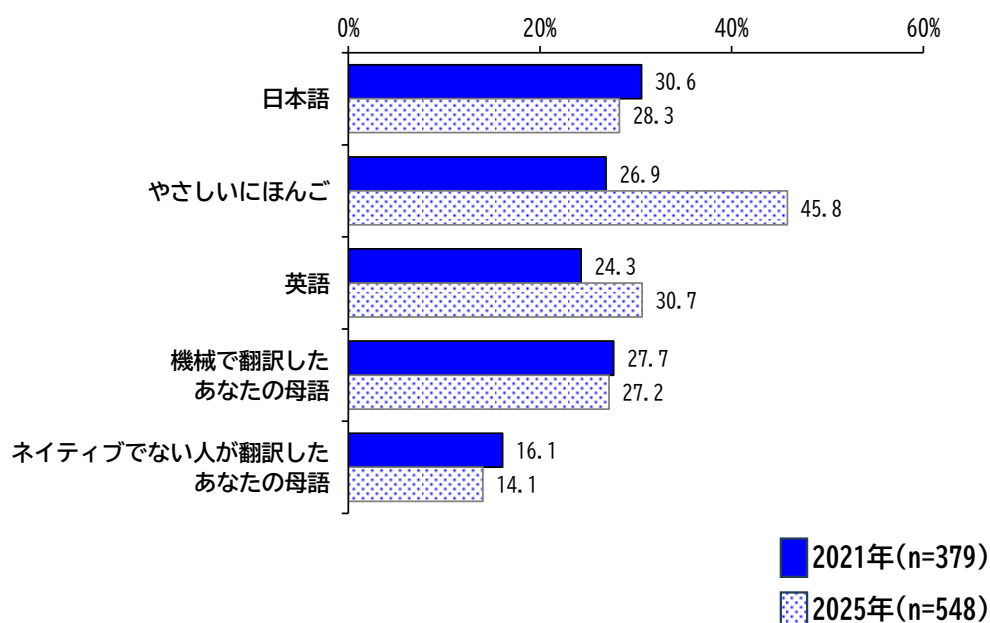
n=548

(2) 高岡市からのお知らせの言語

(質問) 高岡市からお知らせするときは、何語がいいですか。(複数回答)

高岡市からお知らせするときの言語は、「やさしいにほんご」が45.8%で最も多く、次いで「英語」が30.7%、「日本語」が28.3%の順となっている。

過去調査と比較すると、「やさしいにほんご」が18.9ポイント大きく増加している。



【高岡市滞在年数別】

高岡市滞在年数別でみると、10年以内と26年以上では「やさしいにほんご」の選択率が5割前後となっている。

11年以上～25年以内では「日本語」の選択率が多く、4割前後となっている。

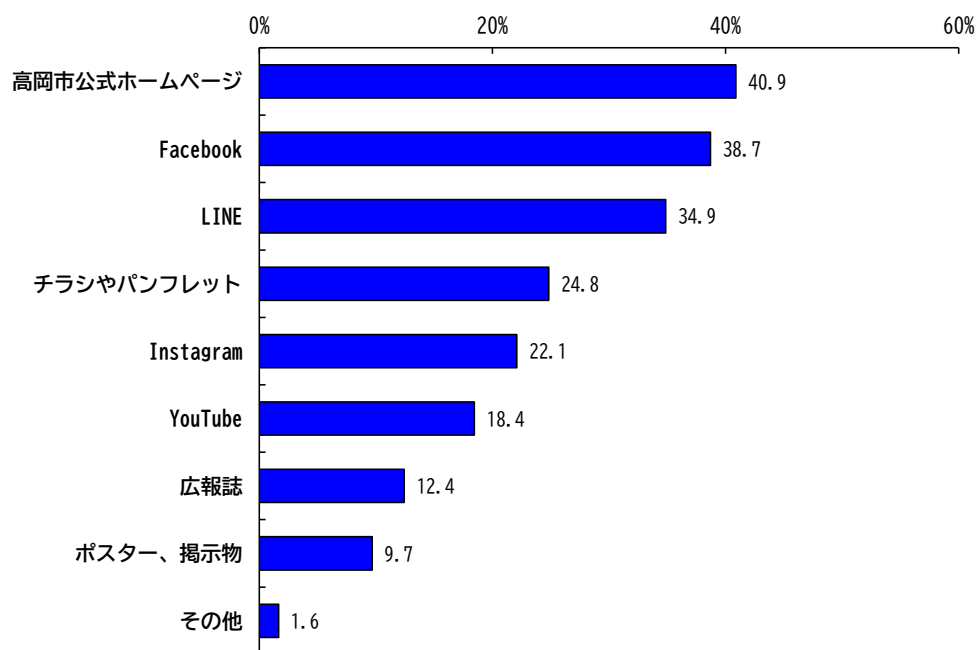
単位 (%)

	調査数 (人)	日本語	やさしいにほんご	英語	機械で翻訳したあなたの母語	ネイティブでない人が翻訳したあなたの母語
合計	548	28.3	45.8	30.7	27.2	14.1
0年以上～1年以内	78	17.9	51.3	38.5	25.6	11.5
2年以上～3年以内	154	26.6	53.2	33.1	26.0	12.3
4年以上～5年以内	55	29.1	52.7	36.4	27.3	10.9
6年以上～10年以内	94	24.5	44.7	35.1	24.5	12.8
11年以上～15年以内	42	38.1	26.2	21.4	31.0	11.9
16年以上～20年以内	39	41.0	38.5	25.6	28.2	17.9
21年以上～25年以内	43	41.9	25.6	18.6	34.9	20.9
26年以上	43	25.6	48.8	16.3	27.9	23.3

(3) 高岡市からの情報発信媒体

(質問) 高岡市の情報発信媒体として希望するものは何ですか。(複数回答)

高岡市からの情報発信媒体は、「高岡市公式ホームページ」が40.9%で最も多く、次いで「Facebook」が38.7%、「LINE」が34.9%の順となっている。



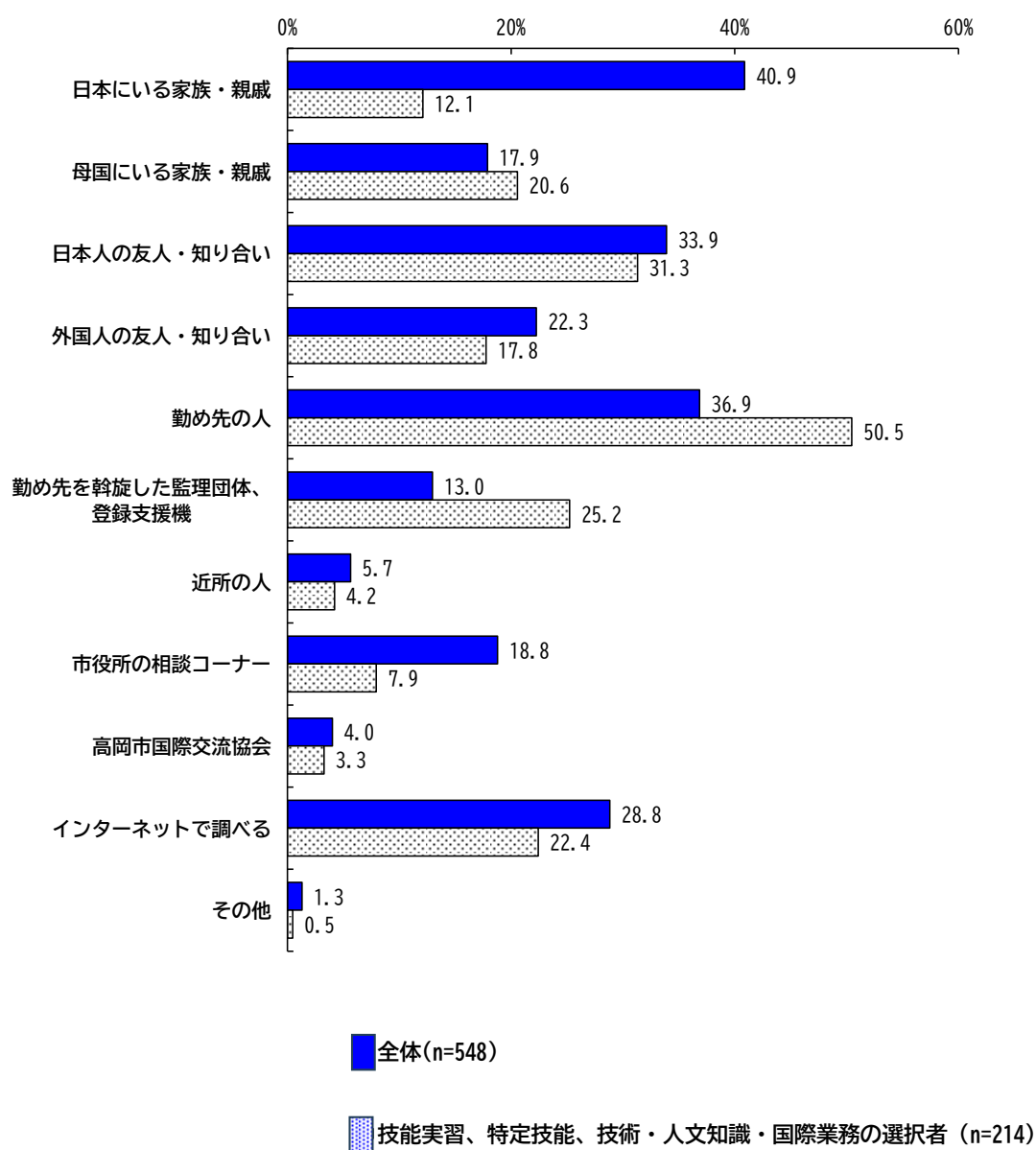
n=548

(4) 困った時の相談相手

(質問) 日常の生活で、困ったことがあったら誰に相談しますか。(複数回答)

困った時の相談相手は、全体回答では「日本にいる家族・親戚」が40.9%で最も多く、次いで「勤め先の人」が36.9%、「日本人の友人・知り合い」が33.9%の順となっている。

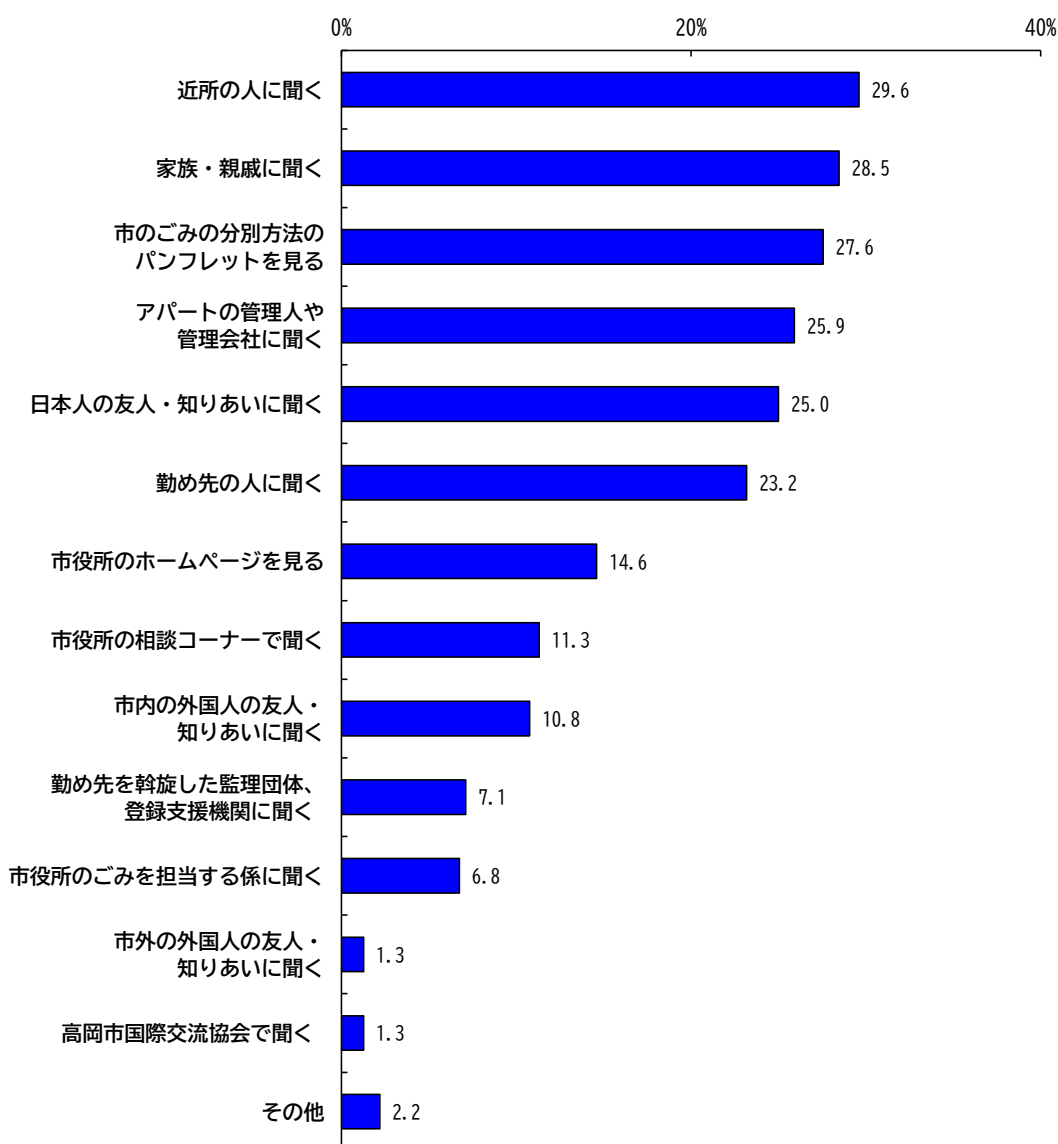
「技能実習」、「特定技能」、「技術・人文知識・国際業務」の在留資格を選択した人の回答をみると、困った時の相談相手は、「勤め先の人」が50.5%と最も多い



(5) ごみの分別に迷った時の対処法

(質問) 例えば、ごみの分け方に迷ったときは、どうしますか。(複数回答)

ごみの分別に迷った時の対処法は、「近所の人に聞く」が29.6%と最も多く、次いで「家族・親戚に聞く」が28.5%、「市のごみの分別方法のパンフレットを見る」が27.6%、「アパートの管理人や管理会社に聞く」が25.9%の順となっている。



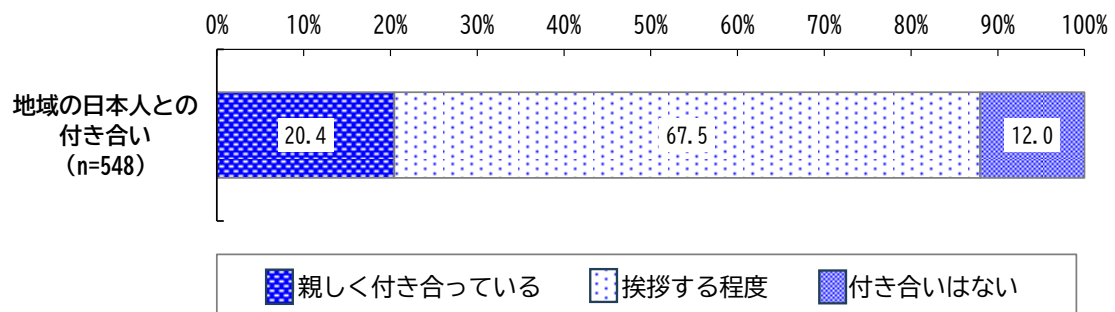
n=548

5. 地域との関わりについて

(1) 地域（家の近く）の日本人との付き合いについて

（質問）地域（家の近く）に住んでいる日本人と、どのくらい付き合いがありますか。

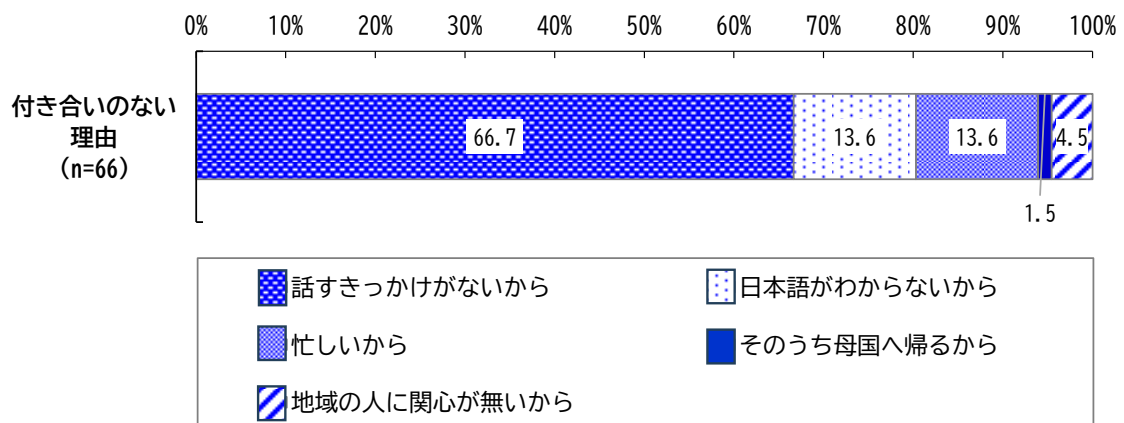
地域（家の近く）の日本人との付き合いについては、「挨拶する程度」が67.5%が最も多く、次いで「親しく付き合っている」が20.4%、「付き合いはない」が12.0%の順となっている。



(2) 日本人と付き合いのない理由

（質問）「付き合いはない」と回答した人は、そのわけを教えてください。

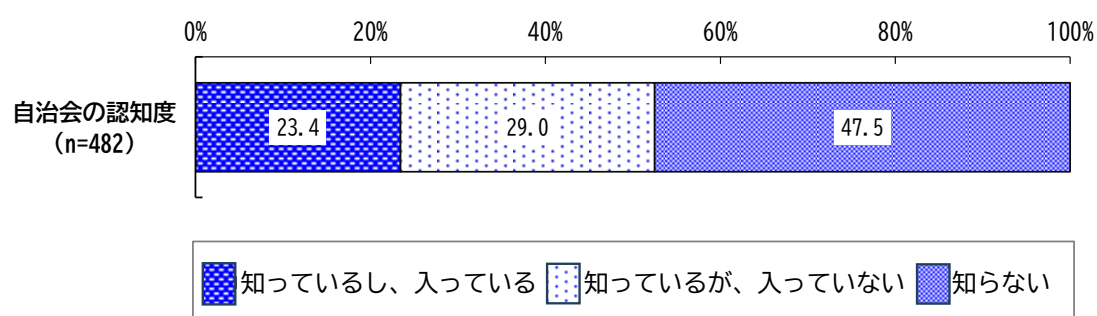
日本人と付き合いのない理由は、「話すきっかけがないから」が66.7%と最も多く、次いで「日本語がわからないから」と「忙しいから」が13.6%の順となっている。



(3) 自治会の認知度

(質問) 自治会は、地域の人が自主的に組織する、安全で住みよいまちづくりを目指す組織です。自治会を知っていますか。

自治会の認知度は、「知らない」が47.5%と最も多く、次いで「知っているが、入っていない」が29.0%、「知っているし、入っている」が23.4%の順となっている。



【高岡市在住年数別】

高岡市在住年数別にみると、15年以内は自治会を「知らない」が最も多いが、年数が大きくなるにつれ、その値は小さくなっている。在住年数が16年以上になると、自治会を「知っているし、入っている」が多くなっている。

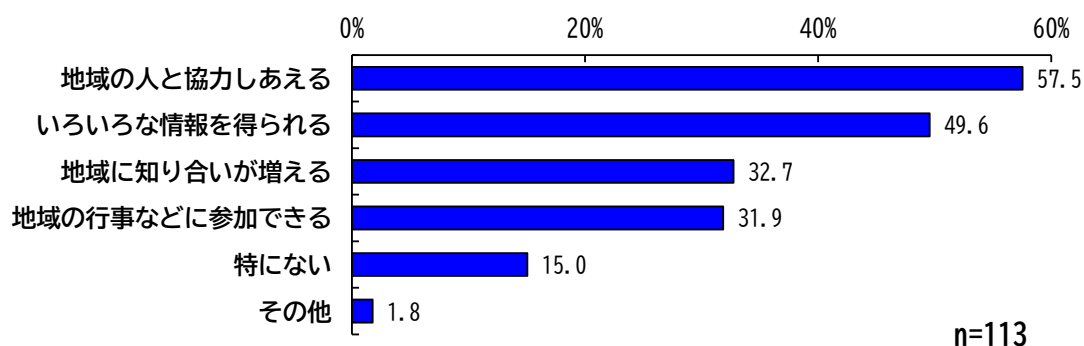
単位 (%)

	調査数 (人)	知っているし、 入っている	知っているが、 入っていない	知らない
合計	482	23.4	29.0	47.5
0年以上～1年以内	62	8.1	17.7	74.2
2年以上～3年以内	127	9.4	28.3	62.2
4年以上～5年以内	48	18.8	22.9	58.3
6年以上～10年以内	87	29.9	31.0	39.1
11年以上～15年以内	40	27.5	35.0	37.5
16年以上～20年以内	36	38.9	38.9	22.2
21年以上～25年以内	40	47.5	32.5	20.0
26年以上	42	40.5	33.3	26.2

(4) 自治会に加入して良かったこと

(質問) 自治会に入っていて、良かったと思うことは何ですか。(複数回答)

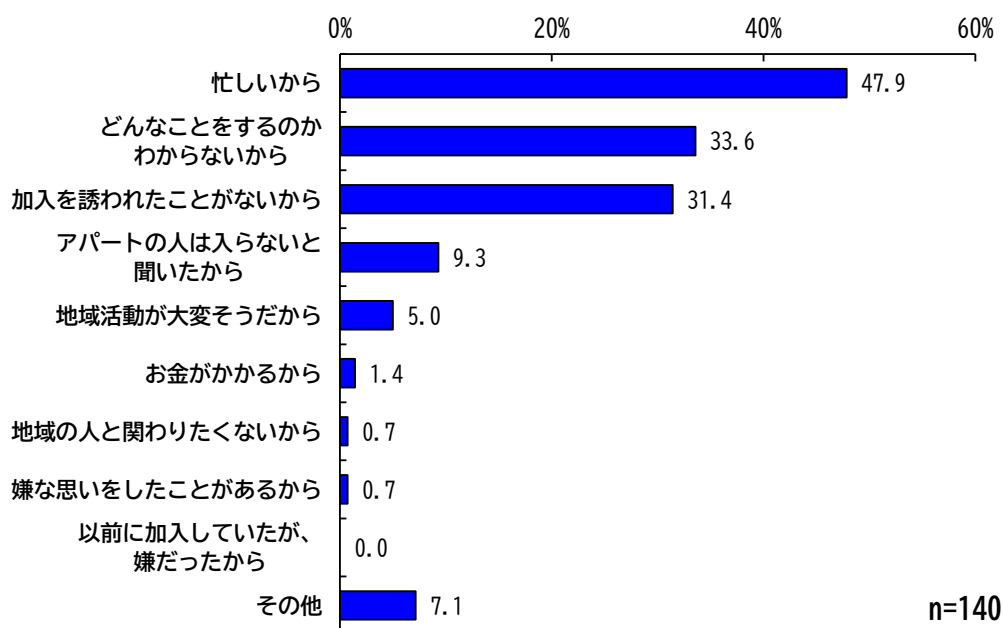
自治会に入って良かったことは、「地域の人と協力しあえる」が 57.5%と最も多く、次いで「いろいろな情報を得られる」が 49.6%、「地域に知り合いが増える」が 32.7%の順となっている。



(5) 自治会に未加入の理由

(質問) 自治会に入っていない理由は何ですか。(複数回答)

自治会に入らない理由は、「忙しいから」が 47.9%と最も多く、次いで「どんなことをするのか分からないから」が 33.6%、「加入を誘われたことがないから」が 31.4%の順となっている。



6. 地域活動について

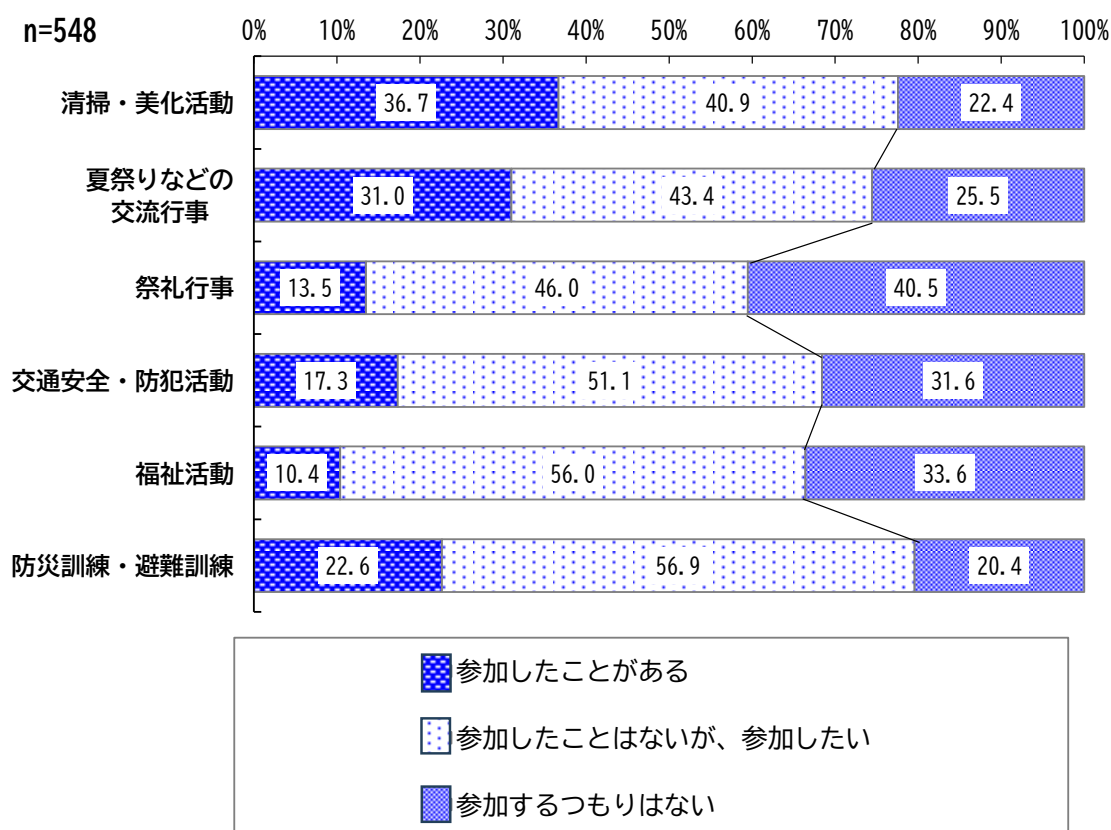
(1) 地域活動の参加状況と参加意向

(質問)

- ①地域の清掃活動や側溝掃除など住環境の美化活動
- ②夏祭りやスポーツなどの地域住民の交流行事
- ③獅子舞や神輿などの祭礼行事
- ④登校時のこどもの見守りや防犯パトロールなどの交通安全・防犯活動
- ⑤高齢者やこどもを支援する福祉活動
- ⑥防災訓練・避難訓練など災害に備えた活動

いずれの活動も「参加したことはないが、参加したい」が最も多い。

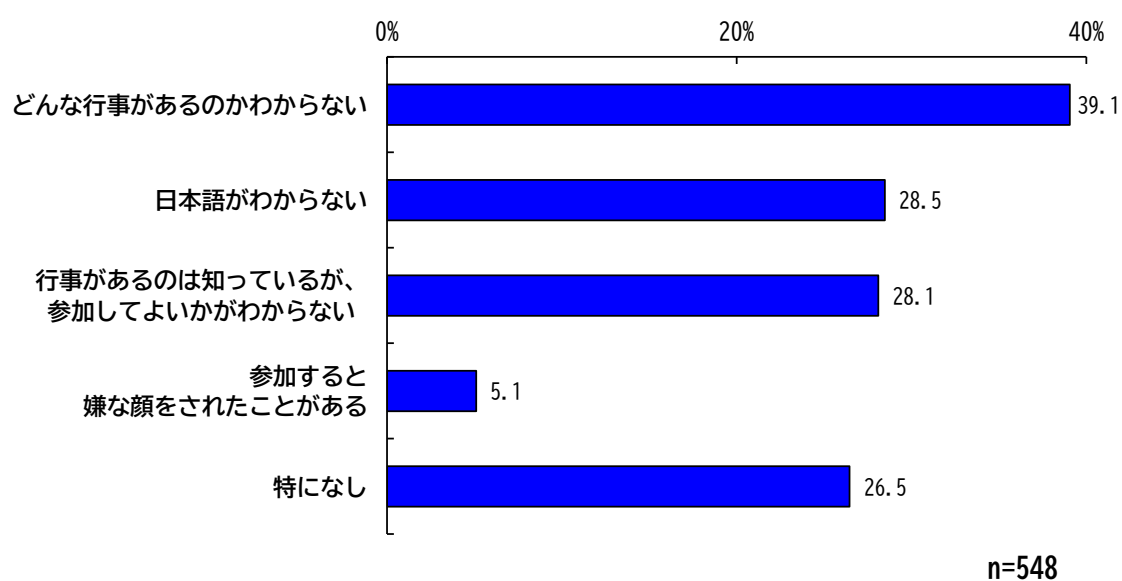
「参加したことがある」は「清掃・美化活動」が36.7%と最も多く、次に「夏祭りなどの交流行事」が多く31.0%となっている。「参加したことはないが、参加したい」では「防災訓練・避難訓練」の56.9%で最も多くなっている。



(2) 地域活動などの参加で難しいと感じたこと

(質問) 地域の行事や役割(当番など)に参加するにあたり、難しいと感じたことを選んでください。(複数回答)

地域行事などの参加で難しいと感じたことは、「どんな行事があるのかわからない」が39.1%と最も多く、次いで「日本語がわからない」28.5%、「行事があるのは知っているが、参加してよいかかわからない」28.1%の順となっている。



(3) 地域行事などの参加がしやすくなるためにあればよいこと

(質問) 地域の行事・役割に参加しやすくなるためにあればよいと思うことを記載してください。

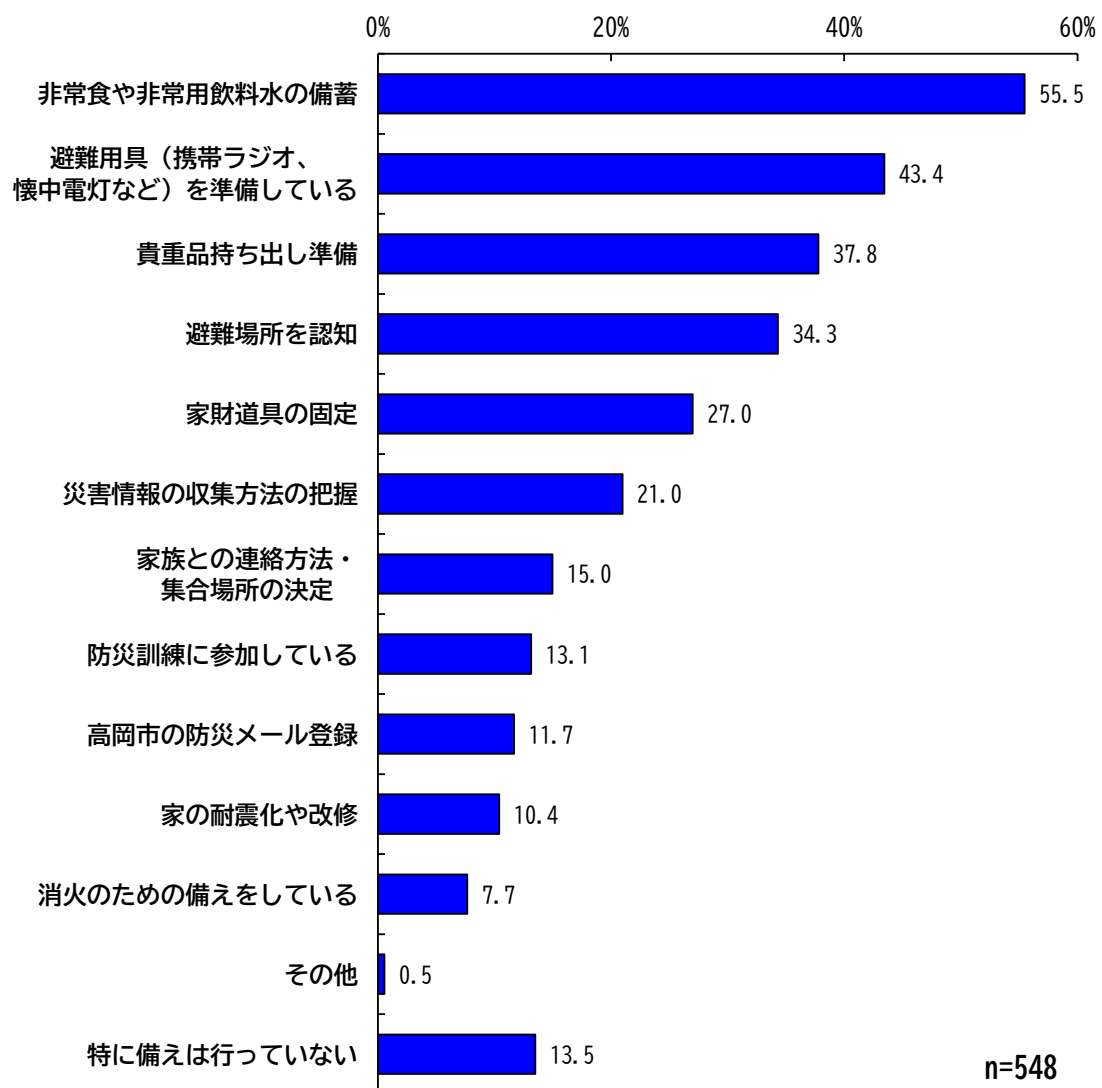
地域の行事・役割に参加しやすくなるための自由意見	年代	国籍
・近づいて話しかけ、地域社会でそれらの行事に参加するために私が何をすべきか説明してほしいです。(参加してよいかどうか、参加することが必要かどうかを教えてくださいなど)(ほか類似回答23件)	40歳代	フィリピン
・外国人も参加できることを会社に知らせてくれるとよいと思います。(ほか類似回答1件)	30歳代	フィリピン
・LINEグループなどで周知されると助かります。(ほか類似回答1件)	20歳代	ブラジル
・チラシを郵便受けに配布することでお知らせください。	20歳代	フィリピン
・掲示板にチラシやポスターを貼り出してほしいです。	30歳代	ベトナム
・ルールを説明してくれる人のサポートがあるとありがたいです。	40歳代	ブラジル
・英語、またはやさしいにほんごの表記があるといいと思います。(ほか類似回答6件)	30歳代	フィリピン
・案内にイラストや写真を使ってもらえると、外国人がより理解しやすくなると思います。	20歳代	ベトナム
・通訳がいるとありがたいです。(ほか類似回答2件)	30歳代	ベトナム
・外国人がいる場合、日本人がゆっくり話してくれたら、もう少し、理解し、会話しやすくなるのではないかと思います。	30歳代	フィリピン
・翻訳アプリを使いますので、根気よく会話してもらえるとありがたいです。	50歳代	ブラジル
・私にとって難しいのは交通手段です。車がないので行くことができません。	30歳代	ロシア
・アパート住まいなのでこれまで案内を受けたことがありませんが、自治会がどんな活動をしているのか興味があります。	30歳代	アメリカ

7. 災害への備え・教育について

(1) 災害に対して備えているもの

(質問) 災害に対して、何か備えをしていますか。(複数回答)

災害に対して備えているものは、「非常食や非常用飲料水を準備している」が 55.5%と最も多く、次いで「避難用具（携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品、衣料など）を準備している」が 43.4%、「貴重品などをすぐに持ち出せるよう準備している」37.8%の順となっている。

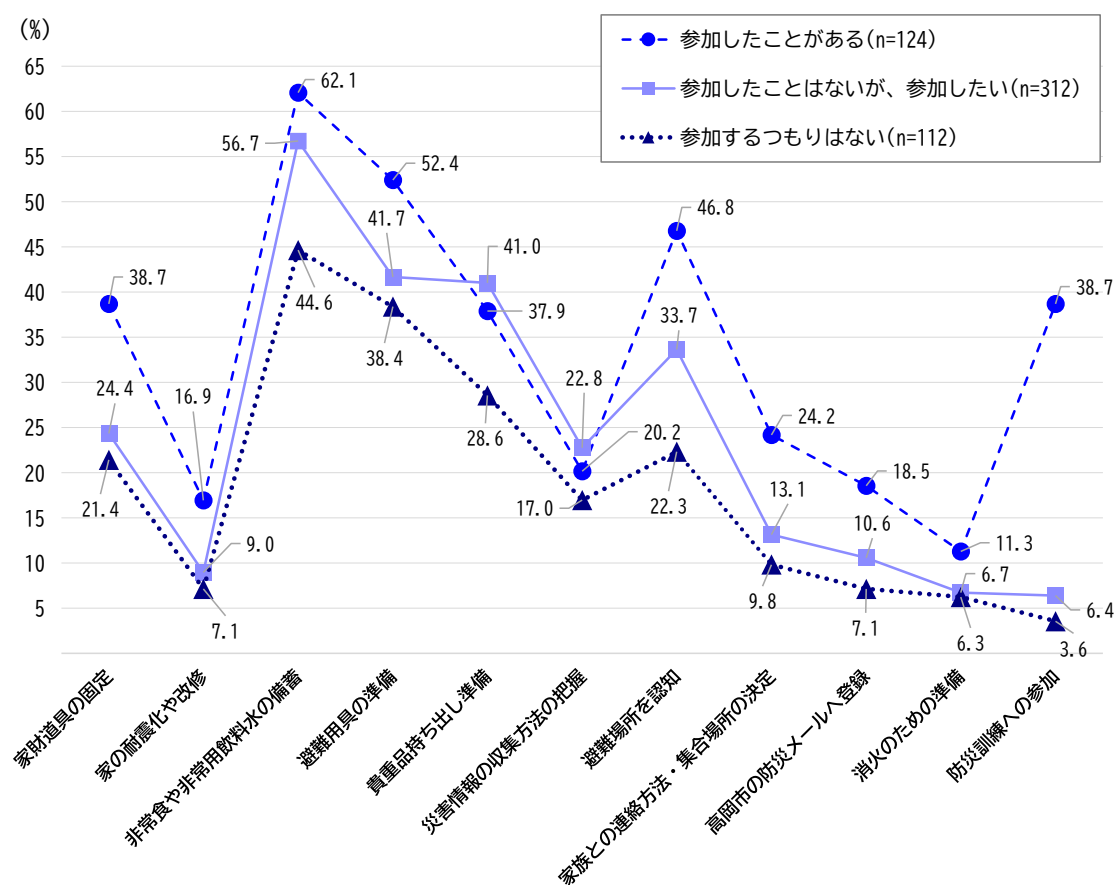


【災害に備えた活動への参加状況・意向別】

災害に対して行っている備えについて、「防災訓練・避難訓練など災害に備えた活動」への参加状況・意向別にみると、「参加したことがある」が、「参加したことはないが、参加したい」、「参加するつもりはない」より、どの項目も概ね多くなっている。

特に、「非常食や非常用飲料水を準備している」や「災害時に自分が避難する避難場所を知っている」においては、「参加したことはないが、参加したい」、「参加するつもりはない」よりも著しく多くなっている。

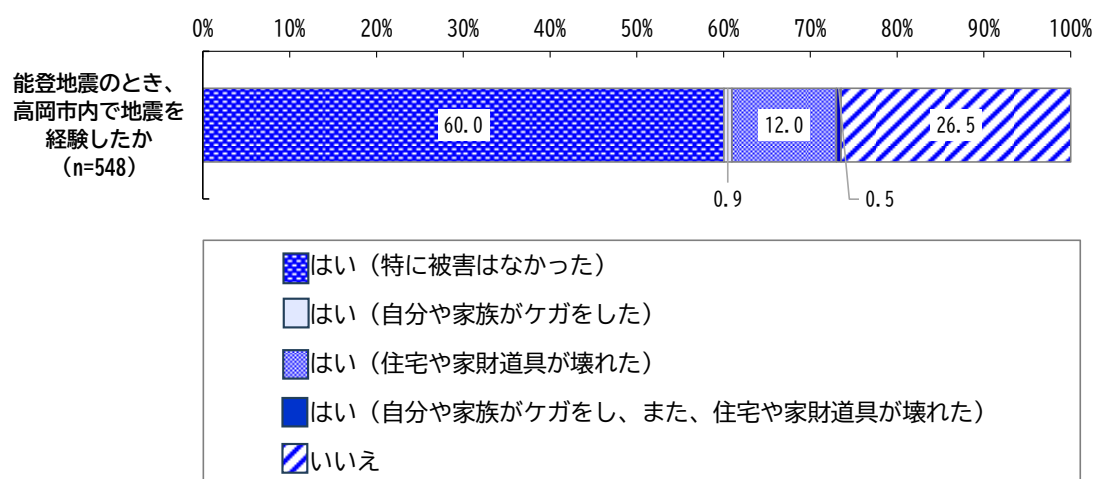
「災害に対して行っている備え」11項目の、平均選択数は、「参加したことがある」は3.7、「参加したことはないが、参加したい」は2.8、「参加するつもりはない」は2.2となっており、災害に備えた活動に「参加したことがある人」は、災害への備えをより多く行っている。



(2) 能登半島地震の経験について

(質問) 令和6年1月1日の能登半島地震のときに、高岡市内で地震を経験しましたか。

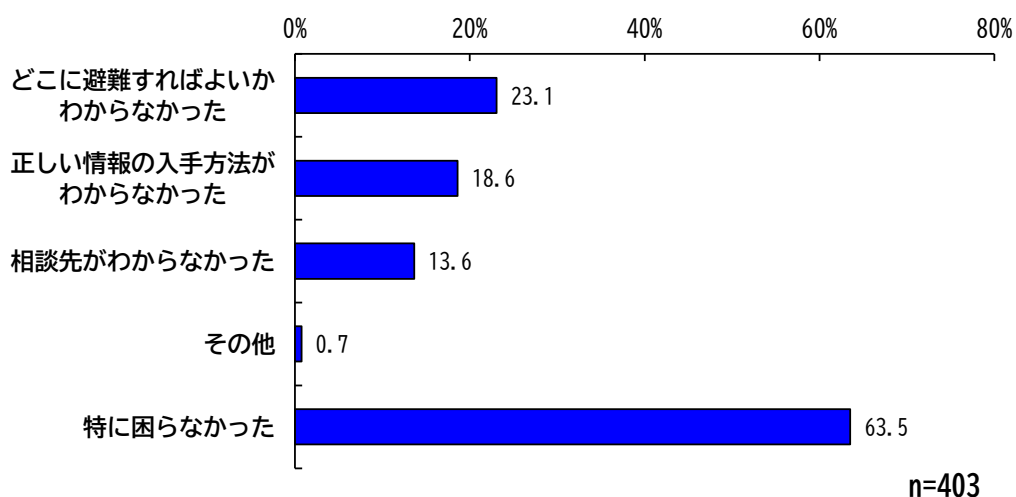
能登半島地震の経験については、「はい（特に被害はなかった）」が60.0%と最も多く、次いで「いいえ」が26.5%、「はい（住宅や家財道具が壊れた）」12.0%の順となっている。



(3) 能登半島地震の時に困ったこと

(質問) その時に困ったことはありましたか。（複数回答）

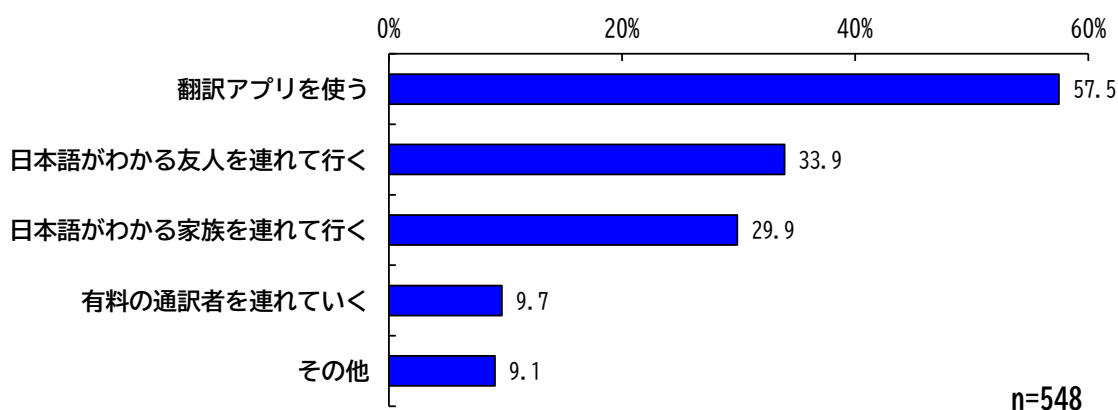
能登半島地震の時に困ったことは、「どこに避難すればよいかわからなかった」が23.1%と最も多く、次いで「正しい情報の入手方法がわからなかった」が18.6%、「相談先がわからなかった」13.6%の順となっている。



(4) 病院などでことばが不安な時

(質問) 学校・病院などでことばが不安な場合どうしていますか。(複数回答)

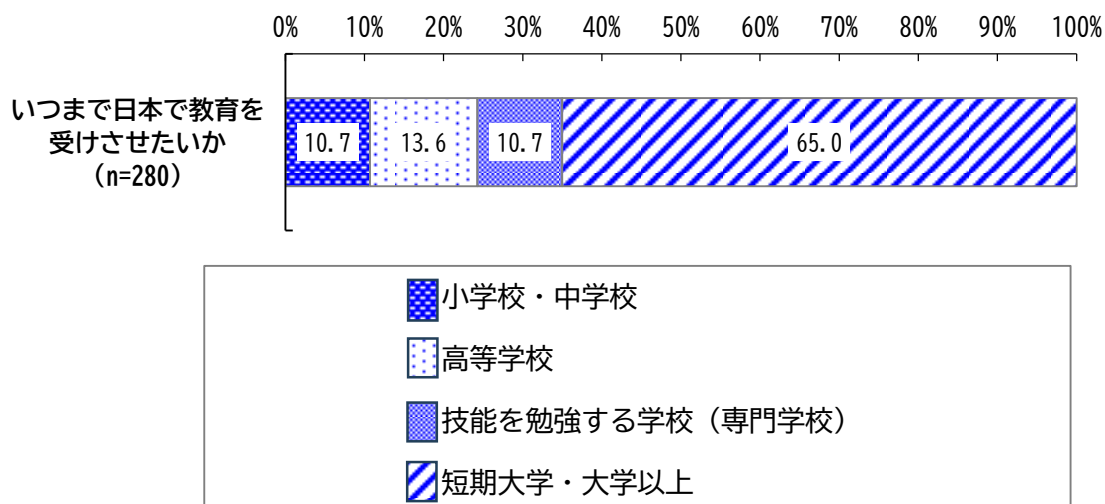
病院などでことばが不安な時は、「翻訳アプリを使う」が 57.5%と最も多く、次いで「日本語がわかる友人を連れて行く」が 33.9%、「日本語がわかる家族を連れて行く」が 29.9%の順となっている。



(5) こどもの教育について

(質問) こどもを持つ人は、いつまで日本で教育を受けさせたいですか。

こどもの教育については、「短期大学・大学以上」が 65.0%と最も多く、次いで「高等学校」が 13.6%、「小学校・中学校」と「技能を勉強する学校（専門学校）」が 10.7%の順となっている。



(6) 学校生活、子育てにおいて、習慣・宗教などが理由で困ったこと

(質問) 学校生活、子育てにおいて、国籍・文化・習慣・宗教が理由で困ったことがあれば、自由に記載してください。

学校生活、子育てにおいて、 国籍・文化・習慣・宗教などが理由で困ったこと	年代	国籍
・外国籍であることを理由にいじめを受け、ゴミを投げられたことがあります。	20歳未満	ブラジル
・**人は汚いなどと言われたことがあります。	20歳未満	—
・幼稚園に初めて通うにあたり常識的なことや習慣が分からず特定の持ち物や服装を事前に準備することができません。いつも直前に通知を受けて、あわてて買いそろえています。特定の時期を過ぎると買えなくなったり、どこで買えばいいか、どう準備すればいいのかわからなかったりすることもあります。	30歳代	中国
・豚肉を食べられないことです。	20歳未満	インド
・クリスチャンなので仏教行事への参加が難しいことです。	60歳代	ブラジル
・子どもが人種差別のいじめを受けました。	40歳代	フィリピン

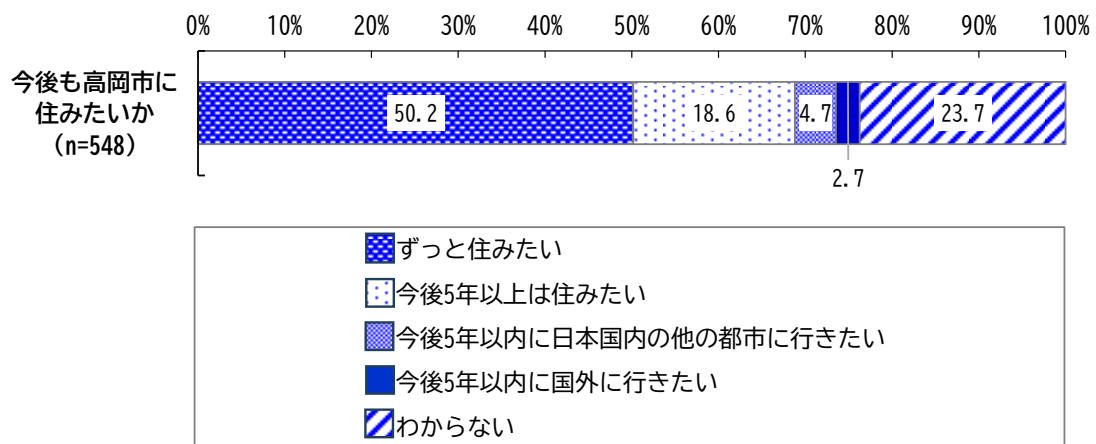
8. 高岡市での暮らしやすさについて

(1) 高岡市での居住について

(質問) あなたは、これからも高岡市に住みたいと思いますか。

高岡市での居住については、「ずっと住みたい」が50.2%と最も多く、次いで「わからない」が23.7%、「今後5年以上は住みたい」が18.6%の順となっている。

「住みたい」(「ずっと住みたい」+「今後5年以上は住みたい」)が、68.8%である一方、「今後5年以内に市外に行きたい」(「日本国内の他の都市に行きたい」+「国外に行きたい」)は7.4%となっている。



【在留資格別】

在留資格別にみると、「ずっと住みたい」は、「永住者」(75.0%)「定住者」(53.1%)の順となっている。

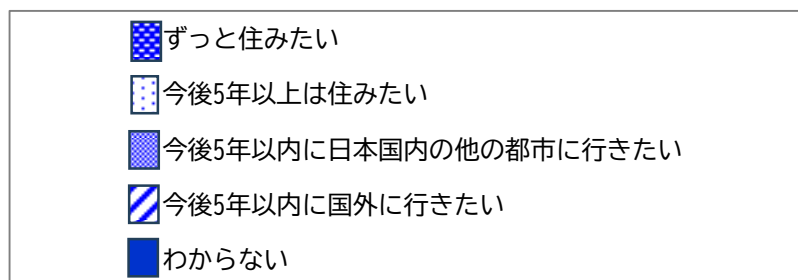
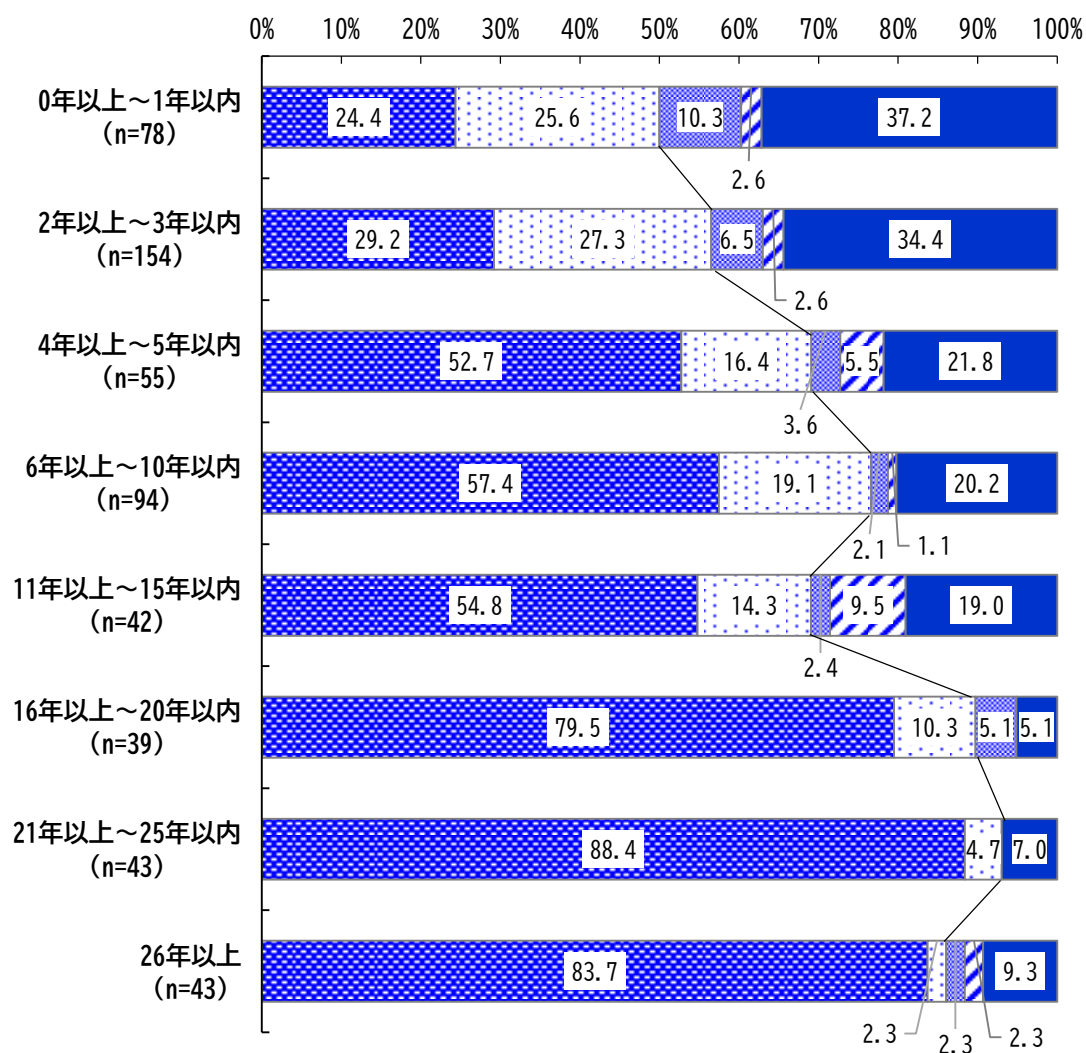
「技能実習」(43.7%)、「特定技能」(34.7%)は、「分からない」が最も多いが、「住みたい」(「ずっと住みたい」+「今後5年以上は住みたい」)の合計は5割前後になっている。

単位 (%)

	調査数 (人)	ずっと住みたい	今後5年以上は住みたい	今後5年以内に日本国内の他の都市に行きたい	今後5年以内に国外に行きたい	わからない
合計	548	50.2	18.6	4.7	2.7	23.7
定住者	64	53.1	17.2	4.7	3.1	21.9
永住者	192	75.0	8.9	2.1	1.6	12.5
日本人の配偶者等	24	66.7	16.7	4.2	0.0	12.5
永住者の配偶者等	17	58.8	23.5	0.0	0.0	17.6
技能実習	87	17.2	28.7	5.7	4.6	43.7
特定技能	72	29.2	25.0	9.7	1.4	34.7
技術・人文知識・国際業務	55	36.4	27.3	7.3	7.3	21.8
家族滞在	19	47.4	10.5	5.3	0.0	36.8
留学生	5	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0
その他	13	38.5	30.8	0.0	7.7	23.1

【高岡市滞在年数別】

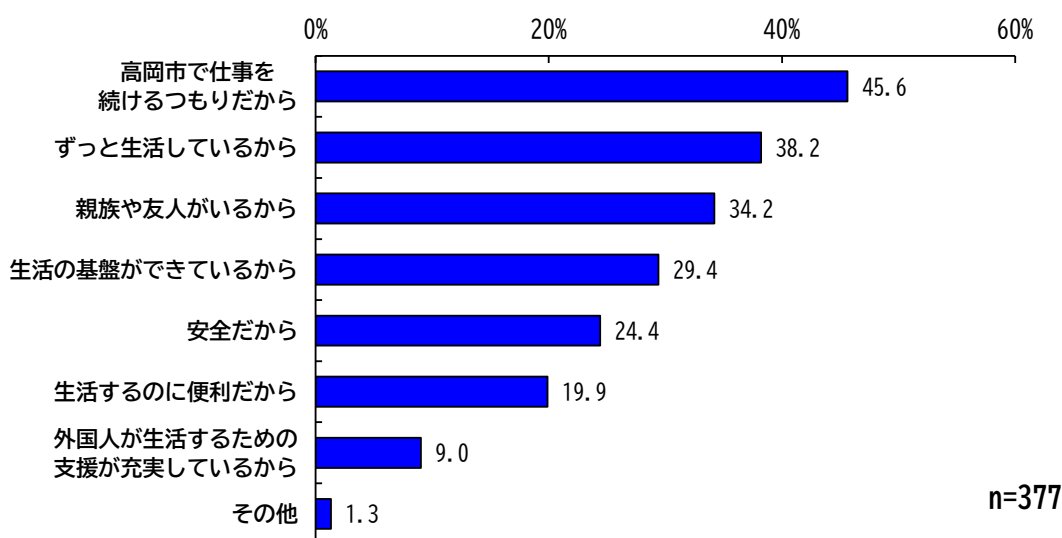
高岡市滞在年数別で見ると、滞在年数が4年以上は、「ずっと住みたい」が5割を超えており、滞在年数が16年以上になると、「ずっと住みたい」が約8割となっている。



(2) 高岡市に住みたい理由

(質問)「ずっと住みたい」「今後5年以上は住みたい」を選択した人にお聞きします。その理由を選択してください。(3つまで)

高岡市に住みたい理由については、「高岡市で仕事を続けるつもりだから」が45.6%と最も多く、次いで「ずっと生活しているから」が38.2%、「親族や友人がいるから」が34.2%の順となっている。



【在留資格別】

在留資格別にみると、「永住者」(50.9%)、「定住者」(42.2%)は、「ずっと生活しているから」が最も多く、「特定技能」(89.7%)、「技能実習」(80.0%)、「技術・人文知識・国際業務」(62.9%)は、「高岡市で仕事を続けるつもりだから」が最も多くなっている。

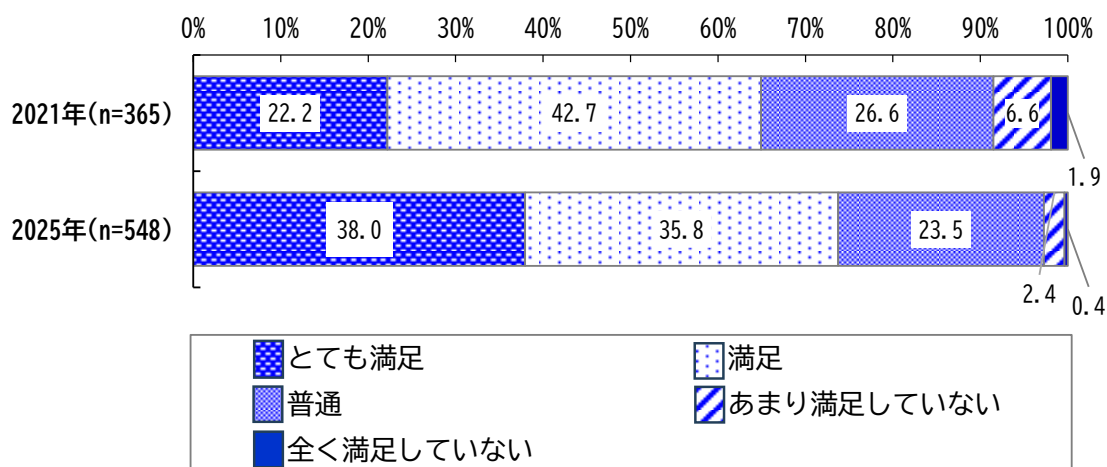
単位 (%)

	調査数 (人)	親族や友人 がいるから	外国人が生活 するための支援が 充実しているから	高岡市で仕事 を続けるつもり だから	ずっと生活 しているから	生活の基盤 ができているから	生活するの に便利だから	安全 だから	その他
合計	377	34.2	9.0	45.6	38.2	29.4	19.9	24.4	1.3
定住者	45	33.3	17.8	40.0	42.2	26.7	31.1	33.3	0.0
永住者	161	39.1	11.2	29.2	50.9	45.3	13.7	24.2	1.9
日本人の配偶者等	20	60.0	0.0	15.0	30.0	35.0	30.0	10.0	0.0
永住者の配偶者等	14	71.4	14.3	35.7	28.6	50.0	21.4	14.3	0.0
技能実習	40	15.0	7.5	80.0	20.0	0.0	27.5	20.0	0.0
特定技能	39	10.3	2.6	89.7	23.1	15.4	28.2	17.9	0.0
技術・人文知識・国際業務	35	28.6	2.9	62.9	22.9	11.4	17.1	25.7	2.9
家族滞在	11	27.3	0.0	45.5	45.5	9.1	0.0	27.3	9.1
留学生	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
その他	9	66.7	11.1	44.4	33.3	11.1	11.1	55.6	0.0

(3) 高岡市の外国籍市民への取り組みについて

(質問) 高岡市は、外国籍市民が住みやすくなるよう、外国籍市民のための生活相談コーナーや、やさしい日本語・多言語での情報発信、災害時外国人支援ボランティアの育成などの多文化共生事業に取り組んでいます。これらの事業に、あなたは満足していますか。

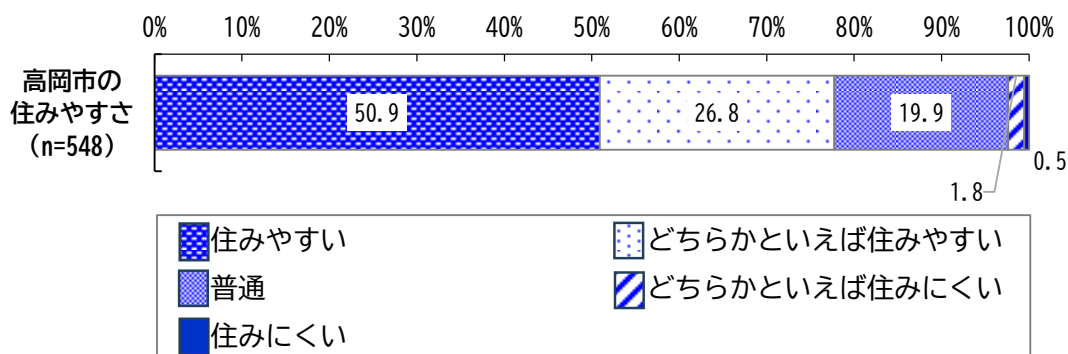
高岡市の外国籍市民への取り組みについては、「とても満足」が38.0%と最も多く、次いで「満足」が35.8%、「普通」が23.5%の順となっている。「満足」(「とても満足」+「満足」)が73.8%となっており、前回調査時の64.9%よりも8.9ポイント大きくなっている。



(4) 高岡市の住みやすさについて

(質問) あなたにとって、高岡は住みやすいまちですか。

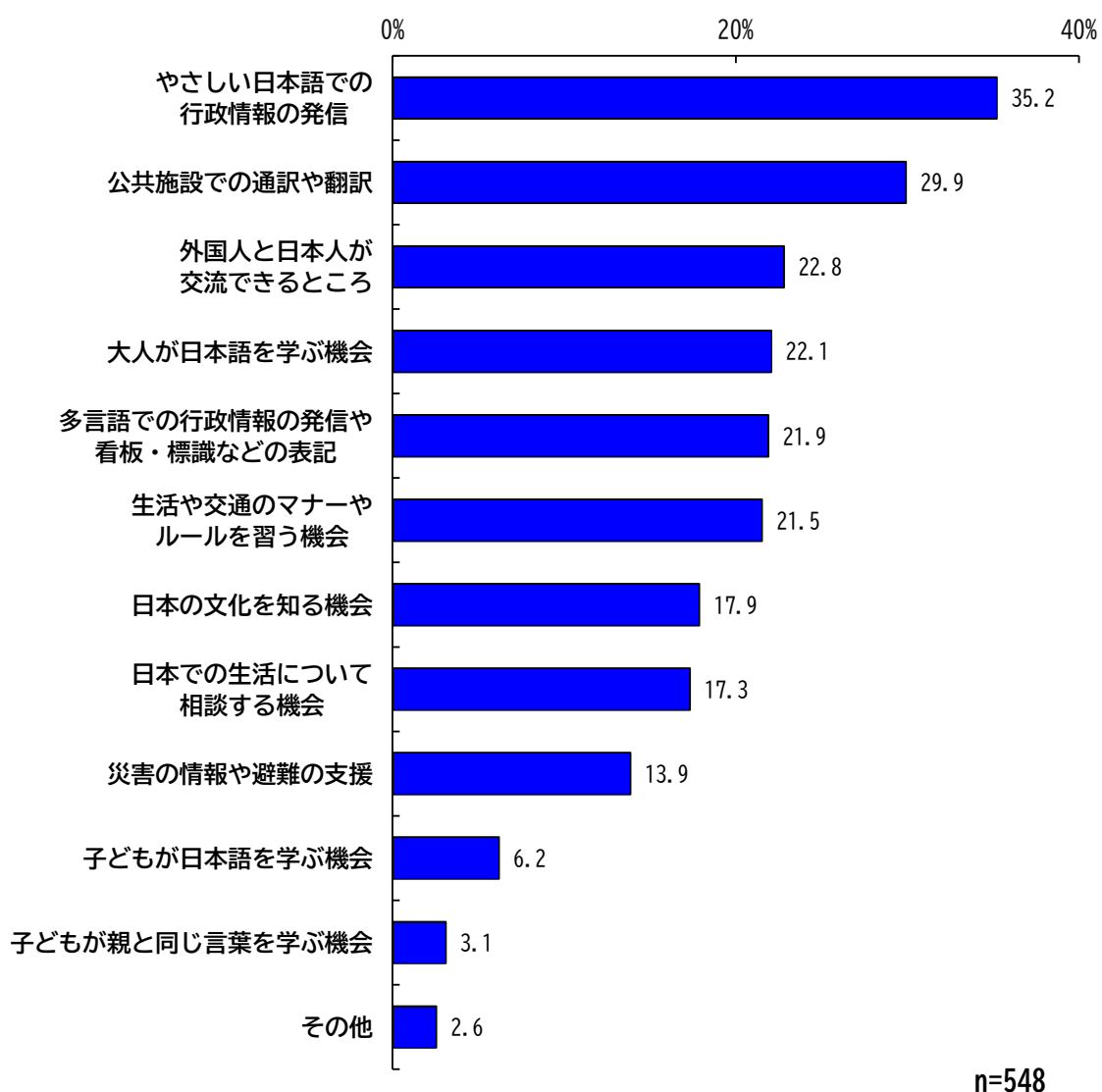
高岡市の住みやすさについては、「住みやすい」が50.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば住みやすい」が26.8%、「普通」が19.9%の順となっており、「住みやすい」(「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)は77.7%となっている。



(5) 高岡市で生活するのにあればよいと思うもの

(質問) これからも高岡市で生活するのに、あればよいと思うものを選んでください。(3つまで)

高岡市で生活するのにあればよいと思うものは、「やさしい日本語での行政情報の発信」が35.2%と最も多く、次いで「公共施設での通訳や翻訳」が29.9%、「外国人と日本人が交流できる場所」が22.8%の順となっている。



(6) 地域や職場で受けた差別について

(質問) 地域や職場で国籍や文化・習慣・宗教が理由で差別的なことばや態度を受けたことがありますか。もしあれば、どのような状況・内容であったかを入力してください。

地域や職場で国籍や文化・習慣・宗教が理由で差別的なことばや態度を受けたこと	年代	国籍
・顔立ちや髪などの外見について侮辱されたり、差別的な発言を受けたことがあります。(ほか類似回答1件)	40歳代	ブラジル
・職場で上の立場の人からのいじめや、お客様から差別的な言葉を言われた。	30歳代	ベトナム
・職場であるレストランでお客様から差別的な態度をとられた。	40歳代	—
・職場で母国語を話すのを禁じられた。	30歳代	ブラジル
・職場で年配の人から受けた。	30歳代	フィリピン
ほか上記の類似回答(職場で受けたとの回答) 10件		
・買い物の際に差別的な対応をされたことがあります。	30歳代	中国
・外国人だから気を付けろと言われた。	50歳代	ブラジル
・怒鳴られた。	20歳代	ブラジル
・不機嫌な態度をとられた。	30歳代	ネパール
・後ろからついて来られた。	30歳代	ベトナム
ほか上記の類似回答(地域で受けたとの回答) 8件		
・付き添いの日本人にのみ話しかけられ、自分はいないもののようにな扱われました。	30歳代	インドネシア
・家を借りる際に入居を断られたことや追加費用を求められたことがあります。	30歳代	ブラジル
・クリニックに行った際、翻訳アプリで会話できると伝えましたが、受け入れてもらえませんでした。	30歳代	フィリピン

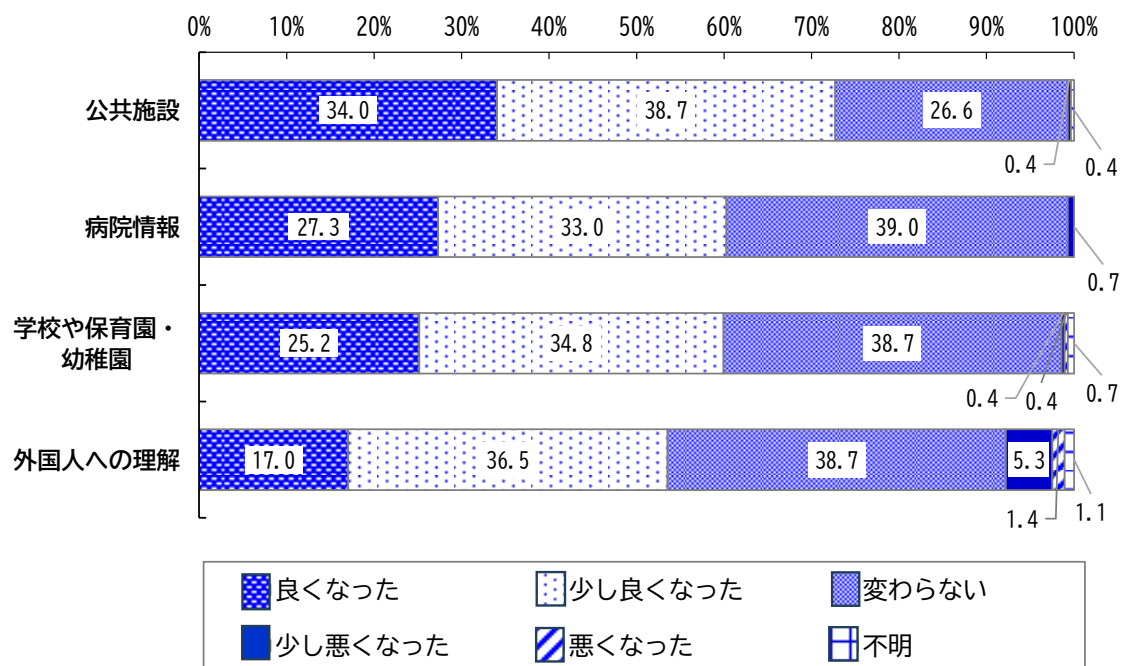
(7) 高岡市に5年以上住んでいる方への調査

(質問) 5年前と比べて、どのように変化しましたか。

- ①公共施設などでの情報のわかりやすさ
- ②病院情報のわかりやすさ
- ③学校や保育園・幼稚園の情報のわかりやすさ
- ④日本人の、外国人への理解

高岡市に5年以上住んでいる方に、5年前と比べてどうなったかを尋ねたところ、全体的には、「良くなった」(「良くなった」+「少し良くなった」)が5割以上となっている。

n=282



9. その他、ご意見

高岡市の多文化共生に向けての主なご意見	年代	国籍
・私は高岡市がとても好きです。ありがとうございます。	20歳代	ベトナム
・高岡に住んでいて、とても幸せだ。父が亡くなった後、日本に来て暮らすようになり、私を温かく迎え入れてくれた多くの人々に会った。日本のコミュニティの皆さんに感謝している。	20歳代	ブラジル
・私の言葉に大した価値はないかもしれないが、感謝している。素晴らしい街だ。	20歳代	ブラジル
・私を受け入れてくれたことに、深く感謝している。感謝の言葉しかない。ありがとう！	40歳代	ブラジル
・高岡市が大好きだ。	30歳代	ブラジル
・1989年に初めて来日してから今日まで、この国で暮らしている。私にとって日本は、まるで生まれ故郷のような場所だ。家族を呼び寄せ、子どもたちは皆ここで結婚し、孫たちも日本で生まれた。日本という国を非常に誇りに思っている。父は長崎市出身の日本人だった。時代と共に状況は大きく変わったが、私にとって日本は今でも素晴らしい国だ。この国と神に深く感謝している。	50歳代	ブラジル
・この街での生活を気に入っている。高岡は安全で、この平穏と静けさに深く愛着を感じている。	60歳代	ブラジル
・私と家族にとって住みやすい場所です。	30歳代	パキスタン
・ここでの快適で安全な生活に感謝します。外国人労働者として第二の故郷のように感じます。	30歳代	フィリピン
・私は高岡市が大好きです。	20歳代	インドネシア
・とてもいいです。意見がありません。	40歳代	中国
・ありがとうございます。	20歳代	ベトナム
・高岡市では日本人は親切で礼儀正しいです。	30歳代	フィリピン
ほか上記の類似回答（高岡市への好意的な回答）31件		
・高岡での安全な生活環境に感謝したいです。要望は特にありません。	30歳代	フィリピン
・私たちの近所の人は良い人たちで静かでトラブルもないので、よい隣人に恵まれて嬉しいです。	40歳代	フィリピン
・日本に長く住みたいです。	20歳代	ベトナム
・アンケートで私たちの声を聞いてくださったことに感謝しています。（ほか類似回答4件）	40歳代	フィリピン
・日本人と外国人の共生をより円滑にするため、日々尽力している方々に感謝しています。敬意と献身、そして学びを通じて、地域の方々に恩返しができるかと願っています。自分たちのアイデンティティを失うことなく、この国の文化を学びたいです。ありがとうございました。	60歳代	ブラジル
・ここで暮らせることは私たちの幸せです。日本の文化や市民を尊重し、住民としての義務もすべて果たしています。	30歳代	ブラジル
・私の家族は常に日本の法律と文化に従うように努めています。私たちは日本語を学ぶように努めています。	30歳代	ベトナム
・日本の文化や生活・働き方を学び、自分自身をより成長させたいと思っています。	30歳代	ベトナム

高岡市の多文化共生に向けての主なご意見	年代	国籍
・私たちは日本が大好きですし、将来の平和で調和の取れた関係のために地域社会への役割は不可欠だと思っています。	30歳代	フィリピン
・私たちは地域活動への参加に非常に興味があり日本人住民と外国籍住民がお互いから学び、友好的な関係を築けるような言語交換の機会を企画したり、参加したりできれば嬉しく思います。	30歳代	スリランカ
・みんなで仲良くできる場所があったらよいと思います。 (ほか類似回答2件)	60歳代	ブラジル
・地域の住民とコミュニケーションをとって、日本語を学びたいです。	30歳代	ブラジル
・オンラインではなく実際の人から文化や言語についてもっと学びたいです。私は対面での交流がとても大切だと思っています。	30歳代	ロシア
・外国人が日本語を学べる教室を増やしてほしいです。(ほか類似回答2件)	30歳代	中国
・パンフレットにもっと多くのふりがなを使ってほしいです。	50歳代	ブラジル
・英語の翻訳を増やしてほしいです。(ほか類似回答1件)	50歳代	フィリピン
・ベトナム語の翻訳を増やしてほしいです。	50歳代	ベトナム
・将来的に、さまざまな標識に英語翻訳を付けてほしいです。	20歳代	フィリピン
・学校・病院にもっと通訳を配置してほしいです。(ほか類似回答3件)	50歳代	フィリピン
・外国人へ、社会保険、病院、生活情報が幅広く伝わればいいと思います。	50歳代	韓国
・外国人がビジネスやお店を始めるのを手伝ってくれる人がいると嬉しいです。	20歳代	—
・いまだに多くの差別が存在しています。(ほか類似回答1件)	60歳代	ブラジル
・日本人の人々が外国人を差別しないことを願っています。 (ほか類似回答5件)	30歳代	ベトナム
・誤解や偏見によって不安を感じることなく、自分の行動をいちいち説明したり、正当化したりしなくても、安心して生活できる地域であってほしいと思います。	30歳代	ブラジル

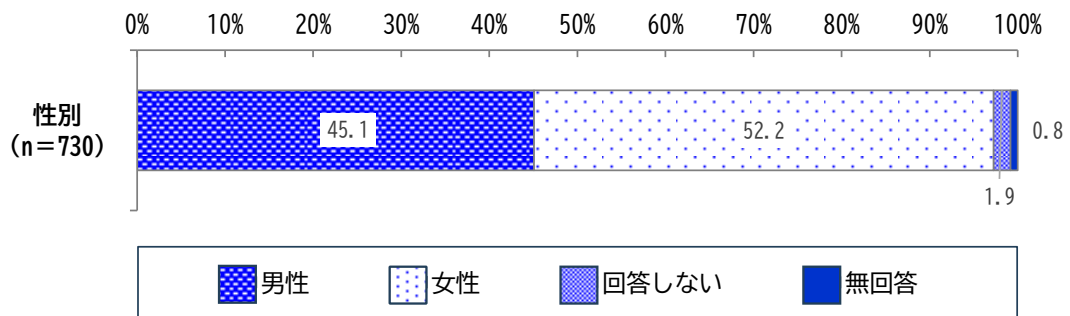
Ⅲ. 日本国籍市民調査結果

Ⅲ. 日本国籍市民調査結果

1. 回答者属性

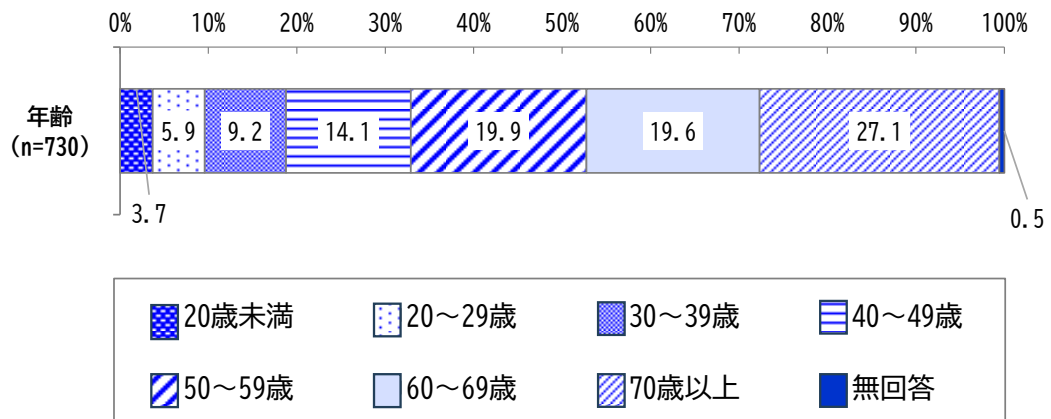
(1) 性別

性別は、「男性」が 45.1%、「女性」が 52.2%であり、「女性」が 7.1 ポイント多い。



(2) 年齢

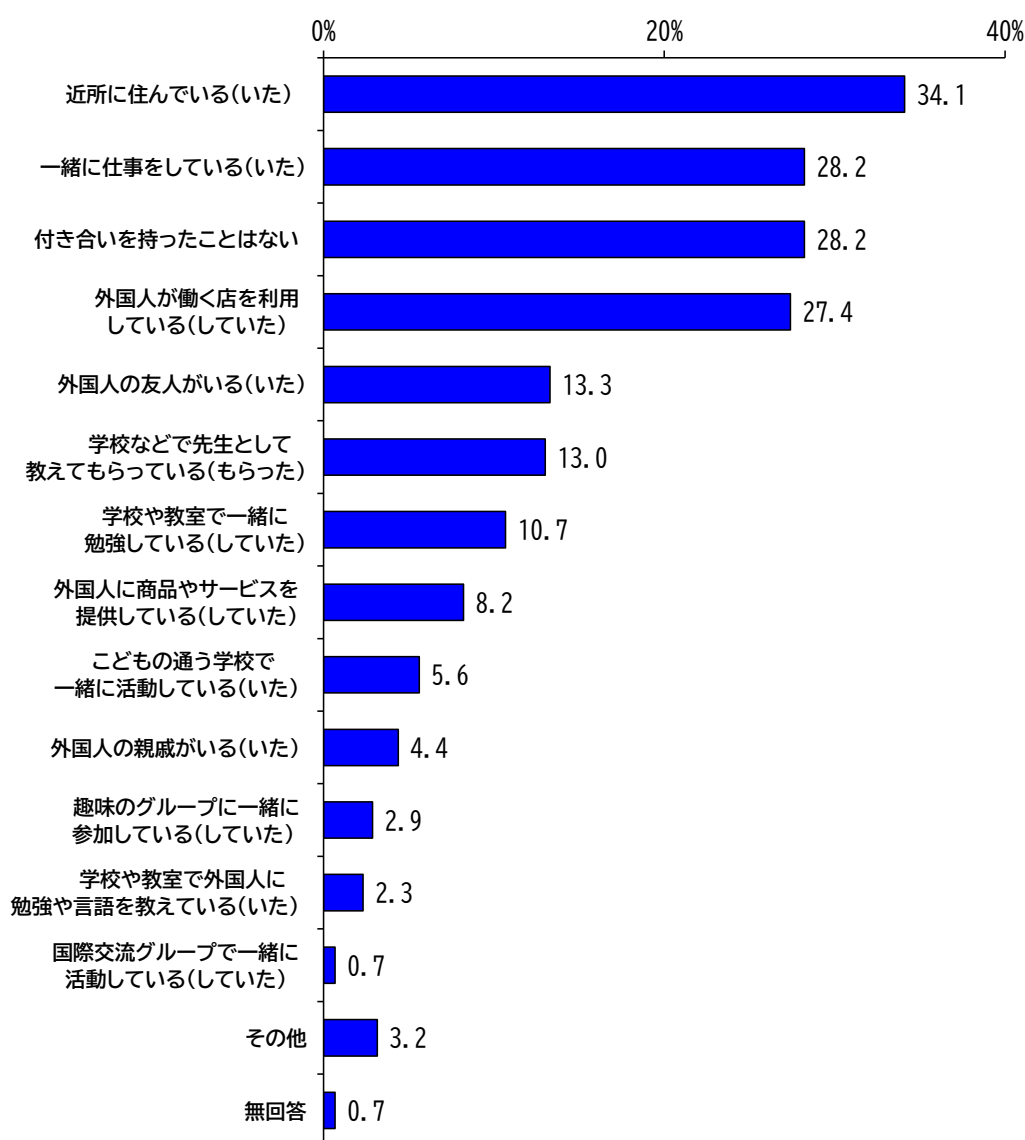
年齢は、「70 歳以上」が 27.1%と最も多く、次いで「50～59 歳」(19.9%)、「60～69 歳」(19.6%) の順と高齢層からの回答が多くなっている。また、「20 歳未満」が 3.7%となっており、わずかであるが 10 代からの回答もあった。



(3) 外国人との関わりについて

(質問) あなたの外国人との関わりについて、当てはまるものを選んでください。
(複数回答)

外国人との関わりについては、「近所に住んでいる(いた)」が 34.1%と最も多く、次いで「一緒に仕事をしている(いた)」と「付き合いを持ったことはない」が 28.2%、「外国人が働く店(飲食店等)を利用している(していた)」が 27.4%の順となっている。



n=730

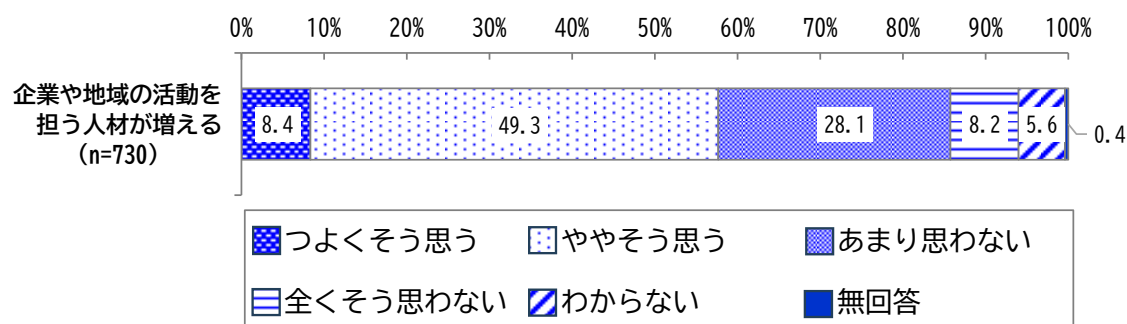
2. 外国籍市民の増加について

(質問) あなたは、外国籍市民が増えていることをどう感じますか。

(1) 企業や地域の活動を担う人材が増えることについて

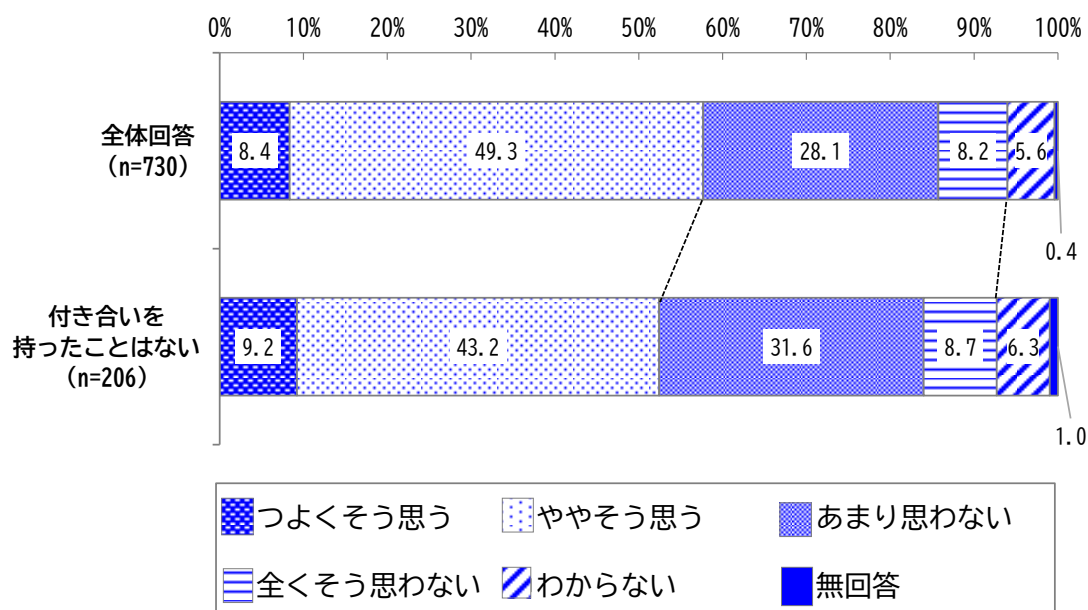
企業や地域の活動を担う人材が増えることについては、「思う」(「つよくそう思う」+「ややそう思う」)が57.7%となっている。

一方、「思わない」(「あまり思わない」+「全くそう思わない」)が36.3%となっており、「思う」と感じている人の方が多い。



【付き合いをもったことはない人との比較】

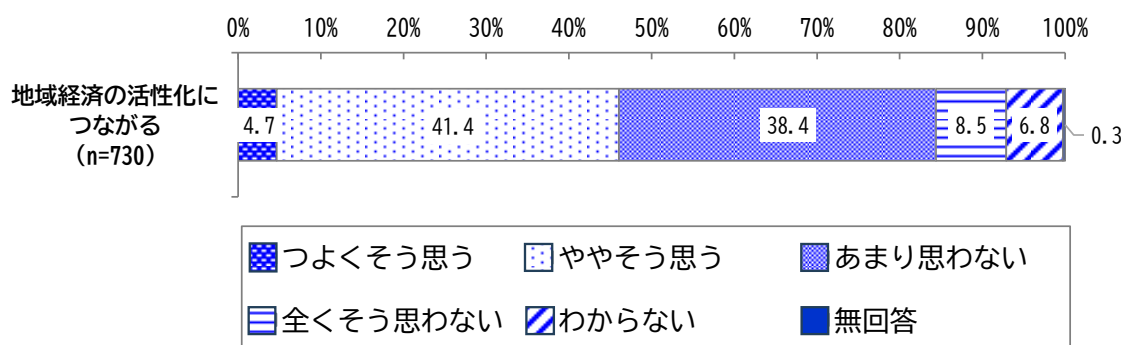
全体と比較すると、「付き合いを持ったことはない」は「思う」(「つよくそう思う」+「ややそう思う」)が、5.3ポイント少なくなっている。



(2) 消費が増え地域経済の活性化につながるについて

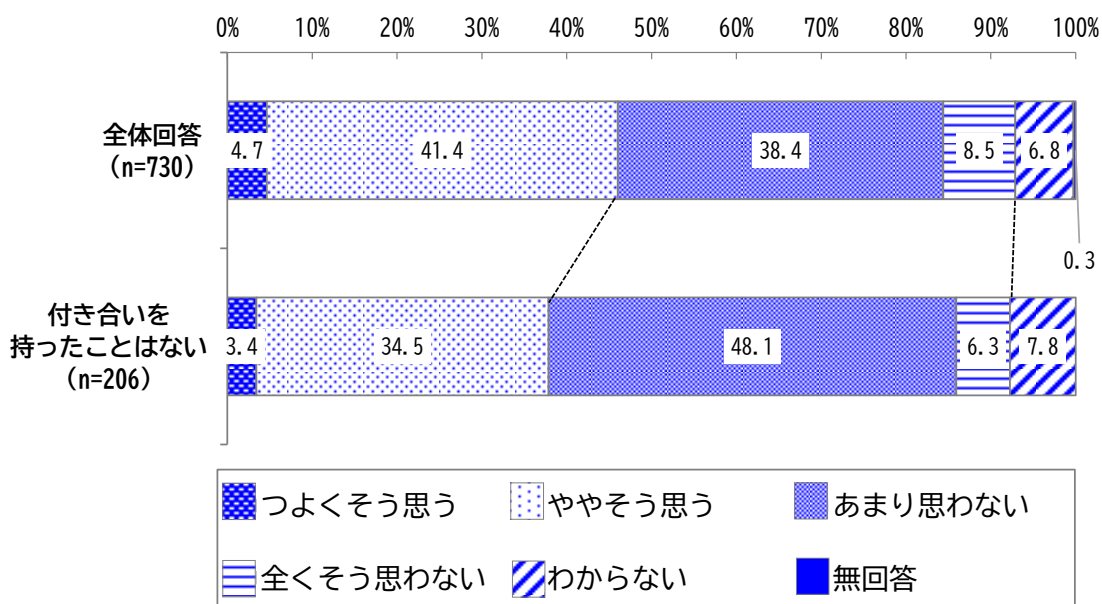
消費が増え地域経済の活性化につながることは、「思う」（「つよく思う」＋「やや思う」）が46.1%となっている。

一方、「思わない」（「あまり思わない」＋「全く思わない」）が46.9%となっており、「思う」と「思わない」が2分している。



【付き合いをもったことはない人との比較】

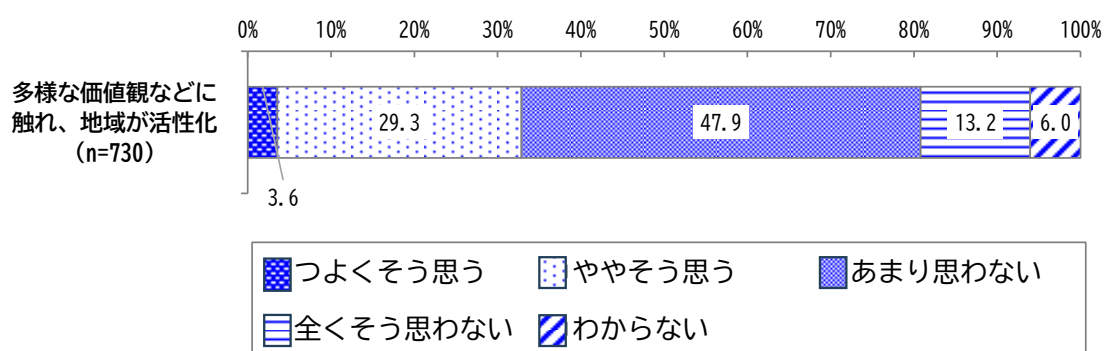
全体と比較すると、「付き合いをもったことはない」は「思う」（「つよく思う」＋「やや思う」）が、8.2ポイント少なくなっている。



(3) 多様な価値観や文化に触れる機会が増え地域が活性化することについて

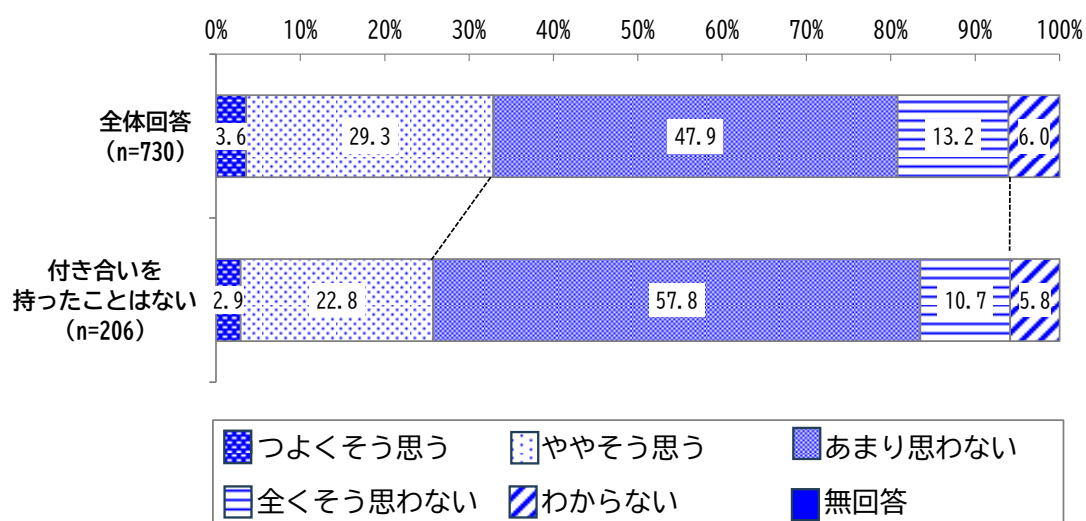
多様な価値観や文化に触れる機会が増え地域が活性化することについては、「思う」(「つよくそう思う」+「ややそう思う」)が32.9%となっている。

一方、「思わない」(「あまり思わない」+「全くそう思わない」)が61.1%となっており、6割以上が、「思わない」を選択している。



【付き合いをもったことはない人との比較】

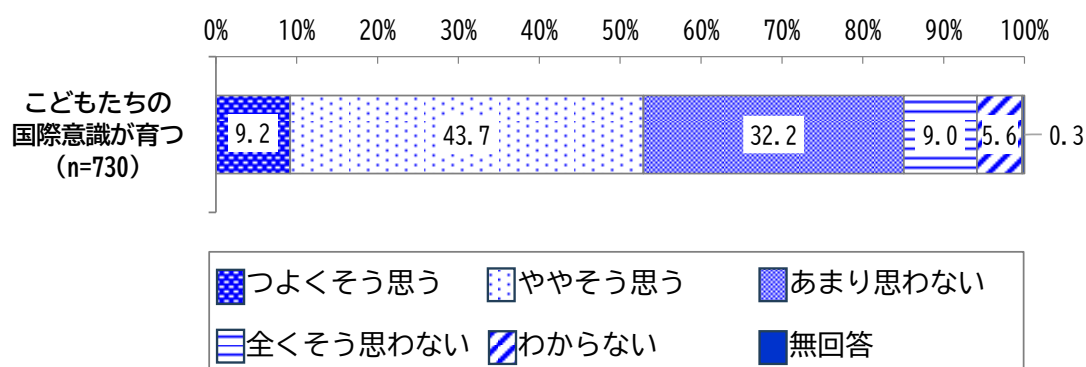
全体と比較すると、「付き合いを持ったことはない」は「思う」(「つよくそう思う」+「ややそう思う」)が、7.2ポイント少なくなっている。



(4) こどもたちの国際意識が育つことについて

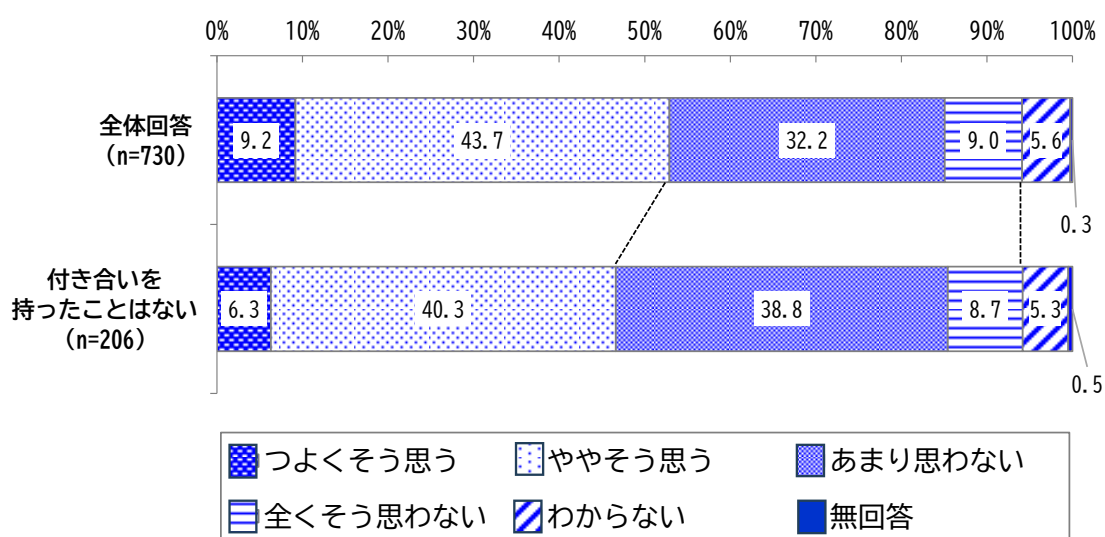
こどもたちの国際意識が育つことについては、「思う」（「つよくそう思う」＋「ややそう思う」）が52.9%となっている。

一方、「思わない」（「あまり思わない」＋「全くそう思わない」）が41.2%となっており、「思う」と感じている人の方が多い。



【付き合いをもったことはない人との比較】

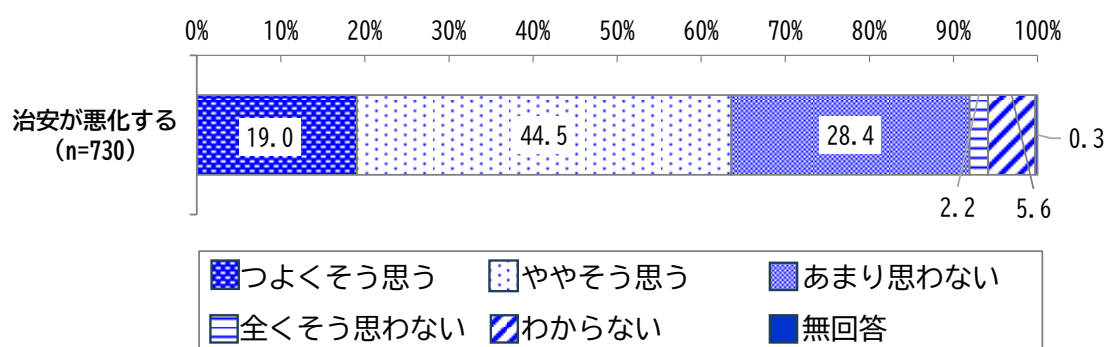
全体と比較すると、「付き合いを持ったことはない」は「思う」（「つよくそう思う」＋「ややそう思う」）が、6.3ポイント少なくなっている。



(5) 治安が悪化することについて

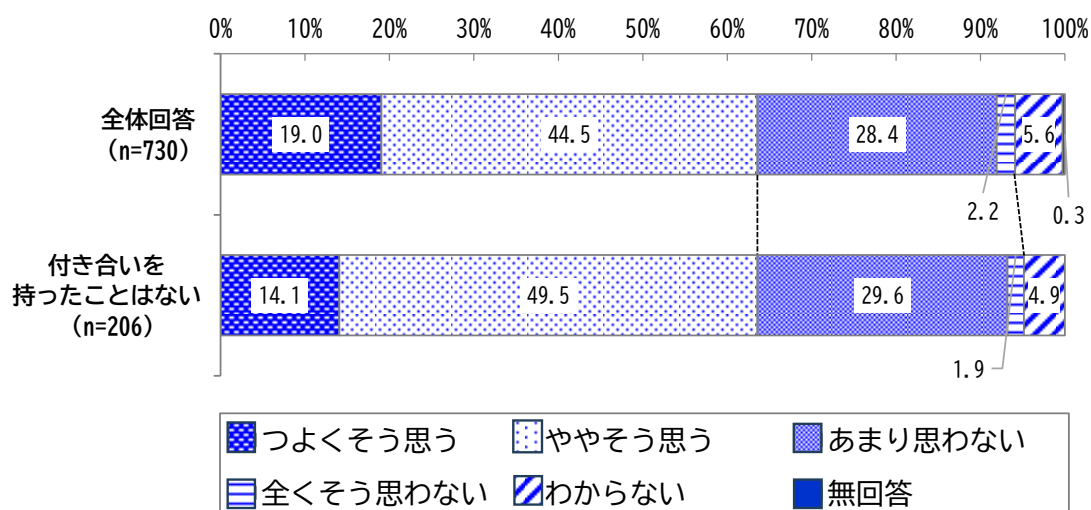
治安が悪化することについては、「思う」(「つよくそう思う」+「ややそう思う」)が63.5%となっている。

一方、「思わない」(「あまり思わない」+「全くそう思わない」)が30.6%となっており、「思う」と感じている人の方が多い。



【付き合いをもったことはない人との比較】

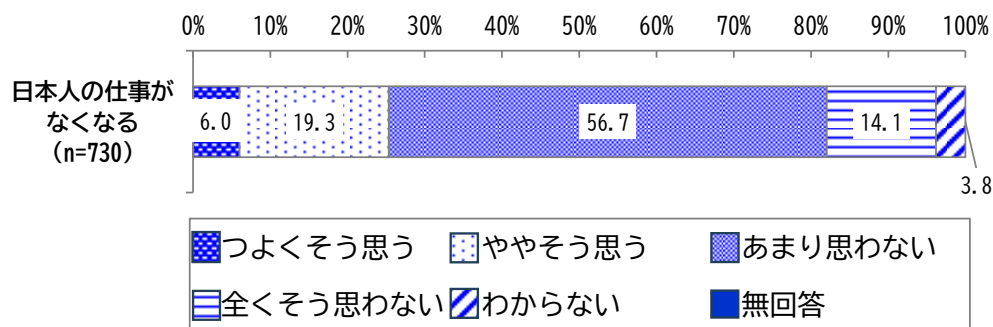
全体と比較すると、「付き合いを持ったことはない」の「思う」(「つよくそう思う」+「ややそう思う」)割合にほとんど差はない。



(6) 日本人の仕事がなくなることについて

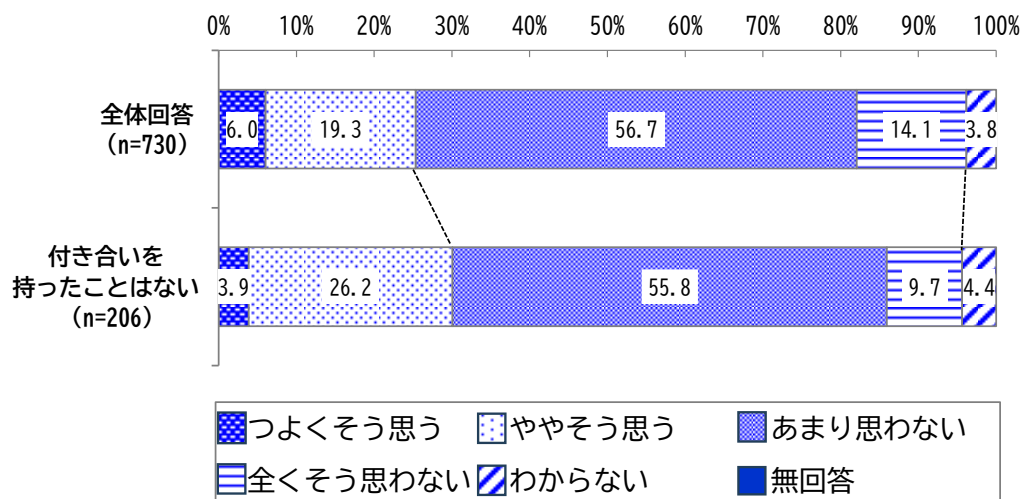
日本人の仕事がなくなることについては、「思う」(「つよくそう思う」+「ややそう思う」)が25.3%となっている。

一方、「思わない」(「あまり思わない」+「全くそう思わない」)が70.8%となっており、「思わない」と考えている人の方が多い。



【付き合いをもったことはない人との比較】

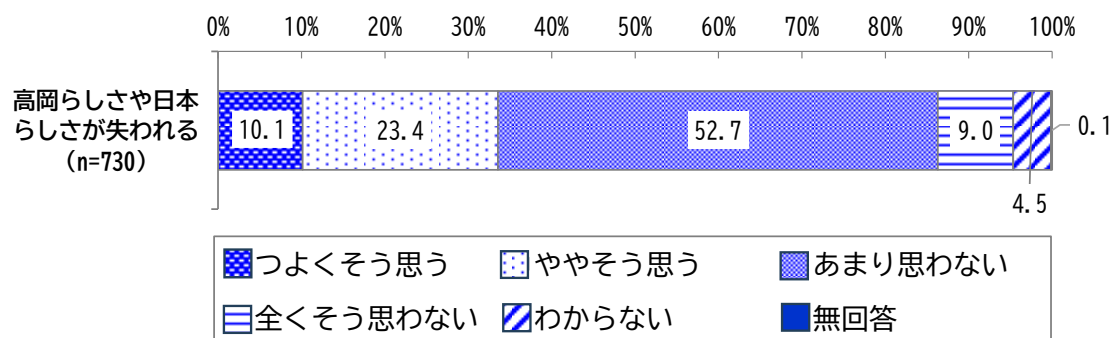
全体と比較すると、「付き合いを持ったことはない」は「思う」(「つよくそう思う」+「ややそう思う」)が4.8ポイント多くなっている。



(7) 高岡らしさや日本らしさが失われることについて

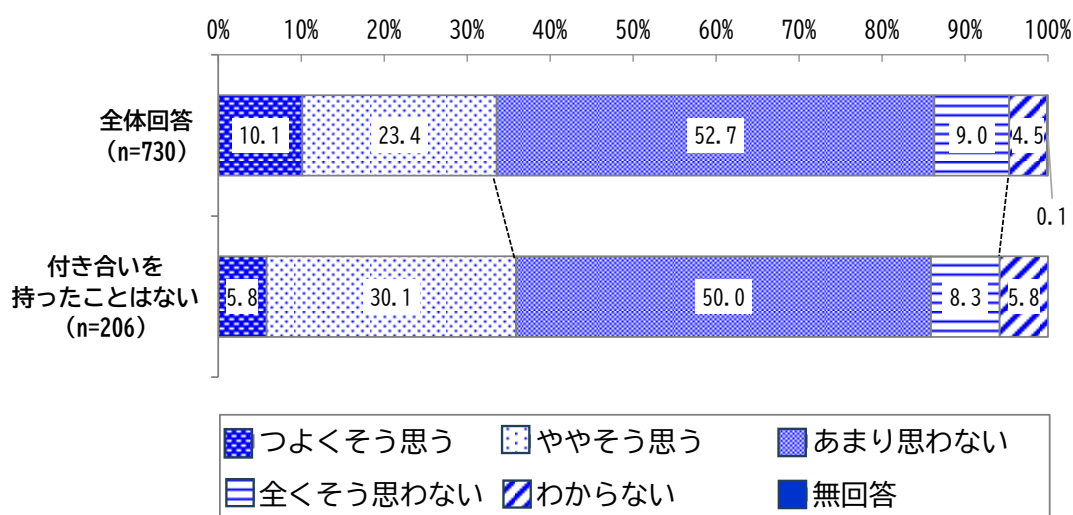
高岡らしさや日本らしさが失われることについては、「思う」(「つよくそう思う」+「ややそう思う」)が33.5%となっている。

一方、「思わない」(「あまり思わない」+「全くそう思わない」)が61.7%となっており、「思わない」と考える人の方が多い。



【付き合いをもったことはない人との比較】

全体と比較すると、「付き合いを持ったことはない」は「思う」(「つよくそう思う」+「ややそう思う」)が2.4ポイント多くなっている。

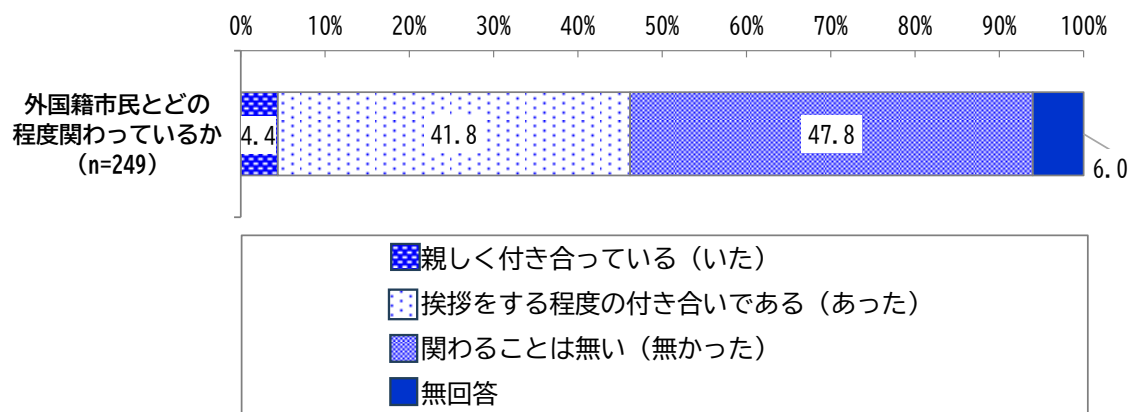


3. 外国籍市民の地域参画について

(1) 近所に住む外国籍市民との関わりについて

(質問) 外国人との関わりを尋ねる質問で、「3. 近所に住んでいる(いた)」を選択した方に伺います。
近所に住む外国籍市民と、どの程度関わっていますか。(いましたか。)

近所に住む外国籍市民との関わりについては、「関わることは無い(無かった)」が47.8%と最も多く、次いで「挨拶をする程度の付き合いである(あった)」41.8%の順となっている。

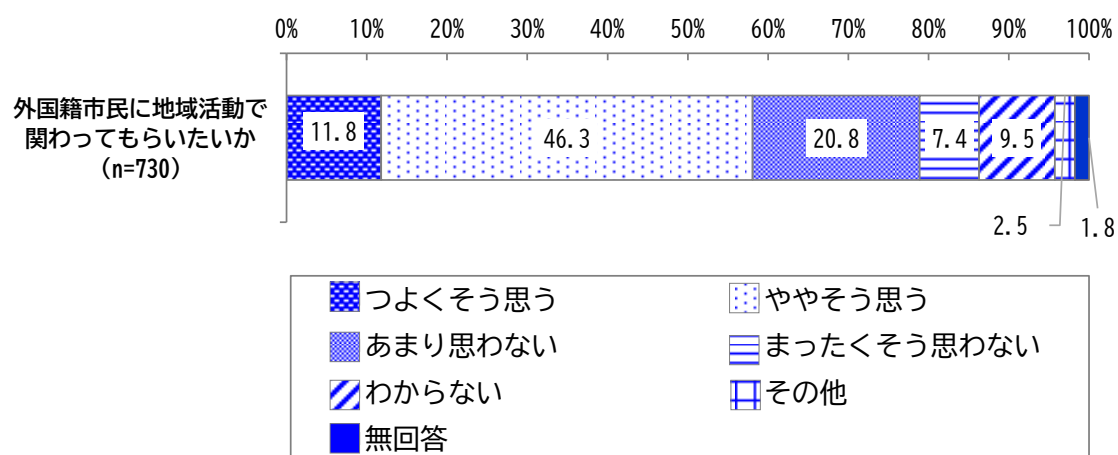


(2) 地域活動への関わりについて

(質問) 今後、人口減少が進む中で、外国籍市民に、地域活動（祭礼行事、防犯、清掃など）により関わってもらいたいと思いますか。

地域活動への関わりについては、「思う」（「つよく思う」＋「やや思う」）が 58.1%となっている。

一方、「思わない」（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）が 28.2%となっており、6割近くが関わってもらいたいと考えている。

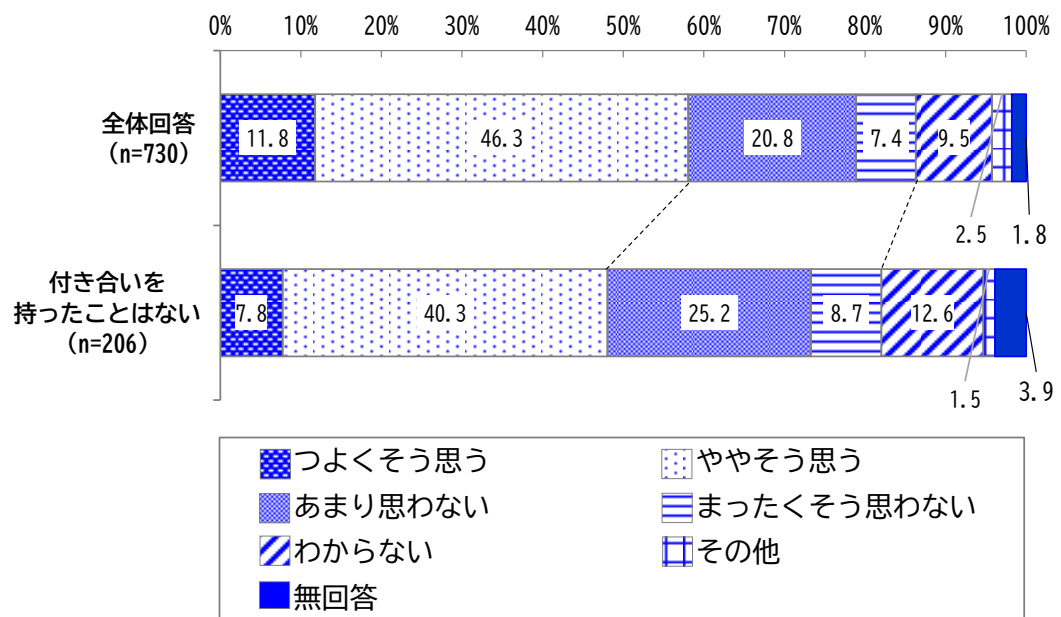


「その他」の主な回答

- ・長期にわたって居住する外国籍の市民には、関わってもらいたいと思う。
(70 歳以上)
- ・国籍に関わらず人間性による。やる気のある人が参加するなら問題ない。信頼できるかは、時間をかけて一緒に何か活動しないとわからないので、地域活動はその機会になると思う。(40 歳代) など

【付き合いをもったことはない人との比較】

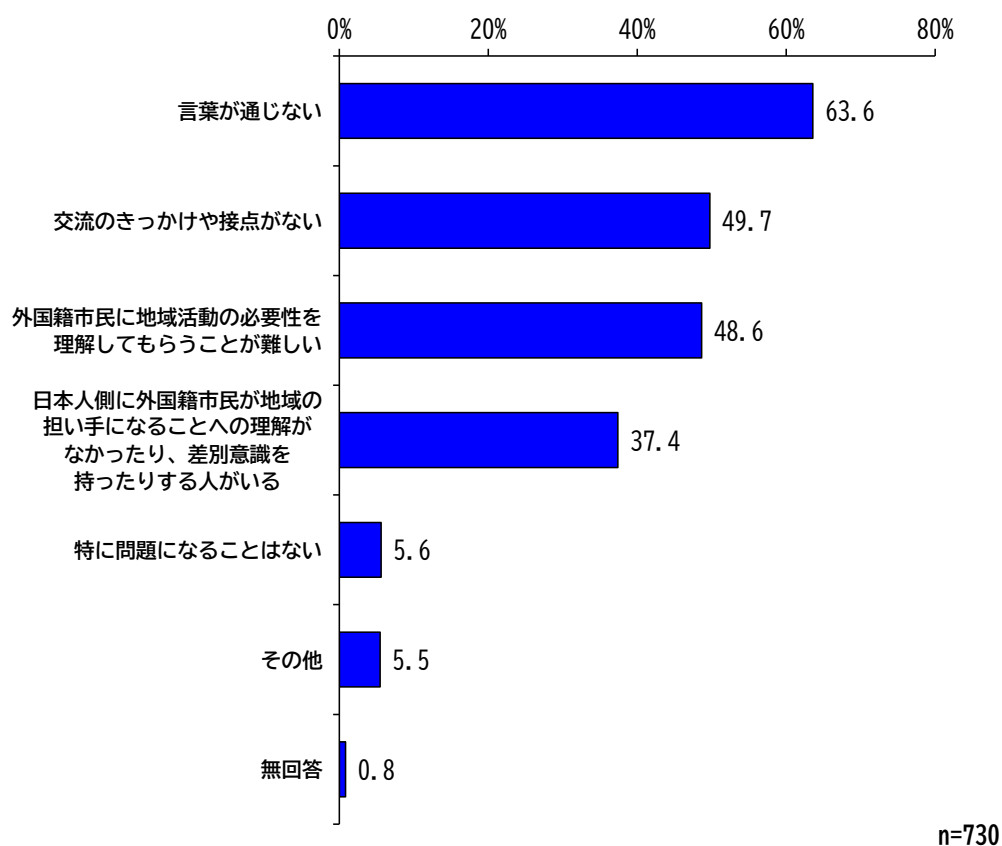
全体と比較すると、「付き合いを持ったことはない」は「思う」（「つよく思う」＋「やや思う」）が、10.0ポイント少なくなっている。



(3) 地域の担い手として活躍してもらうための課題

(質問) 外国籍市民が、地域の担い手として活躍してもらうために、どのようなことが課題だと思いますか。(複数回答)

地域の担い手として活躍してもらうための課題は、「言葉が通じない」が 63.6%と最も多く、次いで「交流のきっかけや接点がない」が 49.7%、「外国籍市民に地域活動の必要性を理解してもらうことが難しい」が 48.6%の順となっている。



「その他」の主な回答

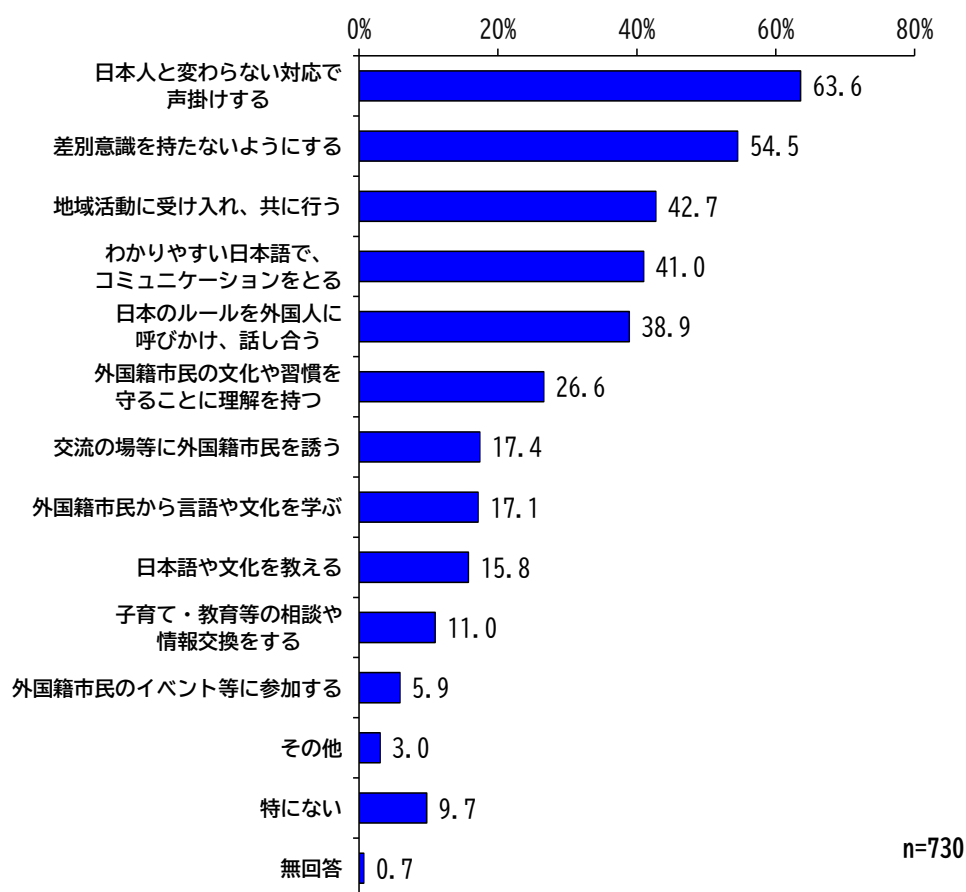
・間に入ってサポートの役回りができる人が少ないことが課題だと思います。
(20 歳未満)

など

(4) 外国籍市民とともに暮らしやすい社会にするためにできること

(質問) 日本の人口減少に伴い、外国人人口の割合は更に増えていくと予測されています。地域を外国籍市民とともに暮らしやすい社会にするため、あなた自身ができることを選んでください。(複数回答)

外国籍市民とともに暮らしやすい社会にするためにできることは、「挨拶など、日本人と変わらない対応で声掛けする」が 63.6%と最も多く、次いで「外国籍市民に対する差別意識を持たないようにする」が 54.5%、「地域活動に参加する外国人を受け入れ、共に行う」が 42.7%の順となっている。



「その他」の主な回答

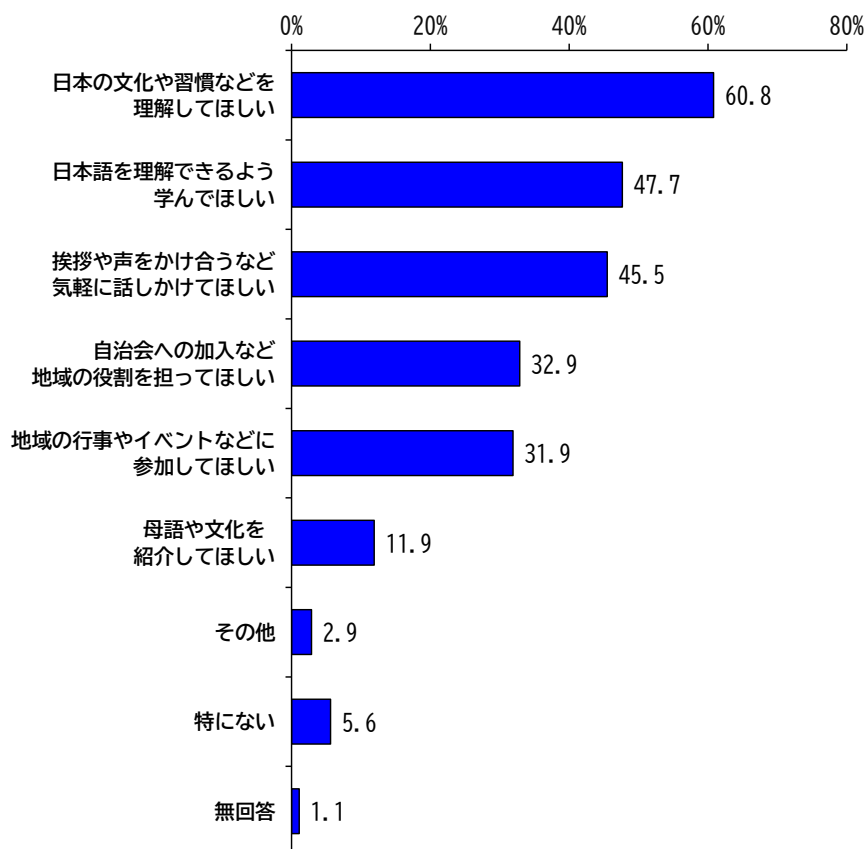
・交流して折り合いをつけること。(60 歳代)

など

(5) 住みやすいまちづくりのために、外国籍市民にしてほしいこと

(質問) 外国籍市民とともに住みやすいまちづくりのために、外国籍市民には何を
してほしいと思いますか。(3つまで)

住みやすいまちづくりのために、外国籍市民にしてほしいことは、「日本の文化や習慣
などを理解してほしい」が 60.8%と最も多く、次いで「日本語を理解できるよう学んで
ほしい」が 47.7%、「挨拶や声をかけ合うなど気軽に話しかけてほしい」が 45.5%の順と
なっている。

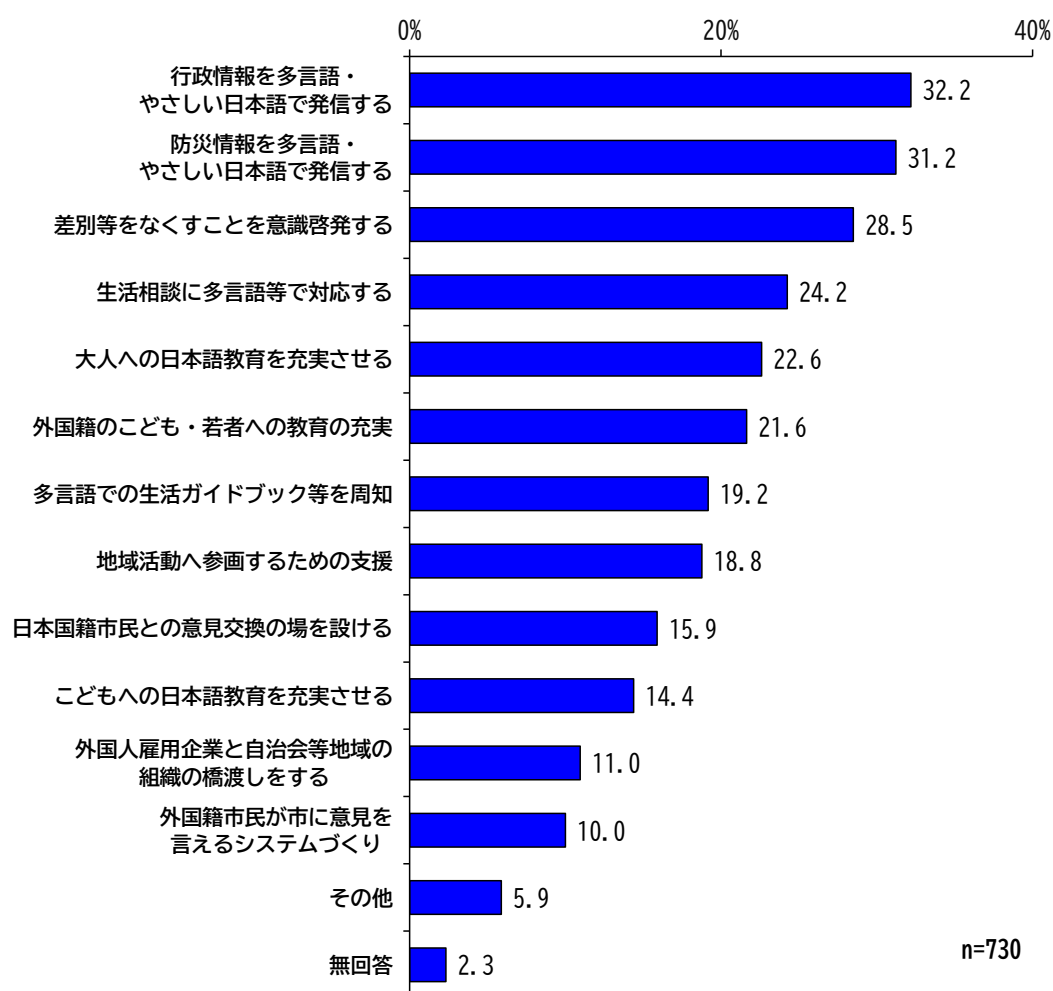


n=730

(6) 外国籍市民とともに暮らしやすくしていくために高岡市のすべきこと

(質問) 日本人と外国籍市民がともに暮らしやすい社会にしていくために高岡市は何をしたら良いと思いますか。(3つまで)

外国籍市民とともに暮らしやすくしていくために高岡市のすべきことは、「行政情報を多言語や、やさしい日本語で発信する」が 32.2%と最も多く、次いで「緊急時に防災情報を多言語や、やさしい日本語で発信する」が 31.2%、「偏見・差別をなくすことを目的とした意識啓発」が 28.5%の順となっている。



「その他」の主な回答

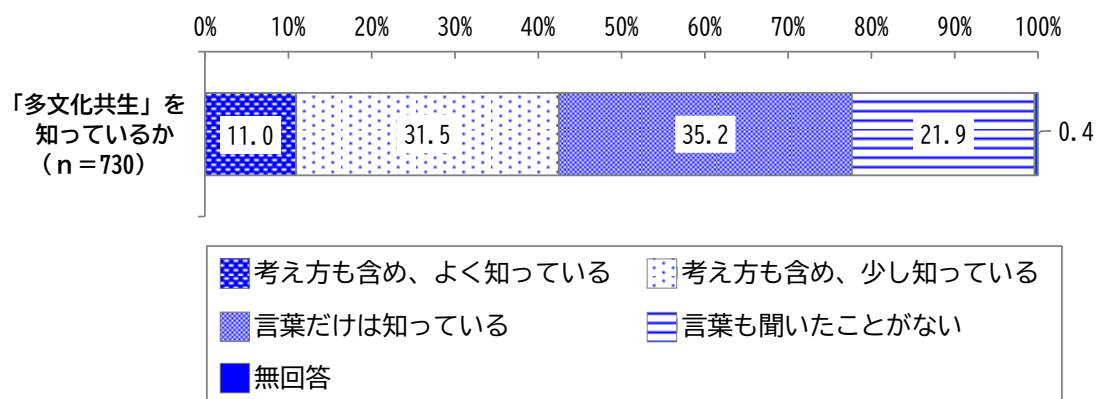
- ・相談先を分かりやすくすること。(50 歳代)
- ・どんな外国籍の人が住んでいるのかわかるようにしてほしいです。(70 歳以上)
- ・日本国籍市民と外国籍市民は、違うこともきちんと発信する。(60 歳代)
- ・日本人からの話も聞いて解決につなげる相談窓口が必要だと思います。(70 歳以上)

4. 用語について

(1) 多文化共生について

(質問)「多文化共生」という言葉・考えを知っていますか。

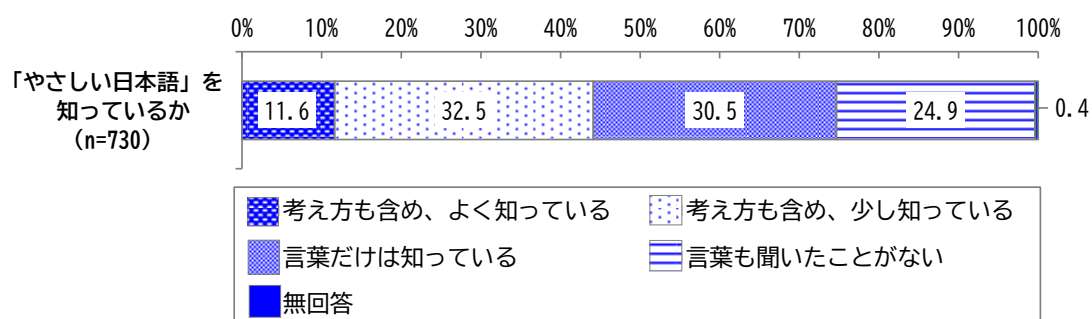
「多文化共生」という言葉・考えについては、「言葉だけは知っている」が 35.2%と最も多く、次いで「考え方も含め、少し知っている」が 31.5%、「言葉も聞いたことがない」が 21.9%の順となっており、「考え方も言葉も知っている人」(「考え方も含め、よく知っている」+「考え方も含め、少し知っている」)が 42.5%となっている。



(2) やさしい日本語について

(質問)「やさしい日本語」という言葉・考え方を知っていますか。

「やさしい日本語」という言葉・考え方については、「考え方も含め、少し知っている」が32.5%と最も多く、次いで「言葉だけは知っている」が30.5%、「言葉も聞いたことがない」が24.9%の順となっており、考え方も言葉も知っている人（「考え方も含め、よく知っている」+「考え方も含め、少し知っている」）が44.1%となっている。



5. その他、ご意見

高岡市の多文化共生に向けての主なご意見	年代
・日常生活や災害時においては、言語の違いや文化の違いによる情報不足が、外国人住民のみならず地域全体の混乱につながる恐れがあります。行政情報については、多言語対応に加えてやさしい日本語を活用した分かりやすい情報発信を充実させる事が有効と考えます。ゴミ出し、防災、医療、学校案内など生活に直結する情報を整備していただきたいと思います。	50歳代
・「やさしい日本語」は多国籍の人たちだけではなく、全ての人たちにとって、よりよいことだと思います。（日本人にも）	70歳以上
・外国籍市民の現状をより分かりやすく市民に発信していただき、相互理解の一步として語学学習支援と高岡市の歴史、産業、文化のオリエンテーションを充実してもらいたいです。そのための市民の参加に協力していきたいです。	30歳代
・外国人がよく訪れる職場でサービス業をしていますが、文化や習慣の違いのせいか迷惑をかけられる事がよくあります。認め合い共生していく事は時間もかかり、お互い努力が必要だと思いますが、これからの日本には必要な事だと思います。	50歳代
・高岡御車山の曳き手に外国籍の人に参加いただく。外国籍の人に自国のことばや文化を伝えてもらう場をつくるなど、相互理解が必要だと思います。	60歳代
・高岡は外国人との接触経験の少ない地域だと思うので、外国人に対する違和感を取り除く行政計画施策が必要だと思います。そこを省いて外国人受け入れを急ぐと、閉鎖的な考えの多いこの地域ではいろいろな軋轢が生じると思います。	70歳以上
・差別まで届かないまでも「無知」「無視」が現状ではないでしょうか。多文化共生とは、「日本人があたたかくやさしく」と口にしては始まりません。異なる背景を持つ他人との出会いを通じて、自分自身の中にある差別心や傲慢さを問い直し、共に人間として生きることです。制度やルール作り、アンケートも大切ですが、「共に生きる」という言葉の深い敬意と共感の土壌を育む日本人の方の教育も大切なのではないかと思います。	50歳代
・私の外国人へのイメージは悪いです。それは悪いイメージを持つニュースをよく見るからです。良い人もいると思うので、活躍などを紹介してみてもどうでしょうか。	30歳代
・知らない間に外国人が町内に住んでいたりして驚かされます。自治会等がしっかり把握して住民に周知しないと、誤解が生じたり、トラブルの元にならないかと不安です。	60歳代
・言葉の壁を低くすることが、お互いの暮らし易さへの第一歩だと思うので、難しい専門用語を避けてわかり易く地域の情報やルールが発信されるといいと思います。	50歳代
・夕方に外国籍の人が集まっていると、ちょっと怖いです。どこにどれだけの外国籍の人がいるのか、どの企業がどれだけ外国籍の人を雇用しているのか知りたいです。	60歳代
・高岡市民が制度を整えるだけでなく、外国籍の方々も日本の生活様式やマナーを学び、自立して社会に貢献しようとする姿勢が重要だと思います。今後は、単なる「援助」の段階から、お互いに権利と義務を尊重しあい、対等な立場で交流を深める段階へシフトしていくことを期待します。	50歳代
・日本で暮らす外国籍の方々が母国の習慣、文化、考えなど尊重しつつ、可能なところは、高岡市での暮らし方に合わせていくことが、多文化共生につながることも多いかと思います。そのためにも、多くの人が関わることができるよう身近なイベントなどを通して交流の場が増えればよいかと思います。例えば、高岡に暮らす外国人、それぞれの国の料理を出すお祭りなどで文化交流し、お互いの理解を深める機会を作るなど。	60歳代

高岡市の多文化共生に向けての主なご意見	年代
・どんなことをやるにも、まずは相手の思いを先に確認して行えばよいのでは。外国の人たちの気持ちを知って孤独を少しでも減らしてあげて下さい。そして、しっかりと市民に情報を伝えて下さい。情報を伝え、わかりやすい方法で発信してほしいです。	40歳代
・日本に生活するのであれば、例えば、ゴミの出し方とか、理解してルールに則って出してほしいです。	50歳代
・日本人同士でも言えることですが、先住民が守ってきたことや、大切にしてきたことを壊さず、ルールを守ってくれる外国人であれば共生できると思います。	70歳以上
・交流・親睦を図るには、まず第一にあいさつ。皆が普通にでき、普通に出てくる言葉になるのが大切だと考えます。日本人でも皆が本当に出来ているか不安です。	70歳以上
・やはり、人口減少にともない、日本人だけで解決できない事が多く出てきています。それには外国人の力が必要だと思います。	70歳以上
・70歳代の自分にとって、今後外国籍の方々に出会え、会話できる機会があるならば是非お互いを理解して接したいと思います。	70歳以上
・日本人、外国人と関係なくお互いを思いあい、あたりまえに共生できる社会にしてほしいです。日本人だけに利益があったり、外国人にだけ利益があったりする社会でなく、対等で平等な社会になっていきたいです。	20歳未満
・ミャンマーの方と仕事をしていますが、とても努力家で日本に来てから自動車の免許をとられたり、漢字を勉強されたりし、言葉の意味を問われたり、頑張っておられます。私達は逆にミャンマーの文化などを聞き、とても良い機会を得ています。	70歳以上
・共生というのはただ優しく相手を受け止めることだけではないと思います。何故日本に来て、何をしたいのかについてははっきりすることも大切ですし、日本に住むときに必要なことは、伝えることが大切だと思います。「扱い易い人」ではない「良好な関係をつくれる人」になるには、ということが大切なのだと思います。	50歳代
・日本でのルールは守っていただきたい。そうしてくださるのなら、地域交流などを通して歩みよれると思います。外国の文化にも触れてみたいです。	30歳代
・日本人が気を遣う世の中になっていくのが怖いです。差別をしているわけではありませんが、とにかく日本じゃなくなるような気がします。	40歳代
・日本（地域）のルールを守ってもらいながら、外国人の事も理解し認めていき、互いにメリットのある様にしていけばよいと思います。	60歳代
・国籍、民族等を意識しないで、誰もが安心して暮らしていくことができる社会になれば良いと思います。	60歳代
・多文化共生という考え方は不要だと思います。ましてや、行政が多文化共生を目的に税金を使って活動することに反対です。	60歳代
・市民講座(無料)での、やさしい日本語、やさしい英語を学ぶ場があれば参加してみたいです。	60歳代
・外国人と接点がないので良い案がありません。外国人を雇っておられる会社やお店では、日本人と外国人との関係はうまくいっているのでしょうか。会社やお店の方には大変負担が大きいのですが、そこから良い輪ができてくると、接点のない私たちも良い輪が広がっていくのではないのでしょうか。	50歳代
・外国籍だけでなく日本人同士であっても多文化共生だと思うので、お互いが認めあえる文化となることこそ願っています。	50歳代

高岡市の多文化共生に向けての主なご意見	年代
・少子高齢化が進み、働き手や地域の担い手が減少していることは、暮らしやすいまちづくりから遠ざかる原因になります。お互いの考えや習慣を理解しながら、犯罪が起きないように共に生きていける社会になればと思います。	60歳代
・高岡市に住み、働いている外国籍の人達が毎日の暮らしの中で、今どんなことに困っているのか、どんな風に思っているのか、まずはしっかりと生の声を集めて現状を知ることが大事だと思います。それらを行政側だけでなく、私達市民にも伝えて欲しいです。共に協力しあって暮らしやすい高岡市になればと思います。	70歳以上
・労働力が足りないので、海外の方に働いてもらっている。感謝して、対応した方がよいと思います。	50歳代
・個人の文化は尊重しますが、日本の文化を守るため、学んで理解し、継承してほしいとも思います。	50歳代
・お互いにコミュニケーションをとるために言語理解が不可欠だと思います。日常会話ができるレベルの日本語取得機会を多く設けることが大切だと思います。	60歳代
・オーバーツーリズム対策とはいえ、国主導での「外国人料金」導入問題など、どうしても排他的な思想が根底に見えるような政策は個人的には歓迎しません。「外国人から多くお金を取ればいい」という考え方が子どもたちの世代にも浸透するのは、いずれ世界へ出て自らが「外国人」の立場となったとき、あまりいい気持ちがしないのではないかと思います。高岡市には、住民レベルでボーダレスな輪が広がるような施策の展開を期待しております。	40歳代
・日本の歴史、文化等をゆっくりと理解してもらい、ゆっくりと教えてあげたい。	70歳以上
・外国籍市民の地域での疎外感を感じます。自治会などへの加入を促すように外国籍市民を優しく誘導したり、地域での祭事に参加しやすくしたりするなど、高岡市が外国籍市民の地域での立ち位置を確立するべきだと思います。	20歳未満
・元々住んでいる日本人に、我慢を強いるようなことはしないでほしいです。外国人を優遇するのではなく、日本人と平等に対応してほしいです。	40歳代
・まずはご近所さん意識で。言葉は二の次だと思います。お互いが近づけば大丈夫だと思います。お互いさまです。	70歳以上
・子どもの小学校にも外国出身の子どもが通っていたり、家族で住んでいる家を見ることがありますが、基本的に関わりがありません。お互いの生活文化を学べるイベントや機会があれば接しやすくなるかと思います。	30歳代
・外国人に日本での暮らしのルールを随時紹介するよう、企業や地域に働きかけて欲しいです。	40歳代
・外国籍の方を減らせとは考えていませんが、外国籍の方のために、本来提供すべき日本人に向けたサービスが悪化する事は本末転倒であると考えます。	40歳代
・言語に対しては、翻訳機能のアプリもありますし、活用の仕方により外国人のコミュニケーションにも理解は深められると思います。AIも進んでいますし、活用の仕方により、役に立つのではないのでしょうか。市役所など外国の人が相談にくることが多い所で母国語で意見を投稿してもらい、それを翻訳機能で内容を確認し、外国人の意見を知るところから考えてみるような、地道な理解を深めることも必要ではないかと思います。	50歳代
・交流の場を設けることや、近所に住んでいる場合は、自治会に参加してもらい信頼関係を築くことが大切だと思います。	20歳未満

高岡市の多文化共生に向けての主なご意見	年代
・みんなで作り上げていく地域なので、活動にも関わって貰いたいが、世代によっては外国籍に対して変な偏見を持っている人がいたり、地域の文化を一方的に押し付けるのも違うと感じます。互いに共生していく地域を作るためには、互いの価値観も知る必要があると思います。	20歳代
・個人単位ではなく、地域との繋ぎ役を担う人を介する事が必要だと思います。	40歳代
・外国籍の方々の犯罪などが心配です。高岡市においては、治安が悪くならないような町になって欲しいです。	60歳代
・自分が外国で生活することを想像して、相手の気持ちを考え、偏見を捨てて、同じ市民だと強く意識する。時間がかかるが、老人、中年、若人全員が、外国人を意識せずに、同じ市民と考える事が必要。日本国内でも、地域によって違いがあるのだから、外国人の考えが違うのは、当たり前です。	60歳代
・高岡市における多文化共生の推進にあたっては、生活支援や情報提供にとどまらず、地域経済の担い手として外国人住民を位置づける視点が重要と考えます。特に中小、小規模事業者においては人材確保が喫緊の課題であり、就労・日本語教育・地域参加を一体的に支援する仕組みが求められます。市民としても、行政・教育機関・地域と連携し、相互理解を深める実践的な取り組みに協力していきたいと思います。	40歳代
・交通ルールを教える。	70歳以上
・昨今、世界中で移民問題がある中で安易に外国人を受け入れる事には大反対です。とくに、犯罪の増加や宗教の問題を危惧しております。日本に住む日本人が我慢を強いられる事が絶対ないようにして欲しいです。ただ、日本に来る外国人が全て悪いわけではなく、しっかり日本のルールを守り文化をリスペクトしてくださる方は来てもらっても結構です。	50歳代
・他文化共生の推進という考え方は理解できますが、その達成のために町内会自治会など地元で過大な人的負担を求めるのは勘弁していただきたいと感じています。	60歳代
・外国人が日本で暮らす時は日本のルールを守って欲しいです。外国の子どもが落ちこぼれにならないようにして欲しいです。	50歳代
・交流会で楽しみながらお互いを知ることから始めて、その土地に馴染みたいと思ってくれることが第一に大事のように思います。	60歳代
・基本的な日本語を理解し片言でもよいので話せるような日本語教育の場を作ることが必要だと思います。日本語を話せることで交流も広がると思います。	70歳以上
・外国籍の人は日本、高岡に入れないでください。日本の文化やルールを守ってくれる外国籍の方ならまだしも、日本にいるというのにその文化を理解せずルールも守らず、自分の国の文化を他国に押し付けるような人と共生なんてしたくありません。日本の言語を学ぼうとする姿勢も見せず、自分の国の言葉で押し通そうとしてくる人もいるので大変迷惑です。	20歳未満
・自治会活動などに参加してもらい、住民の一員であるという自覚を双方が持つ。一緒に活動する楽しい経験を持つ。得意とすることを活かせる場を設ける。	70歳以上
・お互いが住みやすい環境、場所になれば良いと思います。	20歳未満

資料 アンケート調査票

IV. 資料 アンケート調査票

1. 外国籍市民向けアンケート

※質問、回答は全てWEBにて実施

問1. 性別

1. 男性 2. 女性 3. その他

問2. 年齢

1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳
4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳
7. 70歳以上

問3. 国籍

1. ブラジル 2. 中国 3. フィリピン
4. インドネシア 5. ベトナム 6. ミャンマー
7. ネパール 8. パキスタン 9. 韓国
10. インド 11. その他（ ）

問4. 在留資格

1. 定住者 2. 永住者 3. 日本人の配偶者等
4. 永住者の配偶者等 5. 技能実習 6. 特定技能
7. 技術・人文知識・国際業務 8. 家族滞在
9. 留学生 10. その他（ ）

問5. あなたの居住地域番号を入力してください。居住地域番号は、封筒の表のあなたの名前の下に書いてあります。封筒が手元に無く分からない場合は、住んでいる町の名前を入力してください。番地は不要です。

居住地域番号または住んでいる町の名前（ ）

問6. あなたは日本で生まれましたか。

1. はい ➡ 問7へ 2. いいえ ➡ 問8へ

問7. 日本で生まれた方にお聞きします。日本で生まれたのは何年ですか。

西暦（ ）年 ➡ 問9へ

問 8. 日本で生まれていない方にお聞きします。日本に住み始めたのはいつですか。
西暦（ ）年

問 9. 日本には、これまで合計で何年間住んでいますか。（ ）年間

問 10. 高岡市には、これまで合計で何年間住んでいますか。（ ）年間

問 11. あなたの現在の就業・通学状況を教えてください。
(※自分にとって最もあてはまるものを一つ選択してください)

1. 雇われている(正社員)
2. 雇われている(派遣社員・契約社員などのフルタイム労働者)
3. 雇われている(アルバイト・パートタイマーなどの短時間労働者)
4. 雇われている(上記以外の雇用形態)
5. 経営者(人を雇っている)
6. 自営業(一人で仕事をしている)
7. 学生
8. 家事
9. 仕事をしていない(探している)
10. 仕事をしていない(高齢等の理由で探していない)

問 12. 問 11 で 1. ～ 6. を選択した方は、どんな仕事をしていますか。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 農業・林業・漁業 | 2. 鉱業・採石業・砂利採取業 |
| 3. 建設業 | 4. 製造業(金属製品) |
| 5. 製造業(食品加工) | 6. 製造業(プラスチック加工) |
| 7. 製造業(機械製造) | 8. 製造業(その他) |
| 9. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 10. 情報通信業 |
| 11. 運輸業・郵便業 | 12. 卸売業・小売業 |
| 13. 宿泊業・飲食サービス業 | 14. 生活関連サービス業・娯楽業 |
| 15. 教育・学習支援業 | 16. 医療福祉 |
| 17. 公務 | 18. その他 |

問 13. あなたは、どんな家に住んでいますか。

1. 会社の寮又は会社が指定した賃貸住宅
2. 自分で選んだ民間賃貸住宅
3. 公営住宅(県営・市営)
4. 持ち家

- 5. 親戚など知り合いの家
- 6. その他

問 14. あなたは、誰と一緒に住んでいますか。(いくつでも)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 外国籍の夫、妻、パートナー | 2. 日本籍の夫、妻、パートナー |
| 3. 外国籍の子ども | 4. 日本籍の子ども |
| 5. 外国籍の父、母 | 6. 日本籍の父、母 |
| 7. 外国籍の祖父母 | 8. 日本籍の祖父母 |
| 9. 外国籍の兄弟姉妹 | 10. 日本籍の兄弟姉妹 |
| 11. 外国籍の友人 | 12. 日本籍の友人 |
| 13. 外国籍の、同じ会社の人 | 14. 日本籍の、同じ会社の人 |
| 15. 1人で住んでいる | 16. その他 |

問 15. あなたが、高岡市に住むことになった、きっかけは何ですか。

- 1. 仕事のため
- 2. 高岡市で生まれたから
- 3. 家族や親戚が住んでいたから
- 4. 知り合い、友人がいたから
- 5. 高岡市の人と結婚したから
- 6. 生活が便利だから
- 7. 安全だから
- 8. その他 ()

■あなたは、日常生活や仕事においてどのくらい日本語を使えますか。

問 16. 日本語での会話

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ完全にできる | 2. わりとできる |
| 3. あまりできない | 4. まったくできない |

問 17. ひらがな・カタカナを読む

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ完全にできる | 2. わりとできる |
| 3. あまりできない | 4. まったくできない |

問 18. 漢字を読む

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ完全にできる | 2. わりとできる |
| 3. あまりできない | 4. まったくできない |

問 19. 日本語を書く

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ完全にできる | 2. わりとできる |
| 3. あまりできない | 4. まったくできない |

問 20. 日本語を勉強したことがありますか。(いくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. ない | 2. ある(来日前) |
| 3. ある(学校や地域の日本語教室) | 4. ある(働いているところの学習教室) |
| 5. ある(自分で勉強) | 6. ある(その他) |

問 21. 日本語を学びたいと思いますか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 今学んでいる | ➡ 問 22 へ |
| 2. これから学びたい | ➡ 問 22 へ |
| 3. 今後学ぶ気はない | ➡ 問 23 へ |

問 22. 問 21 で「今学んでいる」「これから学びたい」を選んだ人は、次のうち、最も当てはまると思う理由を選択してください。

1. 仕事のため
2. 日本人と交流するため
3. 日本に住むほかの外国人との共通語として使用するため
4. 日本語検定に合格するため
5. 生活で困らないため
6. 趣味・教養のため
7. その他 ()

問 23. 普段、どうやって生活に必要な情報を得ますか。(いくつでも)

1. 新聞、雑誌
2. テレビ、ラジオ
3. インターネット・SNS(知り合い以外)による情報
4. 日本人の友人・知り合いの SNS
5. 日本人の友人・知り合いに直接聞く
6. 同じ国籍・ルーツの友人・知り合いの SNS
7. 同じ国籍・ルーツの友人・知り合いに直接聞く
8. 家族に聞く
9. 勤め先の人に聞く
10. 勤め先を斡旋した監理団体等・登録支援機関に聞く
11. 学校で聞く

1. 日本語がわからない
2. どんな行事があるのかわからない
3. 行事があるのは知っているが、参加してよいかかわからない
4. 参加すると嫌な顔をされたことがある
5. 特になし

--

1. 家具、冷蔵庫などの家財道具が倒れないよう固定している
2. 家の耐震化や改修により、地震に強い家づくりを行っている
3. 非常食や非常用飲料水を準備している
4. 避難用具（携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品、衣料など）を準備している
5. 貴重品などをすぐに持ち出せるよう準備している
6. 災害情報の収集方法を調べている
7. 災害時に自分が避難する避難場所を知っている
8. 家族との連絡方法や集合場所を決めている
9. 市の防災メールに登録している
10. 消火器、水をはったバケツなど、消火のための備えをしている
11. 防災訓練に参加している
12. 特に備えは行っていない
13. その他（ ）

1. はい（特に被害はなかった）
2. はい（自分や家族がケガをした）
3. はい（住宅や家財道具が壊れた）
4. はい（自分や家族がケガをし、また、住宅や家財道具が壊れた）
5. いいえ

問 43. その時に困ったことはありましたか。(いくつでも)

1. 正しい情報の入手方法がわからなかった
2. どこに避難すればよいかわからなかった
3. 相談先がわからなかった
4. 特に困らなかった
5. その他 ()

問 44. 学校・病院などでことばが不安な場合どうしていますか。(いくつでも)

1. 日本語がわかる家族を連れて行く
2. 日本語がわかる友人を連れて行く
3. 有料の通訳者を連れていく
4. 翻訳アプリを使う
5. その他 ()

問 45. こどもを持つ人は、いつまで日本で教育を受けさせたいですか。

学生の人は、日本でいつまで教育を受けたいですか。

1. 小学校・中学校
2. 高等学校
3. 技能を勉強する学校(専門学校)
4. 短期大学・大学以上
5. 大学生以下のこどもはおらず、自身も学生ではない ➡問 47 へ

問 46. 学校生活、子育てにおいて、国籍・文化・習慣・宗教が理由で困ったことがあれば、自由に記載してください。

--

問 47. あなたは、これからも高岡市に住みたいと思いますか。

1. ずっと住みたい ➡ 問 48 へ
2. 今後5年以上は住みたい ➡ 問 48 へ
3. 今後5年以内に日本国内の他の都市に行きたい ➡ 問 49 へ
4. 今後5年以内に国外に行きたい ➡ 問 49 へ
5. わからない ➡ 問 49 へ

問 48. 問 47 で「ずっと住みたい」「今後5年以上は住みたい」を選択した人にお聞きします。その理由を選択してください。(3つまで)

1. 親族や友人がいるから
2. 相談コーナーなど外国人が生活するための支援が充実しているから
3. 高岡市で仕事を続けるつもりだから
4. ずっと生活しているから

問 52. 地域や職場で国籍や文化・習慣・宗教が理由で差別的なことばや態度を受けたことがありますか。もしあれば、どのような状況・内容であったかを入力してください。

--

■以下、問 53～問 56 の設問は5年以上高岡市に住んでいる方に、回答をお願いします。

※高岡市に住んで5年未満の方は、「6. 高岡市に5年以上住んでいない」を選択してください。

問 53. 5年前と比べて、公共施設などでの情報のわかりやすさどうなったと思いますか。

- | | |
|---------|------------------|
| 1.良くなった | 2.少し良くなった |
| 3.変わらない | 4.少し悪くなった |
| 5.悪くなった | 6.高岡市に5年以上住んでいない |

問 54. 5年前と比べて、病院情報のわかりやすさはどうなったと思いますか。

- | | |
|---------|------------------|
| 1.良くなった | 2.少し良くなった |
| 3.変わらない | 4.少し悪くなった |
| 5.悪くなった | 6.高岡市に5年以上住んでいない |

問 55. 5年前と比べて、学校や保育園・幼稚園の情報のわかりやすさはどうなったと思いますか。

- | | |
|---------|------------------|
| 1.良くなった | 2.少し良くなった |
| 3.変わらない | 4.少し悪くなった |
| 5.悪くなった | 6.高岡市に5年以上住んでいない |

問 56. 5年前と比べて、日本人の、外国人への理解は、どうなったと思いますか。

- | | |
|---------|------------------|
| 1.良くなった | 2.少し良くなった |
| 3.変わらない | 4.少し悪くなった |
| 5.悪くなった | 6.高岡市に5年以上住んでいない |

問 57. その他、ご意見があれば、こちらに書いてください。

--

2. 日本国籍市民向けアンケート

※質問は郵送、回答は郵送またはWEBのどちらかを選択して実施

以下の質問について当てはまる選択肢に○をお付けください

あなた自身のことについて

問1. あなたの性別は次のどちらですか。(性別の回答は任意です。)

1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 回答しない
-------	-------	--------	----------

問2. あなたの年齢は次のどれですか。

1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳
4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～69歳
7. 70歳以上		

問3. あなたの居住地域番号を選択してください。

1. 平米	2. 定塚	3. 下関
4. 博労	5. 横田	6. 西条
7. 川原	8. 成美	9. 二上
10. 守山	11. 能町	12. 野村
13. 二塚	14. 佐野	15. 木津
16. 福田	17. 小勢	18. 立野
19. 東五位	20. 石堤	21. 国吉
22. 牧野	23. 伏木	24. 古府
25. 太田	26. 戸出	27. 醍醐
28. 北般若	29. 是戸	30. 中田
31. 福岡	32. 山王	33. 大滝
34. 西五位	35. 五位山	36. 赤丸

外国籍市民の増加について

日本の在留外国人数は増加傾向にあり、高岡市に暮らす外国籍市民（日本以外の国籍を持つ市民）数も毎年増加しています。（令和7年 11 月末時点で 4,618 人）
あなたは、外国籍市民が増えていることをどう感じますか。

問4. 企業や地域の活動を担う人材が増える。

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. つよくそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまり思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. わからない | |

問5. 消費が増え地域経済の活性化につながる。

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. つよくそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまり思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. わからない | |

問6. 多様な価値観や文化に触れる機会が増え地域が活性化する。

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. つよくそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまり思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. わからない | |

問7. こどもたちの国際意識が育つ。

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. つよくそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまり思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. わからない | |

問8. 治安が悪化する。

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. つよくそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまり思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. わからない | |

問9. 日本人の仕事がなくなる。

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. つよくそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまり思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. わからない | |

問 10. 高岡らしさや日本らしさが失われる。

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. つよくそう思う | 2. ややそう思う | 3. あまり思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. わからない | |

外国籍市民との関わりについて

問 11. あなたの外国人との関わりについて、当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

- | |
|---|
| 1. 外国人の親戚がいる (いた) |
| 2. 外国人の友人がいる (いた) |
| 3. 近所に住んでいる (いた) |
| 4. 外国人に商品やサービスを提供している (していた) |
| 5.一緒に仕事をしている (いた) |
| 6. 学校や教室で一緒に勉強している (していた) |
| 7. 学校や教室で外国人に勉強や言語を教えている (いた) |
| 8. 学校などで先生として教えてもらっている (もらった) |
| 9. こどもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している (いた) |
| 10. 趣味のグループと一緒に参加している (していた) |
| 11. 国際交流グループと一緒に活動している (していた) |
| 12. 外国人が働く店 (飲食店等) を利用している (していた) |
| 13. 付き合いを持ったことはない |
| 14. その他 () |

※回答「3」を選択した方以外は、問 13 に進んで下さい。

問 12. 問 11 で3.「近所に住んでいる（いた）」を選択した方に伺います。
近所に住む外国籍市民と、どの程度関わっていますか。（いましたか。）

1. 親しく付き合っている（いた）
2. 挨拶をする程度の付き合いである（あった）
3. 関わることは無い（無かった）

問 13. 今後、人口減少が進む中で、外国籍市民に、地域活動（祭礼行事、防犯、清掃など）により関わってもらいたいと思いますか。

- | | |
|------------|---------------|
| 1. つよくそう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまり思わない | 4. まったくそう思わない |
| 5. わからない | |
| 6. その他（ | ） |

問 14. 外国籍市民が、地域の担い手として活躍してもらうために、どのようなことが課題だと思いますか。（いくつでも）

1. 言葉が通じない
2. 交流のきっかけや接点がない
3. 外国籍市民に地域活動の必要性を理解してもらうことが難しい
4. 日本人側に外国籍市民が地域の担い手になることへの理解がなかったり、差別意識を持ったりする人がいる
5. 特に問題になることはない
6. その他（

）

問 15. 日本の人口減少に伴い、外国人人口の割合は更に増えていくと予測されています。地域を外国籍市民とともに暮らしやすい社会にするため、あなた自身ができることを選んでください。(いくつでも)

1. 外国籍市民に対する差別意識を持たないようにする
2. 挨拶など、日本人と変わらない対応で声掛けする
3. 地域活動に参加する外国人を受け入れ、共に行う
4. わかりやすい日本語で、コミュニケーションをとる
5. 日本で生活するルールを外国人に丁寧に呼びかける、又は話し合う
6. 外国籍市民が自らの文化や習慣守ることに理解を持つ
7. 外国籍市民から言語や文化を学ぶ
8. 地域住民との交流の場や地域の活動に外国籍市民を誘う
9. 外国籍市民に日本語や文化（料理や伝統行事等）を教える
10. 家庭のことや子育て・教育について、相談や情報交換をする
11. 外国籍市民を支援する団体の活動、イベントに参加する
12. 特にない
13. その他（ ）

問 16. 外国籍市民とともに住みやすいまちづくりのために、外国籍市民には何をしてほしいと思いますか。(3つまで)

1. 挨拶や声をかけ合うなど気軽に話しかけてほしい
2. 地域の行事やイベントなどに参加してほしい
3. 自治会への加入など地域の役割を担ってほしい
4. 日本の文化や習慣などを理解してほしい
5. 日本語を理解できるよう学んでほしい
6. 母語や文化を紹介してほしい
7. 特にない
8. その他（ ）

問 17. 日本人と外国籍市民がともに暮らしやすい社会にしていくために高岡市は何をしたら良いと思いますか。(3つまで)

1. 行政情報を多言語や、やさしい日本語で発信する
2. 緊急時に防災情報を多言語や、やさしい日本語で発信する
3. 多言語での生活オリエンテーション動画や生活ガイドブックを周知する
4. 生活相談に多言語や、やさしい日本語で対応する
5. 偏見・差別をなくすことを目的とした意識啓発
6. 日本国籍市民と外国籍市民の交流・意見交換の場を設ける
7. 外国籍市民が市に意見を言えるシステムづくり
8. 外国籍市民が地域活動へともに参画するための支援
9. 外国籍のこども・若者への 教育を充実させる
10. 大人への日本語教育を充実させる
11. こどもへの日本語教育を充実させる
12. 外国人雇用企業と自治会等地域の組織の橋渡しをする
13. その他（）

用語について

問 18. 「多文化共生」という言葉・考えを知っていますか。

1. 考え方も含め、よく知っている
2. 考え方も含め、少し知っている
3. 言葉だけは知っている
4. 言葉も聞いたことがない

【多文化共生とは・・・】

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。

問 19. 「やさしい日本語」という言葉・考え方を知っていますか。

1. 考え方も含め、よく知っている
2. 考え方も含め、少し知っている
3. 言葉だけは知っている
4. 言葉も聞いたことがない

【やさしい日本語とは・・・】

難しい言葉を簡単な言葉に言い換えるなど、相手への配慮に基づいたわかりやすい日本語。外国人だけでなく、子どもや高齢者、障害のある人など、様々な人が理解しやすくなることを目的とする。

例) 避難所 ⇒ 逃げるところ、 随時 ⇒ いつでも

問 20. 高岡市の多文化共生に向けてご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

高岡市多文化共生プラン改訂に向けた事前調査業務
調 査 報 告 書

令和8年3月発行

高 岡 市

担当 生活環境文化部文化国際課
富山県高岡市広小路7番50号
TEL：0766-20-1224

集計・分析 株式会社ジェック経営コンサルタント
富山市湊入船町3番30号
TEL：076-444-0035
